



TASKalfa 181/221

使用説明書



ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。お読みになった後は、本製品の近くに大切に保管してください。

はじめに

TASKalfa 181/TASKalfa 221 をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この使用説明書は、本製品を良好な状態でご使用いただくために、正しい操作方法、日常の手入れ、および簡単なトラブルの処置などができるようにまとめたものです。

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品の近くに保管してください。

印刷品質維持のため、トナーコンテナは京セラミタ純正品の使用をお勧めします。

京セラミタ製品には、数々の品質検査に合格した京セラミタ純正品のトナーコンテナをご使用ください。

純正品以外のトナーコンテナをお使いになると、故障の原因になることがあります。

純正品以外のトナーコンテナの使用が原因で、機械に不具合が生じた場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますので、ご了承ください。

本書では、TASKalfa 181 を 18 枚機、TASKalfa 221 を 22 枚機と記載しております。

付属マニュアルの紹介

本製品には、次のマニュアルがあります。必要に応じてご参照ください。

使用説明書（本書）

用紙の補給やコピー、プリントの基本的な操作、各種初期設定などについて説明しています。

CD-ROM（Product Library）

京セラ COMMAND CENTER 操作手順書

プリンタドライバ操作手順書

Network FAX ドライバ操作手順書

KM-NET for Direct Printing 操作手順書

プリスクライブコマンドリファレンスマニュアル

プリスクライブコマンドテクニカルリファレンス



目次

	注意ラベルについて	vii
	機械を設置する際のご注意	viii
	取り扱い上のご注意	x
	コピー/スキャン禁止事項	xiii
	正しくお使いいただくために	xiv
	法律上のご注意	xv
	商標について	xvi
	本製品の省エネ制御機能について	xviii
	自動両面機能について	xviii
	再生紙	xviii
	国際エネルギースター (ENERGY STAR®) プログラム	xviii
	使用説明書について	xx
	本書の読みかた	xxi
	原稿および用紙サイズについて	xxii
1	各部の名称	1-1
	操作パネル	1-2
	本体	1-6
2	使用前の準備	2-1
	付属品の確認	2-2
	接続方法の決定とケーブルの準備	2-3
	ケーブルの接続	2-5
	日付と時刻の設定	2-7
	ネットワークの設定 (ネットワークケーブルを接続した場合)	2-9
	用紙の補給	2-11
	原稿のセット	2-20
3	基本的な操作	3-1
	電源の入/切	3-2
	低電力モードと自動低電力モード	3-4
	スリープとオートスリープ	3-5
4	コピー機能	4-1
	基本的なコピーのしかた	4-2
	濃度調整	4-3
	画質の選択	4-4
	縮小/拡大	4-5
	ソート	4-8
	仕分け	4-9
	ステープル	4-10
	原稿用紙サイズ選択	4-12
	給紙元の選択	4-14
	原稿サイズ混載	4-15
	原稿セット向き	4-16
	エコプリント	4-18

	ページ集約	4-19
	とじしろ	4-22
	枠消し	4-23
	両面	4-24
	分割	4-26
	連続読み込み	4-28
	自動画像回転	4-29
	割り込みコピー	4-30
	プログラムコピー	4-32
5	プリンタ設定	5-1
	本機をネットワークプリンタとして使用するには	5-2
	ステータスページの印刷	5-3
	e-MPS 機能の設定	5-4
	インタフェースの設定	5-10
	エミュレーションの設定	5-15
	フォントの設定	5-18
	印刷環境の設定	5-25
	印刷品質の設定	5-29
	メモリカードの操作	5-32
	ハードディスクの操作	5-38
	RAM ディスクの設定	5-39
	用紙の設定	5-41
	その他の設定	5-44
6	初期設定（システムメニュー）	6-1
	初期設定モード	6-2
	マシン初期設定	6-12
	手差し設定	6-26
	トータルカウンタの参照と印刷	6-28
	レポート出力	6-30
	言語設定	6-31
7	部門管理	7-1
	部門管理モードについて	7-2
	部門編集	7-4
	全部門集計	7-10
	部門別集計	7-11
	部門管理の設定	7-12
	部門管理初期設定	7-13
	部門管理時の操作	7-16
8	日常のお手入れ	8-1
	清掃	8-2
	トナーコンテナと廃棄トナーボックスの交換	8-6
9	困ったときは	9-1
	トラブルが発生した場合	9-2
	こんな表示が出たら	9-5
	紙づまりが発生したら	9-10

付録	付録 -1
オプションについて	付録 -2
用紙について	付録 -9
仕様	付録 -18
製品の保守サービスについて	付録 -23
契約書について	付録 -23
補修用性能部品について	付録 -24
廃棄について	付録 -24
用語集	付録 -25
索引	索引 -1

本書中の注意表示について

この使用説明書および本製品への表示では、本製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 **警告**：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意**：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示

△記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

 「注意一般」

 「感電注意」

 「高温注意」

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。

 「禁止一般」

 「分解禁止」

●記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

 「強制一般」

 「電源プラグをコンセントから抜け」

 「必ずアース線を接続せよ」

本製品使用時の汚れなどによって本使用説明書の注意・警告事項が判読できない場合や、本使用説明書を紛失した場合には、弊社製品取り扱い店等へご連絡の上、新しい使用説明書を入手してください。（有償）

<お願い>

使用説明書の内容は、機械性能改善のために、予告なく変更する場合がありますので御了承ください。

<おことわり>

本機は偽造防止機能を搭載しているため、紙幣に酷似している原稿はまれに正常なコピーがとれない場合があります。

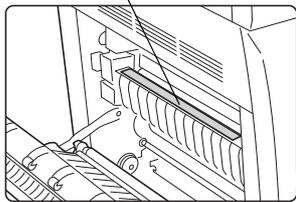
注意ラベルについて

本製品には、下記に示す位置に安全に関する注意ラベルを貼っています。紙づまり処置やトナー補給時に、火傷や感電などの事故のないようご注意ください。

ラベル 2



この部分の内側は高温になっています。火傷などのおそれがありますので、触れないようにしてください。



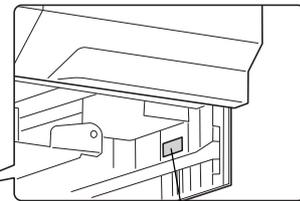
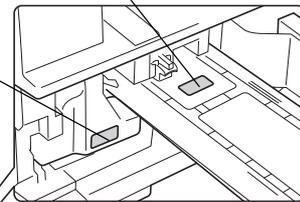
ラベル 4



廃棄トナーボックスは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。

ラベル 3

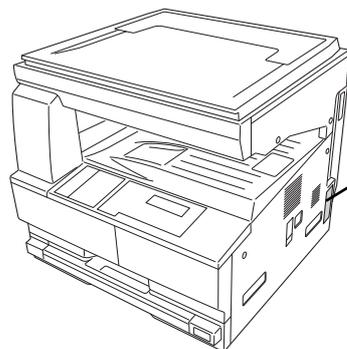
トナーコンテナは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。



ラベル 1



このラベルで示された部分は高温になっています。火傷などのおそれがありますので、触れないようにしてください。



ラベル 5



このラベルで示された部分は高温になっています。火傷などのおそれがありますので、触れないようにしてください。

定格ラベル

一般的な注意と定格の値を表示しています。

181
複合機
定格総消費電力:1200W 定格入力電流:11.8A
定格周波数:50/60Hz 定格電圧:100V 定格消費電力:94W 光源の定格消費電力:16W 電熱装置の定格消費電力:1087W
京セラ ミタ株式会社 MADE IN CHINA >ABSC<

221
複合機
定格総消費電力:1200W 定格入力電流:11.8A
定格周波数:50/60Hz 定格電圧:100V 定格消費電力:105W 光源の定格消費電力:16W 電熱装置の定格消費電力:1094W
京セラ ミタ株式会社 MADE IN CHINA >ABSC<

お願い:これらのラベルははがさないようにしてください。

機械を設置する際のご注意

設置環境について

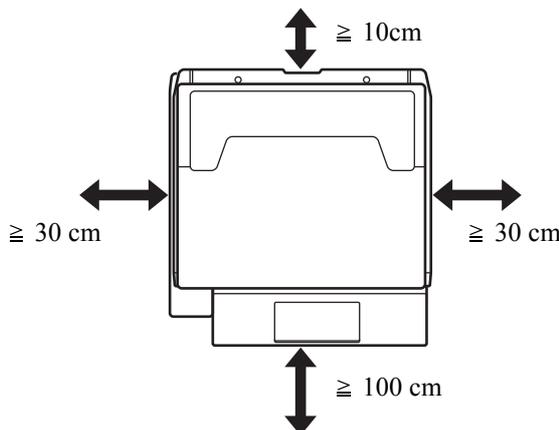
⚠ 注意

本製品を、傾いた場所や不安定な場所に置かないでください。倒れてけがの原因となることがあります。

本製品を湿気やほこりの多い場所に置かないでください。万一電源プラグにほこりやゴミなどが付着している場合は取り除いてください。火災、感電の原因となることがあります。

本製品をストーブなどの熱源や可燃物が近くにある場所に置かないでください。火災の原因となることがあります。

本製品の冷却効果を保つため、機械の周辺は下記のスペースを確保してください。特に機械後側には通気口があり、壁などに近づけないでください。十分なスペースがないと冷却されず、発熱や性能不良の原因となります。



その他の注意事項

ご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。

- 温度 10 ~ 32.5 °C (ただし、32.5 °C時は湿度 70% 以下)
- 湿度 15 ~ 80% (ただし、80%時は温度 30 °C以下)

ただし、外気など周囲の環境条件によっては画像品質が維持できない場合がありますので、室温 16 ~ 27 °C、湿度 36 ~ 65 % の範囲で使用することをお勧めいたします。本製品が使用されている環境下で、機械の環境自己診断制御により下記のメッセージが表示されることがあります。

「高温環境を検知しました。室温を調整してください。」

「低温環境を検知しました。室温を調整してください。」

本製品の最適環境でご使用いただくために、メッセージが表示されたときは、機械設置場所の空調温度を調整していただくようお願いします。また、下記のような場所は避けてください。

- 窓際など、直射日光の当たる場所や明るい場所
- 振動の多い場所
- 急激に温度や湿度が変化する場所
- 冷暖房の冷風や温風が直接当たる場所

- 通気性、換気性の悪い場所

本製品を設置後移動する際に、傷つきやすい床の場合、床材を傷つけるおそれがあります。

本製品の使用中はオゾンの発生や化学物質の放散がありますが、その量は人体に影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や、大量にコピーをとる場合には、臭気が気になることもあります。快適な作業環境を保つためには、部屋の換気をお勧めします。

設置電源・アースについて

警告

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。



電源プラグ及び電源コネクタはコンセント及び製品の差込口に奥まで確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れたり、ほこりが溜まると火災、感電の原因となります。また、不完全な接続部が発熱し発火する危険があります。



必ずアース線をアース対象物に接続してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続ができない場合は、弊社製品取扱店などにご相談ください。



その他の注意事項

電源プラグは製品の近くの容易に接続できるコンセントにつないでください。

ビニールの取り扱いについて

警告

本製品に使っている包装用のビニールを子供に触れさせないでください。ビニールが鼻や口に吸着すると、窒息するおそれがあります。



取り扱い上のご注意

機械の取り扱いについて

⚠ 警告

本製品の上に花瓶、植木鉢、コップや水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり中に入ったりした場合、火災、感電のおそれがあります。

本製品のカバーは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災、感電のおそれがあります。

本製品の修理、改造、分解は絶対に行わないでください。けが、火災、感電、レーザ光線への被爆のおそれがあります。レーザ光洩れによる失明のおそれがあります。

万一、発熱していたり、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに主電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして弊社製品取扱店などにご連絡ください。

万一、異物（金属片、水、液体）が本製品の内部に入った場合は、まず本体の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社製品取扱店などにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

内部の点検・修理は弊社製品取扱店などに依頼してください。

⚠ 注意

電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。（必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください）

本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

本製品を持ち上げたり、動かす場合は、所定の箇所を持つようにしてください。

夜間等で長時間本製品をご使用にならない場合は、主電源スイッチを切ってください。また連休等で長期間、本製品を使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。但し、ファクスキットを装着している場合、主電源スイッチが切れているときは、ファクスの送信/受信を行いません。

本製品の清掃を行うときは、安全上、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品内部の清掃については弊社製品取扱店等にご相談ください。本製品の内部にほこりがたまつたまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部清掃費用については弊社製品取扱店などにご相談ください。

その他の注意事項

本製品の上に重いものをのせたり、衝撃を与えたりしないでください。

使用中は次のことをしないでください。

- 前カバーを開ける。
- 主電源スイッチを切る。
- 電源コードを抜く。

転居などで本製品を動かす場合は、弊社製品取扱店などへご連絡ください。

コネクタ、プリント基板などの電気部品に触らないでください。静電気により破損する可能性があります。

この使用説明書に記載されていないことは行わないでください。

ランプ光を見つめないでください。目の疲れや痛みの原因となるおそれがあります。

本製品は、オプションとしてHDD（ハードディスク）を装着できます。製品本体の電源を入れたままで製品を移動しないでください。電源を入れた状態で移動すると、衝撃・振動によりHDD（ハードディスク）が破損する可能性がありますので、移動する場合は、必ず本体の主電源スイッチを切ってください。

万が一本体のHDD（ハードディスク）に不具合が発生した場合、保存したデータが消去されることがあります。大切なデータはPC、各種メディアなどに保存しておくことをおすすめします。また、重要な書類の原本は必ず別途保存してください。

消耗品の取り扱いについて

注意

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。



トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、子供の手に触れることのないように保管してください。



トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスより、トナーが漏れた場合は、トナーを吸い込んだり、口に入れたり、眼、皮膚に触れないようにしてください。



- トナーを吸い込んだ場合は、新鮮な空気のある場所に移動し、多量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状が出るようであれば、医師の診察を受けてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、口の中をすすぎ、コップ1、2杯の水を飲んで胃の中を薄め、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 眼に入った場合は、直ちに流水で良く洗い、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。
- 皮膚に触れた場合は、石鹸を使って水でよく洗い流してください。

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、無理に開けたり、壊したりしないでください。



その他の注意事項

使用后、不要となったトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、お買い上げの販売店または弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、再使用または再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

直射日光を避けて保管してください。

急激な温度・湿度変化を避け、40℃以下で保管してください。

本製品を長時間使わない場合は、カセットまたは手差しから用紙を取り出し、もとの包装紙に戻して密封してください。

コピー / スキャン禁止事項

複合機を使って何をコピー / スキャンしてもよいとは限りません。特に法律により、そのコピーを所有したり、スキャンするだけでも罰せられることがありますので、次の点に十分ご注意ください。

法律で禁止されているものには

- ① 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券は、コピー / スキャンすることを禁止されています。見本の印が押してあっても、コピー / スキャンすることはできません。
- ② 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピー / スキャンも禁止されています。
- ③ 政府の模造許可を取らない限り、未使用郵便切手、官製はがきの類は、コピー / スキャンすることを禁止されています。
- ④ 政府発行の印紙、酒税法で規定されている証紙類のコピー / スキャンもできません。

(関係法律)

- 通貨及び証券模造取締法
- 外国ニオイテ流通スル貨幣、紙幣、銀行券、証券、偽造変造及び模造ニ関スル法律
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙等模造取締法
- 紙幣類似証券取締法

注意を要するものには

- ① 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって、注意を呼びかけられています。
- ② 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体の免許証許可証、身分証明証や通行券、食券などの切符類も勝手にコピー / スキャンしないほうがよいと考えられます。

著作権にもご注意を

著作権の対象となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真などの著作物は、個人的に、または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピー / スキャンする以外は、禁じられています。

正しくお使いいただくために

本機をご使用になる前に、最初に必ずお読みください。ここでは次の内容を説明しています。

- 法律上のご注意 ...xv
- 商標について ...xvi
- 本製品の省エネ制御機能について ...xviii
- 自動両面機能について ...xviii
- 再生紙 ...xviii
- 国際エネルギースター（ENERGY STAR®）プログラム ...xviii
- 使用説明書について ...xx
- 本書の読みかた ...xxi
- 原稿および用紙サイズについて ...xxii

法律上のご注意

本資料の全部または一部を無断で複写複製（コピー）することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。

商標について

- プリスクライブ、PRESCRIBE、エコシスおよび ECOSYS は、京セラ株式会社の登録商標です。
- KPDL は、京セラ株式会社の商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NT および Internet Explorer は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows Me、Windows XP および Windows Vista は、Microsoft Corporation の商標です。
- PCL は、米国ヒューレット・パッカード社の商標です。
- Adobe Acrobat、Adobe Reader、PostScript は、Adobe Systems, Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Ethernet は、ゼロックス社の登録商標です。
- Novell、NetWare は、Novell 社の登録商標です。
- IBM および IBM PC/AT は、米国 International Business Machines Corporation の商標です。
- Power PC は、IBM 社の米国およびその他の国における商標です。
- AppleTalk は、米国 Apple Computer, Inc. の登録商標です。
- 本製品は、ウィンドリバーシステムズ社のリアルタイム OS 統合環境 Tornado™ を用いて開発されました。
- TrueType は、米国 Apple Computer, Inc. の登録商標です。
- TypeBankG-B、TypeBankM-M および TypeBank-OCR はタイプバンク® の商標です。
- 本製品に搭載されている欧文フォントは、すべて Monotype Imaging Inc. からのライセンスを受けています。
- Helvetica、Palatino、Times は、Linotype-Hell AG の登録商標です。
- ITC Avant Garde Gothic、ITC Bo エンター man、ITC ZapfChancery、ITC Zapf Dingbats は、International Type-face Corporation の登録商標です。
- 本製品は、Monotype Imaging Inc. からの UFST™ MicroType® のフォントを搭載しています。
- 本製品には、Independent JPEG Group のソフトウェアが含まれています。

その他、本使用説明書中に記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中には TM および ® は明記していません。

Monotype Imaging ライセンス契約

1. 「本件ソフトウェア」とは、特殊なフォーマットで符号化された、デジタル符号の機械読取可能なスケールラブル・アウトライン・データならびに UFST ソフトウェアを意味するものとします。
2. お客様は、お客様自身の通常の業務目的または個人的な目的で、アルファベット、数字、文字および記号（「タイプフェイス」）のウェイト、スタイルおよびバージョンを複製および表示するために本件ソフトウェアを使用する非独占的ライセンスを受諾することに同意します。Monotype Imaging は、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するすべての権利、権原および利権を留保します。本契約において明示的に規定した条件に基づき本件ソフトウェアを使用するライセンス以外には、いかなる権利もお客様に許諾されません。
3. Monotype Imaging の財産権を保護するため、お客様は本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するその他の財産的情報を極秘に保持すること、また、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスへのアクセスとその使用に関する合理的な手続きを定めることに同意します。
4. お客様は本件ソフトウェアまたはタイプフェイスを複製またはコピーしないことに同意します。
5. このライセンスは、早期終了しない限り、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスを使用し終わるまで存続するものとします。お客様が本契約ライセンスの条件の遵守を怠り、当該不履行が Monotype Imaging からの通知後 30 日以内に是正されなかったときは、Monotype Imaging は本ライセンス契約を解除することができます。本ライセンス契約が満了するか、または解除された時点で、お客様は要求に応じて本件ソフトウェアとタイプフェイスの複製物ならびに文書をすべて Monotype Imaging に返却するか、または破棄するものとします。
6. お客様は、本件ソフトウェアの変更、改変、逆アセンブル、解読、リバースエンジニアリングまたは逆コンパイルを行わないことに同意します。
7. Monotype Imaging は、引渡し後 90 日間について、本件ソフトウェアが Monotype Imaging の発表した仕様に従って作動すること、欠陥がないことを保証します。Monotype Imaging は、本件ソフトウェアにバグ、エラーおよび脱落が一切ない旨の保証を行いません。
当事者は、特定目的適合性および商品性の保証を含む明示または黙示の他のすべての保証が排除されることに合意します。
8. 本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するお客様の排他的救済手段および Monotype Imaging の唯一の責任は、欠陥のある部品を Monotype Imaging に返却した時点で修理または交換することです。
いかなる場合も Monotype Imaging は、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスの誤用または不正使用により引き起こされた喪失利益、喪失データ、またはその他の付随的損害、派生的損害その他の損害について責任を負いません。
9. 本契約はアメリカ合衆国マサチューセッツ州の法律に準拠します。
10. お客様は、Monotype Imaging の事前の書面による同意がない限り、本件ソフトウェアおよび/またはタイプフェイスの再使用許諾、販売、リースまたはその他の方法による譲渡を行ってはなりません。
11. 政府による使用、複製または開示は、FAR252-227-7013 「技術データおよびコンピュータソフトウェアに関する権利」の (b)(3)(ii) 項または (c)(1)(ii) 項に定められた制限を受けます。
さらに、使用、複製または開示は、FAR52.227-19(c)(2) 項に定められたソフトウェアの限定的権利に適用される制限を受けます。
12. お客様は、本契約を自ら読了し、了解したことを認め、また本契約の諸条件により拘束されることに同意します。いずれの当事者も、本契約に記載されていない言明または表明により拘束されないものとします。本契約の変更は、各当事者の正当な権限を有する代表者が署名した書面による場合を除き、効力は一切ありません。

本製品の省エネ制御機能について

本製品は、待機中の消費電力を削減するために、最後に機器を使用してから一定時間経過すると自動的に消費電力を低減する「低電力モード」に移行し、さらに設定時間以上機器を使用しないと自動的に消費電力を最小にする「スリープ」に移行する省エネ制御機能を備えています。なお、低電力モードとスリープの移行時間が同じ場合は、スリープが優先されます。

「低電力モード」

「低電力モード」への移行時間は、延長が可能です。詳しくは3-4ページの**低電力モードと自動低電力モード**をご覧ください。

「スリープ」

最後にご使用になってから1分を経過しますと自動的に「スリープ」に移行します。なお「スリープ」への移行時間は、延長が可能です。詳しくは3-5ページの**スリープとオートスリープ**をご覧ください。

自動両面機能について

本製品は用紙の両面にコピーできる機能をオプションで装備しております。例えば、片面原稿2ページを1枚の用紙の両面にコピーすることで、紙の使用量を軽減することができます。詳しくは4-24ページの**両面**をご覧ください。

再生紙

本製品は環境に与える負荷の少ない再生紙を使用することができます。推奨紙などは販売担当者またはサービス担当者にご相談ください。

国際エネルギースター（ENERGY STAR®）プログラム

弊社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



JIS C 61000-3-2 適合品
本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」
に適合しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

使用説明書について

この使用説明書では、オプション品について、簡略化した名称を使って説明しています。

オプション品の正式な商品名は以下のとおりです。

商品名	使用説明書記載の名称
自動両面原稿送り装置 DP-420	原稿送り装置
300 枚ペーパーフィーダ PF-420	ペーパーフィーダ
自動両面ユニット DU-420	両面ユニット
内蔵フィニッシャ DF-420	ドキュメントフィニッシャ
ジョブセパレータ JS-420	ジョブセパレータ
キーカウンタ	キーカウンタ
キーカード MK-2	キーカード
ファクスキット FAX System (R)	ファクスキット
ファクス用拡張メモリ	ファクス用拡張メモリ
Network スキャンボード Scan System (F)B	スキャンシステム
ハードディスク HD-5A	ハードディスク

本説明書は、次の章で構成されています。

1 各部の名称

本体各部の名称と操作パネルのキー名称を説明しています。

2 使用前の準備

本製品の接続、使用前に必要な設定、用紙の補給について説明しています。

3 基本的な操作

簡単なコピー、印刷、スキャンができるまでの内容を説明しています。

4 コピー機能

コピーする際に利用できる機能について説明しています。

5 プリンタ設定

原稿を印刷する際に利用できる機能について説明しています。

6 初期設定（システムメニュー）

本機の動作全般に関わるシステムメニューについて説明しています。

7 部門管理

ユーザ管理や部門管理について説明しています。

また、トナー / 用紙の残量やデバイスの状態などの確認や、ファクスの通信を中止する方法についても説明しています。

8 日常のお手入れ

トナーコンテナや廃棄トナーボックスの交換および本機のメンテナンス方法について説明しています。

9 困ったときは

エラーメッセージが表示された場合の対処方法、紙づまり及びその他のエラー発生時の解消方法について説明しています。

付録

本製品で利用できる便利なオプション機器の紹介や、用紙についての説明や用語集を収録しています。また、文字の入力方法や本製品の仕様などについても説明しています。

本書の読みかた

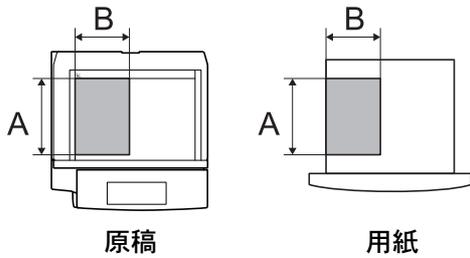
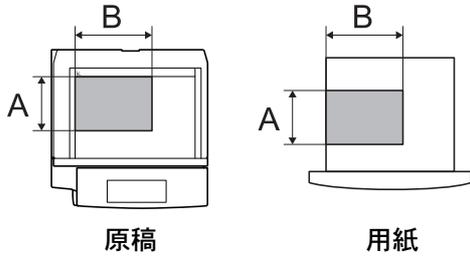
本書中では、説明の内容によって、次のように表記しています。

表記	説明	表記例
[太字]	操作パネル上のキーおよびコンピュータ画面に表示されるボタンやメッセージを示します。	[エンター] を押します。
「太字」	操作パネル上に表示されるメッセージを示します。	「コピーできます。」が表示されます。
参考	補足説明や操作の参考となる情報です。	参考：
重要	トラブルを防止するために、必ず守っていただきたい事項や禁止事項です。	重要：
注意	けがや機械の故障を防ぐために守っていただきたい事項、およびその対処方法です。	注意：

原稿および用紙サイズについて

本書中で使用する原稿および用紙サイズの表記について説明します。

A4 や B5、Letter のように、縦向きと横向きのどちらも使用できるサイズの場合、原稿 / 用紙の向きを区別するために、横向きのサイズには「R」をつけて表記しています。

セット方向	表記サイズ※
<p>縦向き</p>  <p>原稿 用紙</p> <p>原稿 / 用紙の A より B が短い。</p>	<p>A4、B5、A5、B6、A6、 Letter、Statement</p>
<p>横向き</p>  <p>原稿 用紙</p> <p>原稿 / 用紙の A より B が長い。</p>	<p>A4-R、B5-R、A5-R、B6-R、 A6-R、Letter-R、Statement-R</p>

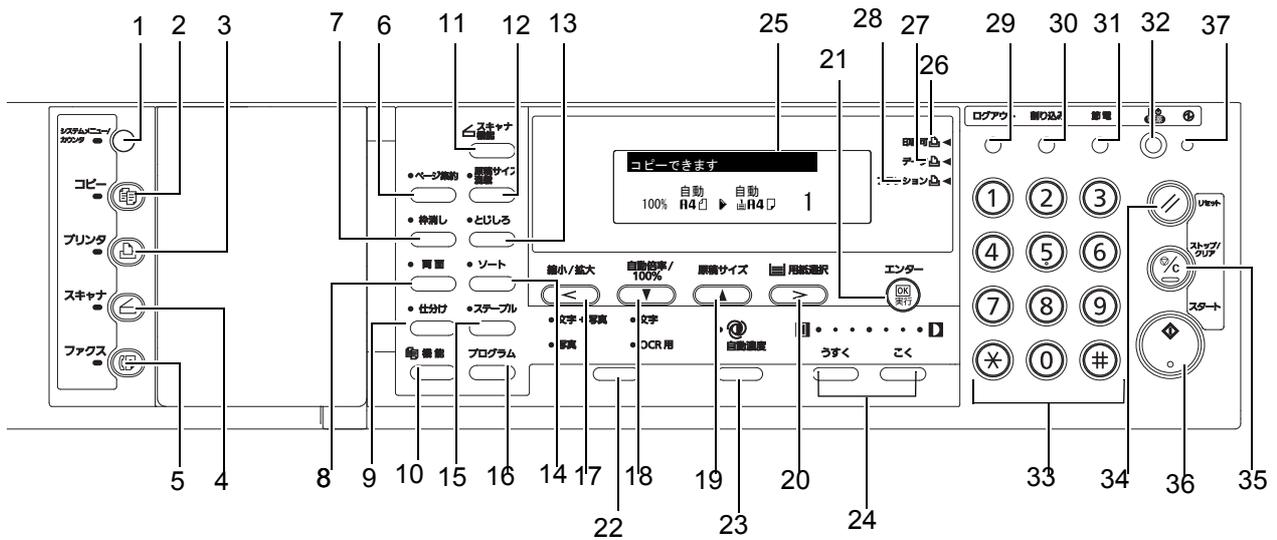
※ 使用できる原稿 / 用紙のサイズは機能や給紙元によって異なります。詳しくは各機能または給紙元のページを参照してください。

1 各部の名称

この章では、本体の各部と操作パネルの名称を説明します。

- 操作パネル ...1-2
- 本体 ...1-6

操作パネル



- 1 [システムメニュー/カウンタ] キー (表示)
- 2 [コピー] キー (表示)
- 3 [プリンタ] キー (表示)
- 4 [スキャナ] キー (表示)
- 5 [ファクス] キー (表示)
- 6 [ページ集約] キー (表示)
- 7 [枠消し] キー (表示)
- 8 [両面] キー (表示)
- 9 [仕分け] キー (表示)
- 10 [機能] キー
- 11 [スキャナ機能] キー
- 12 [原稿サイズ混載] キー (表示)
- 13 [とじしろ] キー (表示)
- 14 [ソート] キー (表示)
- 15 [ステープル] キー (表示)
- 16 [プログラム] キー
- 17 [縮小/拡大] キー / [<] キー
- 18 [自動倍率/100%] キー / [▼] キー
- 19 [原稿サイズ] キー / [▲] キー
- 20 [用紙選択] キー / [>] キー
- 21 [エンター] キー
- 22 画質モード選択キー
- 23 [自動濃度] キー
- 24 [うすく] キー / [こく] キー / 濃度表示
- 25 メッセージ表示
- 26 印刷可表示 (緑色)

- 27 データ表示（緑色）
- 28 アテンション表示（赤色）
- 29 [ログアウト] キー
- 30 [割り込み] キー（表示）
- 31 [節電] キー（表示）
- 32 [電源] キー（表示）
- 33 テンキー
- 34 [リセット] キー
- 35 [ストップ/クリア] キー
- 36 [スタート] キー（表示）
- 37 主電源表示

初期モードについて

初期モードとは、ウォームアップが完了したとき、または [リセット] キーを押したときの状態をいいます。工場出荷時には、コピーモードは原稿と同じサイズ用の紙に等倍でコピーする「自動用紙選択モード」、コピー枚数セットは「1」、画質は「文字+写真」が自動的に選択されます。

参考：初期モードは初期設定で変更できます。詳細は 6-2 ページの**初期設定モード**を参照してください。初期モードで選択されるカセットを変更することができます。18 枚機にはオプションのペーパーフィーダが必要です。詳細は 6-6 ページの**優先カセット設定**を参照してください。初期モードで選択される画質モードを変更することができます。6-3 ページの**原稿の画質**を参照してください。濃度調整の初期設定を「自動濃度モード」に変更できます。詳細は 6 章の濃度モード設定を参照してください。

オートクリア機能について

コピー終了後、一定時間（10～270 秒）経過すると、機械は自動的にウォームアップが終了した状態に戻ります。オートクリア機能が働く前なら、コピーモードやコピー枚数、濃度の設定などを同じ状態で繰り返しコピーできます。

参考：オートクリア機能が働くまでの時間の変更は 6-23 ページの**オートクリア時間設定**を参照してください。

オートカセットチェンジ機能について

同じサイズの用紙がセットされているカセットが複数ある場合、コピー中に 1 つのカセットの用紙がなくなったとき、自動的に別のカセットに切り替えて給紙します。

参考：カセットから手差しトレイに切り替えることもできます。オートカセットチェンジ機能を OFF にすることもできます。6-13 ページの**オートカセットチェンジ設定**を参照してください。セットされている用紙の向きが同じである必要があります。

メッセージ表示

メッセージ表示には、本機の各種動作状態を示すメッセージが表示されます。

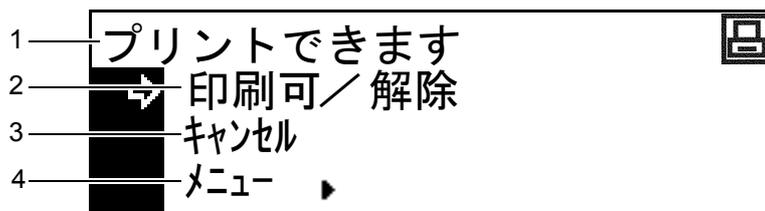
コピー基本画面



[コピー] キーを押したときに表示される画面です。

番号	説明
1	本機の状態や必要な操作のメッセージを表示します。
2	原稿のサイズが自動的に検知されるときに表示されます。
3	コピー倍率を表示します。
4	自動用紙選択モードのときに表示されます。
5	原稿サイズと用紙サイズ、および選択されているカセットを表示します。
6	コピー枚数を表示します。

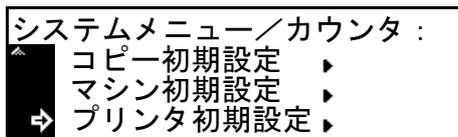
プリンタ基本画面



[プリンタ] キーを押したときに表示される画面です。

番号	説明
1	本機の状態や必要な操作のメッセージを表示します。
2	オンライン、オフラインを切り換えるとき、印刷を停止 / 再開するとき、特定のエラー解除を行うとき、印刷待ち最終ページを強制的に改ページして印刷させるときに選択してください。
3	実行中の印刷を中止するときに選択してください。
4	ネットワークの設定を行うときに選択してください。(2-9 ページのネットワークの設定 (ネットワークケーブルを接続した場合) 参照) また、さまざまなプリンタ機能や設定を変更することができます。(5 章参照)

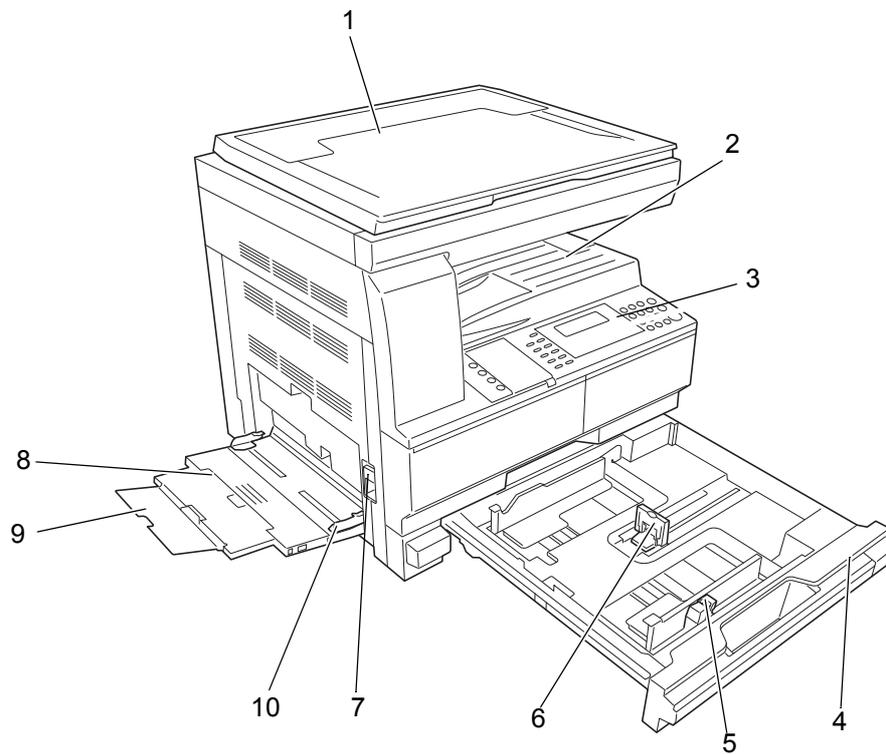
プリンタ機能の初期設定の変更は、次の手順でも可能です。



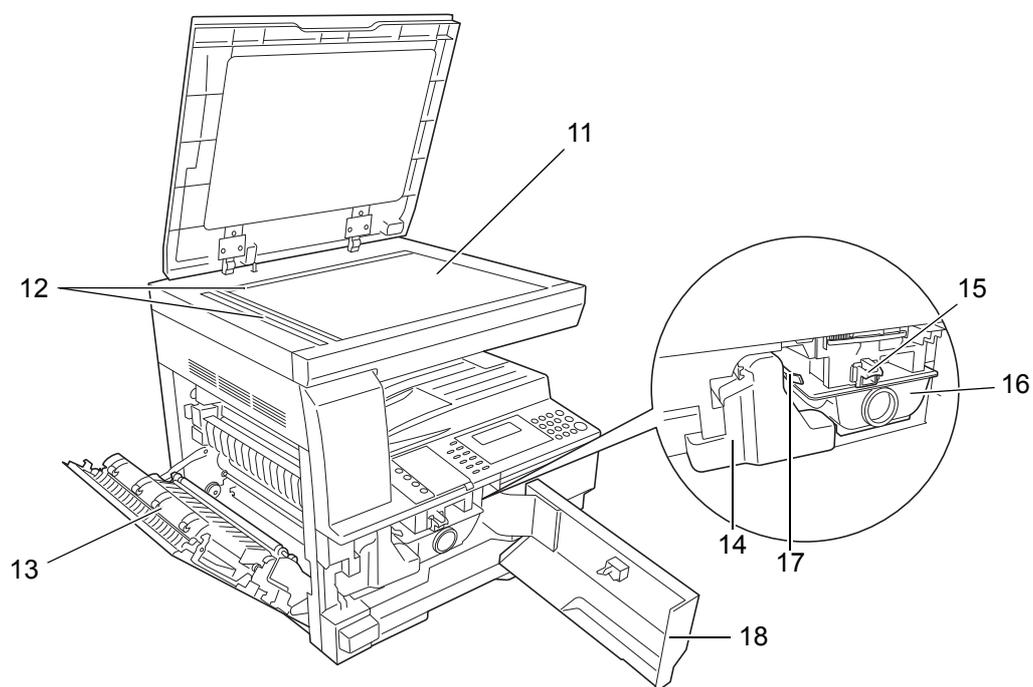
- 1 [システムメニュー/カウンタ] キーを押してください。
- 2 [△] または [▽] を押して、「プリンタ初期設定」を選択後、[エンター] キーを押してください。

プリンタ基本画面で「メニュー」を選択したときと同じ画面が表示されます。

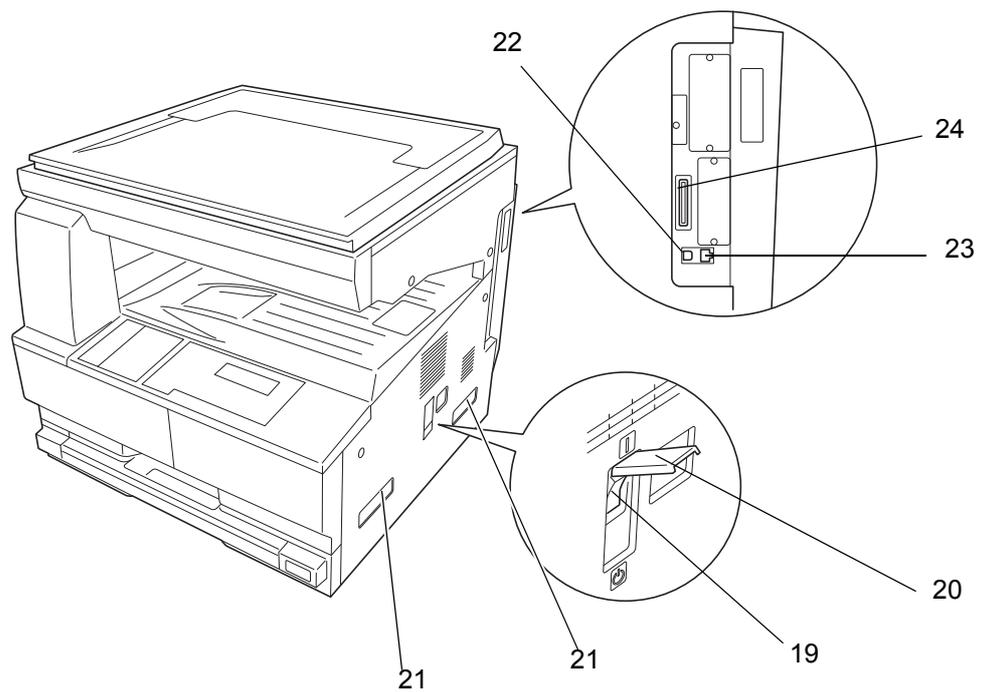
本体



- 1 原稿押さえ
- 2 排紙トレイ
- 3 操作パネル
- 4 カセット1
- 5 横サイズ変更つまみ
- 6 縦サイズ変更つまみ
- 7 左カバー取手
- 8 手差しトレイ
- 9 手差し補助トレイ
- 10 スライダー



- 11 原稿ガラス
- 12 原稿サイズ指示板
- 13 左カバー
- 14 廃棄トナーボックス
- 15 トナーコンテナ解除レバー
- 16 トナーコンテナ
- 17 クリーナー棒
- 18 前カバー



- 19 メインスイッチ
- 20 メインスイッチカバー
- 21 搬送取手
- 22 USB インタフェースコネクタ
- 23 ネットワークインタフェースコネクタ
- 24 メモリカードスロット

2 使用前の準備

この章では、本製品を初めて使うときの準備作業を説明します。

- 付属品の確認 ...2-2
- 接続方法の決定とケーブルの準備 ...2-3
- ケーブルの接続 ...2-5
- 日付と時刻の設定 ...2-7
- ネットワークの設定（ネットワークケーブルを接続した場合） ...2-9
- 用紙の補給 ...2-11
- 原稿のセット ...2-20

付属品の確認

次の付属品が揃っているか確認してください。

- 使用説明書
- CD-ROM (Product Library および TWAIN 対応アプリケーション)

付属 CD-ROM 内のドキュメントについて

付属の CD-ROM (Product Library) には、次のドキュメントが収められています。必要に応じて、参照してください。

ドキュメント

- ◆京セラ COMMAND CENTER 操作手順書 (PDF 形式)
- ◆プリンタドライバ操作手順書 (PDF 形式)
- ◆Network FAX ドライバ操作手順書 (PDF 形式)
- ◆KM-NET for Direct Printing 操作手順書 (PDF 形式)
- ◆プリスクライブコマンドリファレンスマニュアル (PDF 形式)
- ◆プリスクライブコマンドテクニカルリファレンス (PDF 形式)

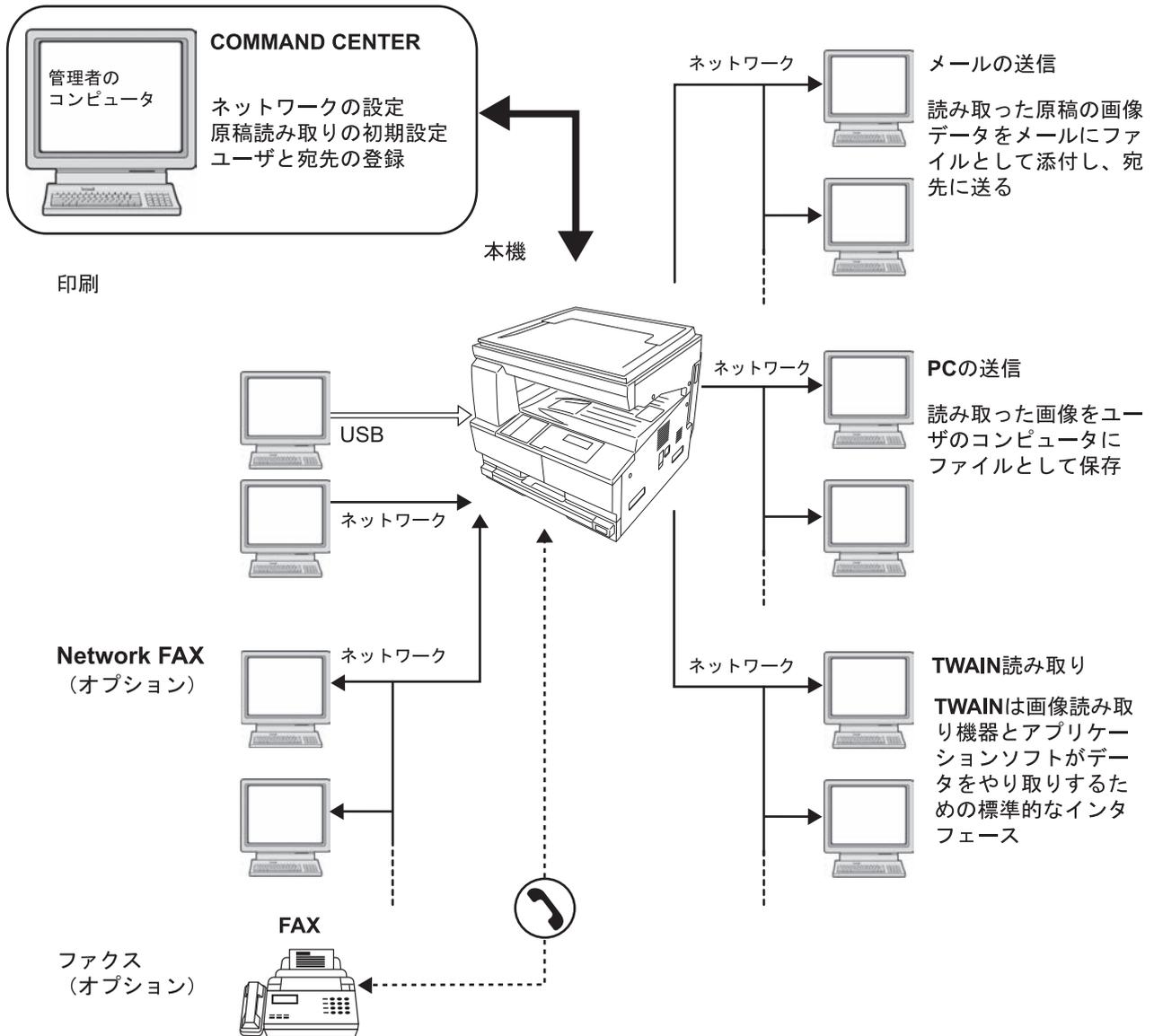
接続方法の決定とケーブルの準備

本製品とコンピュータ、または本製品とネットワークを接続するための方法を確認し、必要なケーブルを準備します。

接続例

下図を参考に、本製品とコンピュータ、または本製品とネットワークの接続方法を決定してください。

ネットワークケーブル（100BASE-TX または 10BASE-T）によるコンピュータとの接続



必要なケーブルの準備

本機には、コンピュータと接続するため次のインタフェースが用意されています。使用するインタフェースに合わせて、必要なケーブルを用意してください。

標準で用意されているインタフェース

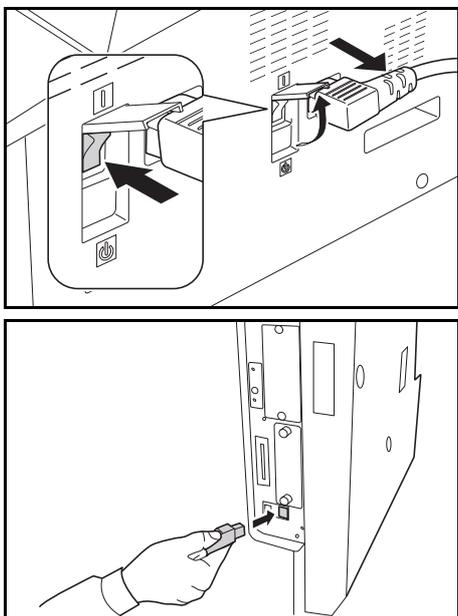
使用する機能	インタフェース	必要なケーブル
プリンタ/スキャナ/Network FAX*	ネットワークインタフェース	ネットワークケーブル（10Base-T または 100Base-TX、シールド付）
プリンタ	USB インタフェース	USB2.0 適合ケーブル（Hi-Speed USB 準拠 5.0m 以下、シールド付）

※ オプションのファクスキットで利用できます。Network FAX については、ファクスキットの**使用説明書**を参照してください。

ケーブルの接続

ネットワークケーブルの接続（任意）

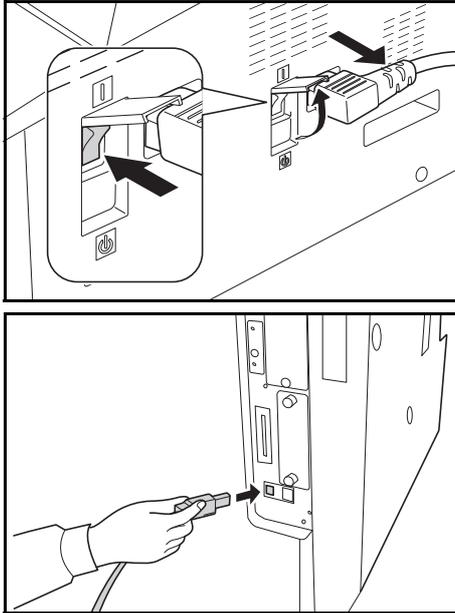
本機にネットワークケーブルを接続します。



- 1 本機の電源が入っているときは、操作パネルの電源キーを押し、電源キーおよびメモリのランプが消灯していることを確認してから、主電源スイッチを切ってください。
- 2 本体右側のネットワークインタフェースに、ネットワークケーブルを接続してください。
- 3 ケーブルのもう一方を、HUB（集線装置）に接続してください。
- 4 ネットワーク設定を行ってください。詳しくは、2-9 ページのネットワークの設定（ネットワークケーブルを接続した場合）を参照してください。

USB ケーブルの接続（任意）

本機に USB ケーブルを接続します。



- 1 本機の電源が入っているときは、操作パネルの電源キーを押し、電源キーおよびメモリのランプが消灯していることを確認してから、主電源スイッチを切ってください。
- 2 本体右側の各インターフェースに、USB ケーブルを接続してください。
- 3 ケーブルのもう一方を、コンピュータに接続してください。

電源コードの接続

付属の電源コードを本機に接続し、もう一方をコンセントに接続してください。

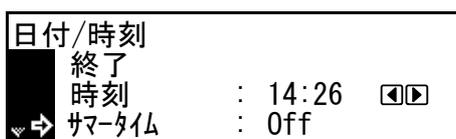
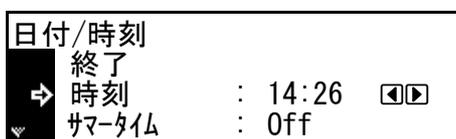
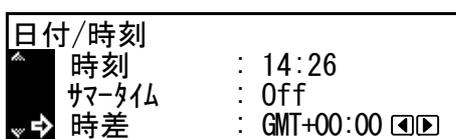
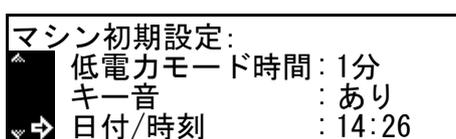
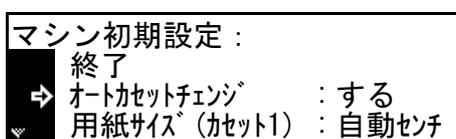
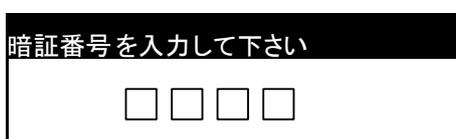
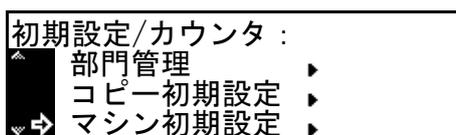
重要：電源コードは、必ず本機に付属のものをご使用ください。

日付と時刻の設定

本機に、設置場所の日付と時刻を設定します。

本機の送信機能からメールを送ると、本機に設定されている日付と時刻がメールのヘッダに記録されます。ご使用の地域での日付、時刻、GMT（世界標準時）からの時差を設定してください。

参考：日付 / 時刻を設定する前に、必ず時差を設定してください。



- 1 [システムメニュー / カウンタ] キーを押してください。
- 2 [△] または [▽] を押して、「マシン設定」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 テンキーで4桁の管理者暗証番号を入力してください。
工場出荷時は18枚機は「1800」、22枚機は「2200」となっています。

参考：4桁の管理者暗証番号は変更することができます。詳細は、6-22ページの管理者暗証番号変更を参照してください。

管理者暗証番号が合致すれば、「マシン初期設定」画面が表示されます。

- 4 [△] または [▽] を押して、「日付 / 時刻」を選択後、[エンター] を押してください。
- 5 [△] または [▽] を押して、「時差」を選択後、[<] または [>] を押して、時差を設定してください。
- 6 [△] または [▽] を押して、「時刻」を選択後、[<] または [>] を押して、現在の時刻を設定してください。
- 7 [△] または [▽] を押して、「サマータイム」を選択後、[<] または [>] を押して、「On」または「Off」を選択してください。

日付/時刻:	
▲ サマータイム	: Off
時差	: GMT+ 09:00
▼ → 年	: 2009 ◀▶

日付/時刻:	
▲ 時差	: GMT+09:00
年	: 2009
▼ → 月	: 11 ◀▶

日付/時刻:	
▲ 年	: 2009
月	: 11
→ 日	: 27 ◀▶

日付/時刻	
→ 終了	
時刻	: 14:26
▼ サマータイム	: Off

- 8 [△] または [▽] を押して、「年」を選択後、[<] または [>] を押して、現在の年を設定してください。
- 9 [△] または [▽] を押して、「月」を選択後、[<] または [>] を押して、現在の月を設定してください。
- 10 [△] または [▽] を押して、「日」を選択後、[<] または [>] を押して、現在の日を設定してください。
- 11 [△] または [▽] を押して、「終了」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 12 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

ネットワークの設定（ネットワークケーブルを接続した場合）

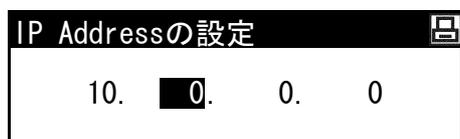
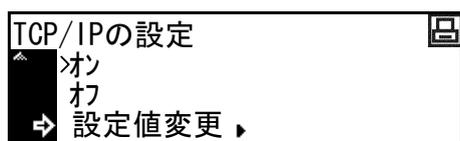
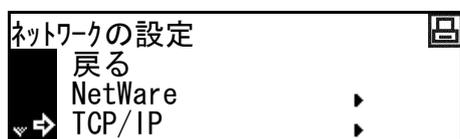
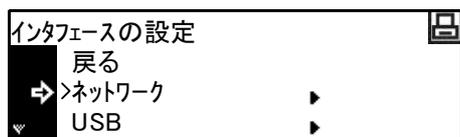
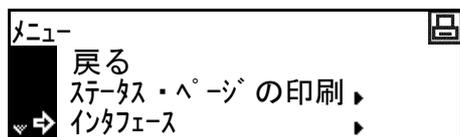
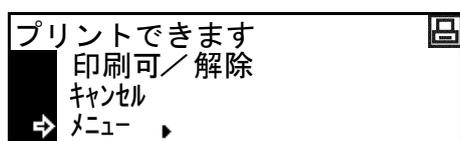
本機の IP Address、Subnet Mask、および Default Gateway を設定します。

参考：設定する IP Address は、運用される環境によって異なります。あらかじめネットワーク管理者にご確認ください。

以下の手順で IP Address を手動で設定する場合は、DHCP を「オフ」、TCP/IP を「オン」に設定してください。

IP Address の設定

操作手順は、次のとおりです。



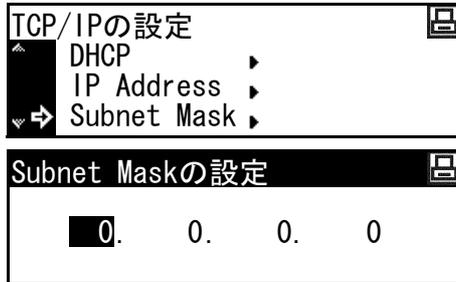
- 1 [プリンタ] キーを押してください。
- 2 [△] または [▽] を押して、「メニュー」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「インターフェイス」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、「ネットワーク」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 5 [△] または [▽] を押して、「TCP/IP」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 6 [△] または [▽] を押して、「設定値変更」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 7 [△] または [▽] を押して、「IP Address」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 8 テンキーを使って IP Address を入力します。反転表示されている最初の 3 桁のアドレスを入力してください。
- 9 [>] キーを押して、反転表示されている次の 3 桁のアドレスを入力してください。

- 10 同様に残りのアドレスを入力後、[エンター] キーを押してください。

続けて、Subnet Mask を設定します。

Subnet Mask の設定

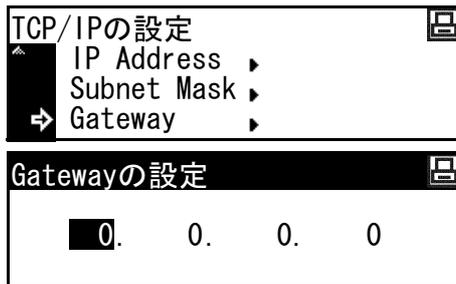
上記手順 10 の続きから Subnet Mask を設定します。



- 1 [△] または [▽] を押して、「Subnet Mask」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 2 IP Address の設定手順 8～10 と同様に、アドレスを入力してください。
続けて、Default Gateway を設定します。

Default Gateway の設定

上記手順 3 の続きから Default Gateway を設定します。

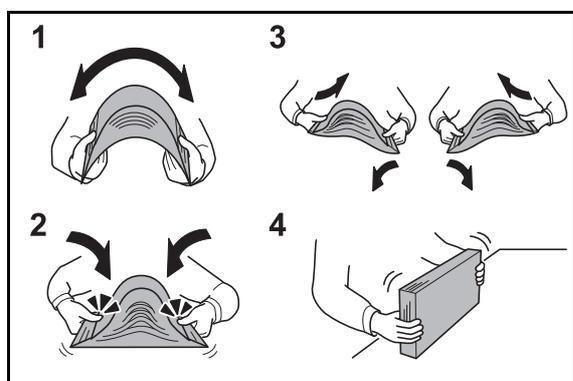


- 1 [△] または [▽] を押して、「Gateway」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 2 IP Address の設定手順 8～10 と同様に、アドレスを入力してください。
- 3 すべての設定が完了したら、[リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

用紙の補給

標準では、18枚機は1段、22枚機は2段のカセットと、手差しトレイに用紙をセットできます。オプションでペーパーフィーダも用意されています（付録-2ページのオプションについて参照）。

補給時の注意



包装紙から出した用紙は、カセットや手差しトレイにセットする前に、次の手順でさばいてください。

- 1 用紙の中央を浮かせるように、用紙全体を曲げてください。
- 2 用紙の両端をつまんだまま、用紙全体がふくらむように戻してください。
- 3 左右の手を交互に上下させて、用紙の間に空気を入れてください。
- 4 最後に、水平な台の上で、用紙を揃えてください。

用紙に折れやカールなどがある場合は、まっすぐにのばしてください。折れやカールがあると、紙づまりの原因となります。

注意：再利用紙（一度コピーした用紙）を使用する場合は、必ずステープル（ホッチキス）やクリップなどを外してください。ステープルやクリップが残ったままだと、画像不良や故障の原因となります。

参考：印刷物がカールしたり、ステープルされた印刷物がきちんと揃わないときは、給紙カセットの用紙を裏返してください。

包装紙から出した用紙を高温高湿環境に放置すると、湿気でトラブルの原因となります。カセットに入れた残りの用紙は、用紙保管袋に入れて密封保管してください。また、手差しトレイに残った用紙も、保管袋に入れて密封保管してください。

本機を長期間使用しない場合は、用紙を湿気から守るため、カセットから用紙を取り出し、保管袋に入れて密封保管してください。

参考：穴の開いた用紙、ロゴや社名などが印刷されている用紙（プレプリント）、レターヘッドなど特殊な用紙を使用する場合は、付録-9ページの用紙についてを参照してください。

カセットへの補給

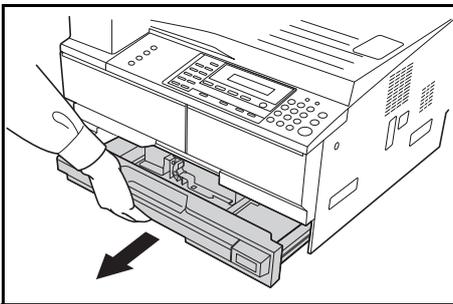
カセットには、普通紙、再生紙、カラー紙を収納できます。

普通紙 (80 g/m²) で 300 枚、厚紙 (90 ~ 105 g/m²) は 150 枚セットできます。

補給できる用紙サイズは、A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、Folio、11"×17"、8 1/2"×14"、11"×8 1/2"、8 1/2"×11"、5 1/2"×8 1/2"、8 1/2"×13"、8K、16K です。

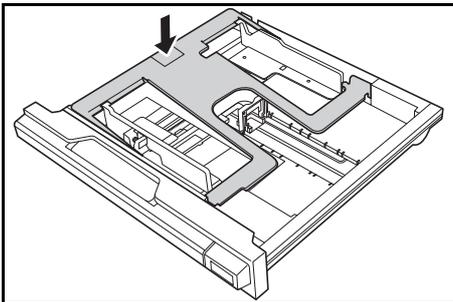
重要：インクジェットプリンタ用紙や表面に特殊なコートがされている用紙は使用しないでください。(紙づまり等、故障の原因になる場合があります。) 普通紙以外 (再生紙、カラー紙など) の用紙を使用するときは、必ず用紙種類を設定してください。

カセットには 105g/m² より重い厚紙を収納しないでください。105g/m² より重い厚紙は、手差しトレイを使用してください。

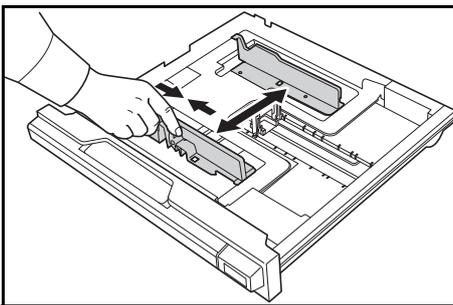


1 カセットを手前いっぱい引き出してください。

参考：複数のカセットを抜かないようにしてください。



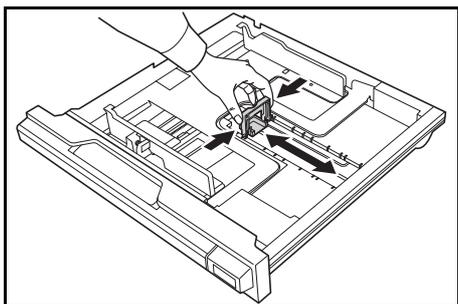
2 カセット底板を押し下げて固定してください。



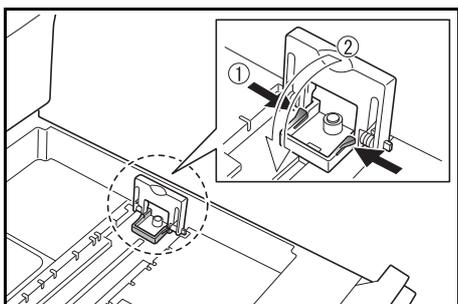
3 横サイズ変更つまみを持って用紙サイズに横ガイドを合わせてください。

重要：横ガイドがしっかりと用紙に当たっているか確認し、すき間があるときは横ガイドをセットしなおしてください。

参考：用紙サイズはカセットに刻印されています。

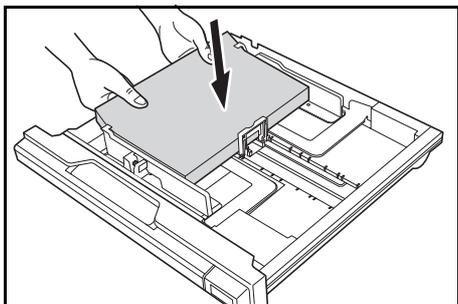


- 4 縦サイズ変更つまみを持って用紙サイズに縦ガイドを合わせてください。

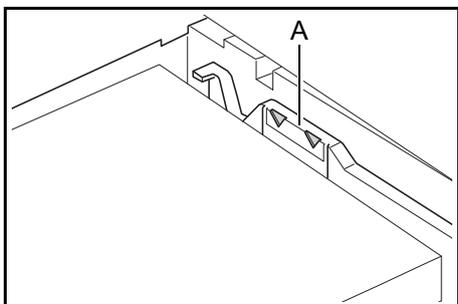


重要：縦ガイドがしっかりと用紙に当たっているか確認し、隙間があるときは縦ガイドをセットし直してください。

11"×17"の用紙をセットするときは、縦ガイドを右端まで移動させ、図のように操作して倒してください。



- 5 用紙をまっすぐに上部からセットしてください。



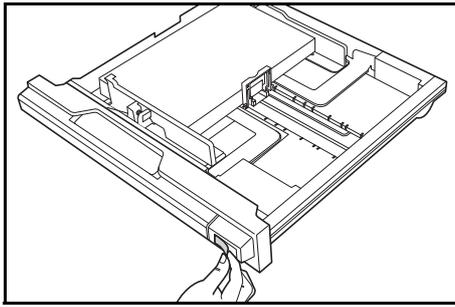
重要：用紙に折れ等がないようにセットしてください。紙づまりの原因となります。

横ガイドに用紙上限表示 A があります。一度にセットする用紙は、用紙上限表示以下にしてください。カセットに用紙を補給する場合は、開封面を上にしてセットしてください。

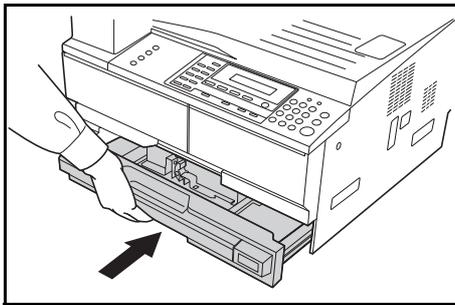
必ず縦サイズ及び横サイズのガイドを用紙のサイズに合わせてから用紙をセットしてください。斜め給紙や、紙づまりの原因となります。

縦ガイドおよび横ガイドがしっかりと用紙に当たっていない場合、メッセージ表示に、セットされている用紙と異なるサイズが表示されるおそれがあります。用紙が湿気で波うち、用紙が送られない場合、用紙の波うち側を縦ガイド側に向けてセットし直してください。

参考：カセットに用紙を補給する場合は、印刷される面を上向きにセットしてください。



6 セットした用紙サイズがカセット正面からわかるように、付属の用紙シート（シール）を貼ってください。



7 カセットを静かに押し込んでください。

参考：本機を長期間使用しない場合は、用紙を湿気から守るために、カセットから用紙を取り出し、用紙保管袋に戻して密封してください。

手差しトレイへの補給

手差しトレイには、普通紙や再生紙のほかに、特殊紙（45～160 g/m²）を補給できます。

普通紙（80g/m²）で100枚、A3、B4、Folio、11"×17"、8 1/2"×14"、8 1/2"×13"、8Kサイズの内紙では25枚補給できます。

補給できる用紙サイズは、A3～A6R、はがき、Folio、11"×17"～5 1/2"×8 1/2"、8K、16K、16KRです。特殊紙に印刷するときは必ず手差しトレイを使用してください。

重要：普通紙以外（再生紙、カラー紙など）の内紙を使用するときは、必ず用紙種類を設定してください。106g/m²以上の用紙を使用する場合は、用紙種類を厚紙に設定してください。

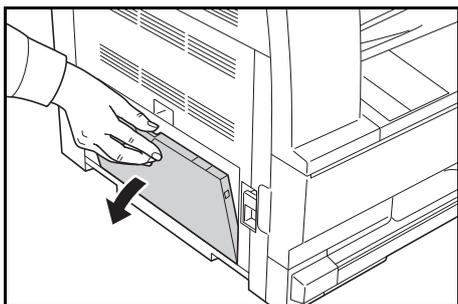
使用できる特殊紙とそのセット可能枚数は次のとおりです。

- 第2原図：1枚
- カラー紙：100枚
- ざら紙：10枚
- 官製はがき：15枚
- のし紙：1枚
- 封筒：5枚
- 厚紙（106～160 g/m²）：5枚

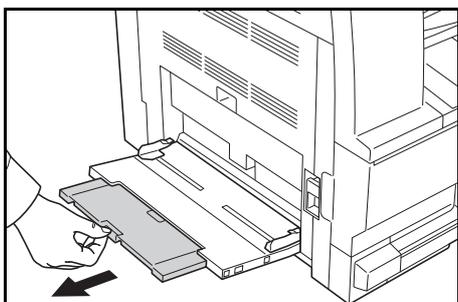
参考：不定形サイズの内紙をセットするときは、2-18ページの用紙サイズを入力する場合を参照して用紙のサイズを入力してください。

OHPフィルムや厚紙などの特殊紙を使用するときは、用紙種類を設定してください。

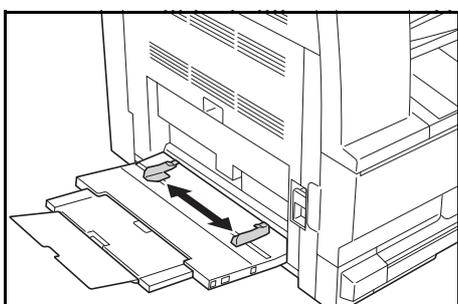
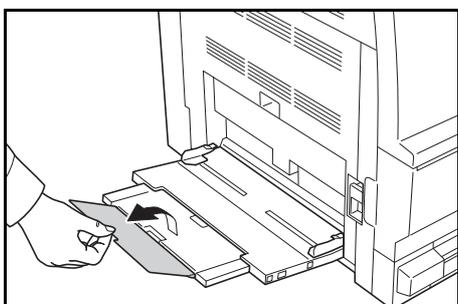
手差しトレイを選択したときに「手差し用紙サイズ」画面が表示されるように設定することができます。設定方法は6-14ページの手差し確認表示の設定を参照してください。



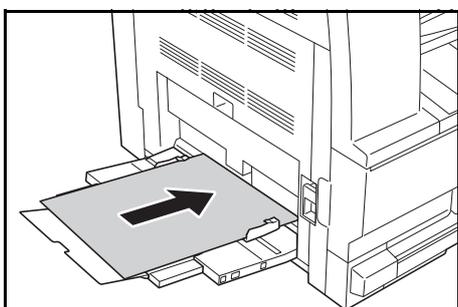
1 手差しトレイを開けてください。



参考：本体に貼られているラベルを参考に、用紙サイズに合わせて手差し補助トレイを引き出してください。



2 セットする用紙にスライダーを合わせてください。



3 用紙をスライダーに沿わせて、止まる位置まで挿入してください。

重要：開封面を下にしてください。

用紙の高さは、セット枚数以下になるようにしてください。それ以上セットすると、紙づまりの原因となります。

反っている用紙は必ず反りを直してから使用してください。

先端が反っているときは、まっすぐにのばしてください。

紙に折れ等がないようにセットしてください。紙づまりの原因となります。

スライダーが用紙の端に当たっているか確認してください。当たっていない場合は、スライダーが用紙の端に当たるまでスライダーを動かしてください。

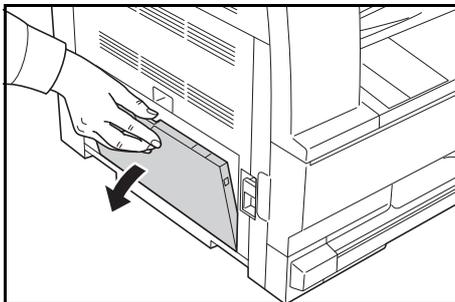
手差しトレイに用紙を補給する前に、用紙が手差しトレイに残っていないか確認してください。また、手差しトレイに残っている用紙が少ないなどで用紙を補給する場合は、用紙を一度取り除き、補給する用紙とあわせてさばいてから再度補給してください。

参考：手差しトレイに用紙を補給する場合は、印刷される面を下向きにセットしてください。

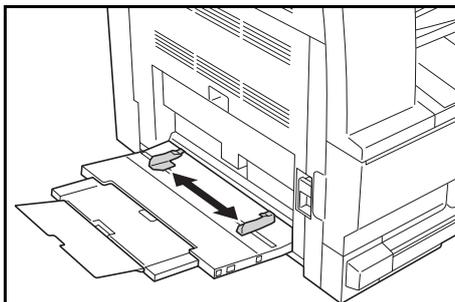
手差しトレイから封筒やはがきを印刷する場合

封筒やはがきに印刷する場合は、手差しトレイを使用します。

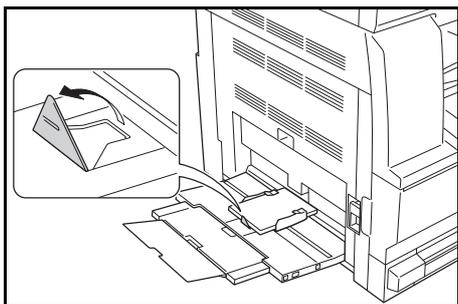
補給できる用紙サイズは、Envelope DL、Envelope C5、Envelope C4、Comm. #10、Comm. #9、Comm. #6-3/4、Monarch、はがき、往復はがき、洋形2号、洋形4号です。



1 手差しトレイを開けてください。



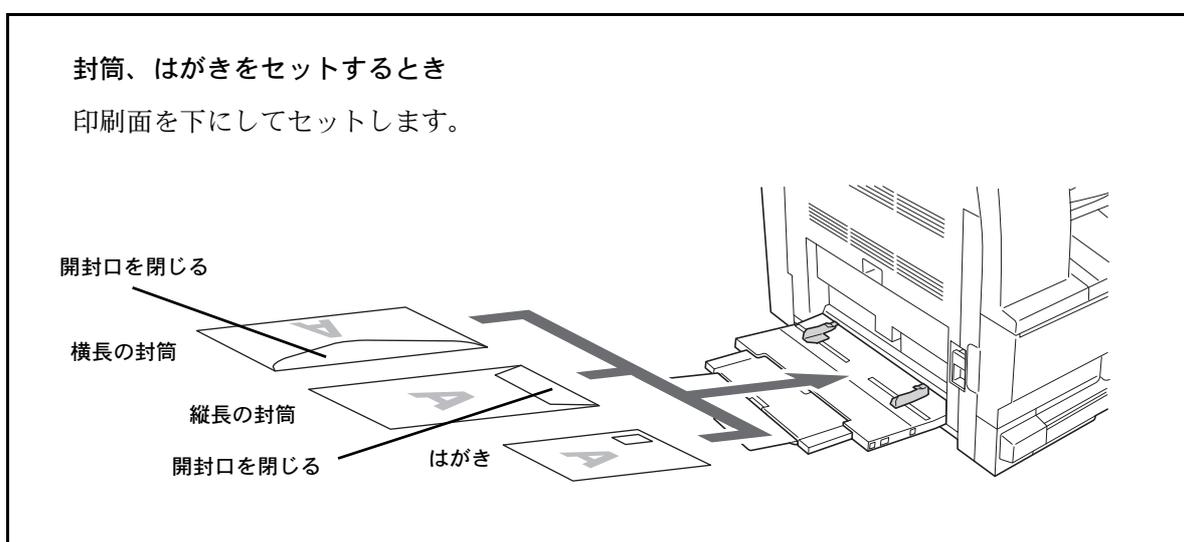
2 封筒の幅に用紙幅ガイドを合わせてください。



はがきを手差しトレイにセットするときは、専用のストッパを開いてください。

- 3 横長の封筒の場合、開封口を閉じます。印字面を下にして、開封口が手前側になるようにして、幅ガイドに沿って奥まで挿入してください。

縦長の封筒の場合、開封口を閉じます。印字面を下にして、開封口が挿入口側になるようにして、用紙幅ガイドに沿って奥まで挿入してください。



重要：封筒の補給のしかた（向き、裏表）は、封筒の種類によって異なります。正しく補給しないと、異なった方向、異なった面に印刷されることがあります。

手差しトレイの設定

手差しトレイから給紙する場合は、次の設定を行ってください。

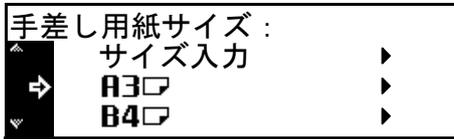
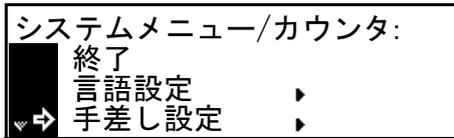
用紙サイズの設定

手差しトレイで使用する用紙のサイズを設定します。用紙サイズを入力すると、不定形サイズ of 用紙を使用することもできます。

参考：用紙サイズが不明な場合、または特に用紙サイズを設定しない場合は、「ユニバーサルサイズ」を設定してください。

定形サイズから選択する場合

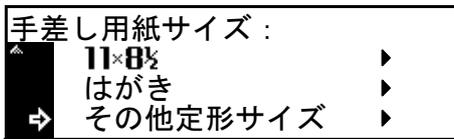
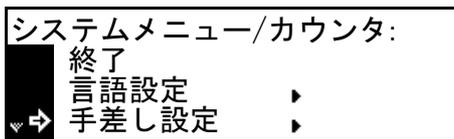
設定できる用紙サイズ：A3、B4、A4R、A4、B5R、B5、A5R、B6R、8 1/2" × 11"、11" × 8 1/2"、はがき



- 1 [システムメニュー/カウンタ] キーを押してください。
- 2 [△] または [▽] を押して、「手差し設定」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、用紙サイズを選択後、[エンター] キーを押してください。
「手差し用紙種類」画面が表示されます。次の用紙種類の設定に進んでください。

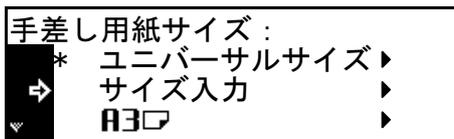
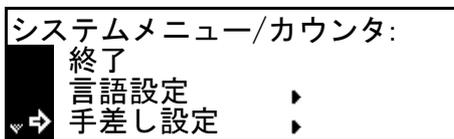
その他の定形サイズから選択する場合

設定できる用紙サイズ：11"×17"、8 1/2"×14"、8 1/2"×13"、5 1/2"×8 1/2"、Folio、A6R、Executive、ISO B5、Envelope DL、Envelope C5、Envelope C4、Comm.#10、Comm.#9、Comm.#6-3/4、Monarch、洋形2号、洋形4号、8K、16KR、16K



- 1 [システムメニュー/カウンタ] キーを押してください。
- 2 [△] または [▽] を押して、「手差し設定」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「その他定形サイズ」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、用紙サイズを選択後、[エンター] キーを押してください。
「手差し用紙種類」画面が表示されます。次の用紙種類の設定に進んでください。

用紙サイズを入力する場合



- 1 [システムメニュー/カウンタ] キーを押してください。
- 2 [△] または [▽] を押して、「手差し設定」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「サイズ入力」を選択後、[エンター] キーを押してください。



4 [<] または [>] を押して、縦のサイズを設定してください。

98 ~ 297 mm (1 mm 単位) の範囲で設定できます。

5 [▽] を押して、横のサイズを選択してください。

6 [<] または [>] を押して、横のサイズを設定してください。

148 ~ 432 mm (1 mm 単位) の範囲で設定できます。

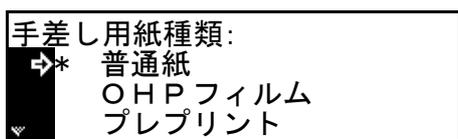
7 [エンター] キーを押してください。

「手差し用紙種類」画面が表示されます。次の用紙種類の設定に進んでください。

用紙種類の設定

用紙サイズの設定の続きから、手差しトレイで使用する用紙の種類を設定します。

設定できる用紙種類：普通紙、OHP フィルム、プレプリント、ラベル紙、ボンド紙、再生紙、薄紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み紙、封筒、はがき、厚紙、上質紙、カスタム 1 (~ 8)



[△] または [▽] を押して、用紙種類を選択後、[エンター] キーを押してください。

コピー基本画面に戻ります。

原稿のセット

原稿ガラスに原稿を置く方法と、原稿送り装置（オプション）に原稿をセットする方法があります。

原稿ガラスへの原稿のセット

シート原稿や本をコピーするときは、原稿ガラスの上に原稿をセットしてください。また、原稿送り装置（オプション）にセットできない原稿の場合、原稿送り装置本体を開けて原稿ガラスの上に原稿をセットしてください。



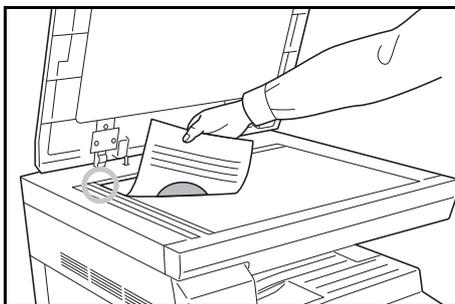
注意：原稿送り装置を開いた状態のまま放置しないでください。けがの原因となることがあります。

重要：原稿送り装置を閉じるときは、原稿ガラスに強く押さえつけないでください。ガラスが割れることがあります。

原稿送り装置を装着した状態で本をコピーする場合は、原稿送り装置を開けたまま行ってください。

参考：原稿送り装置を開ける前には、原稿テーブルや原稿排出カバーに原稿がないことを確認してください。原稿が残っていると、開けたときに原稿が落ちることがあります。

本などの見開き原稿をコピーすると、コピーのまわりや中央に黒い陰ができることがあります。



- 1 原稿押さえまたは原稿送り装置本体を開けてください。
- 2 原稿を置いてください。

- 3 原稿押さえまたは原稿送り装置本体を閉じてください。

原稿送り装置への原稿のセット

複数枚のシート原稿を自動的に1枚ずつ送るときに使用します。

使用できる原稿

次の原稿が使用できます。

- シート原稿
- 厚さ
 - 片面原稿 45 g/m² ~ 160 g/m²
 - 両面原稿 50 g/m² ~ 120 g/m²
- サイズ：A3 ~ A5R、Folio

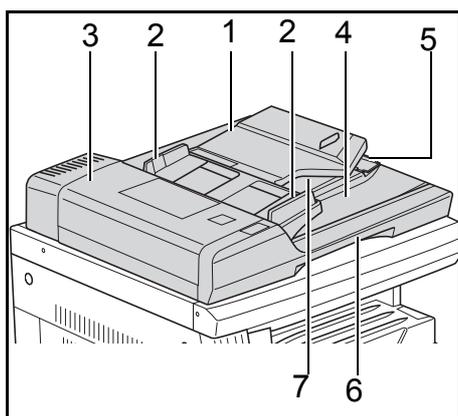
- セット枚数：50 枚（50 ～ 80 g/m²）（ただし原稿サイズ混載モード時は 30 枚）

使用上の注意

次のような原稿は使用しないでください。また、パンチ穴やミシン目のある原稿を挿入先端側にセットしないでください。

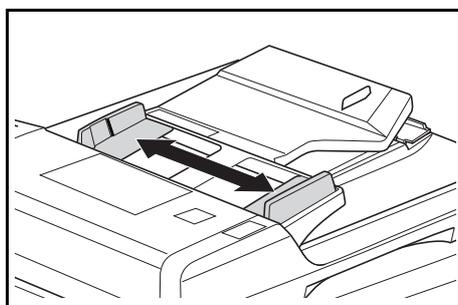
- OHP シートなどの透明フィルム
- カーボン紙やしわ・折れのひどい原稿、またはビニールなどの軟らかい原稿
- 方形でない原稿、濡れた原稿、粘着テープ・糊などが付いた原稿
- クリップやホッチキスで止めてある原稿（やむをえず原稿とするときは、それらを取り外して、しわ・折れを直してからセットしてください。）
- 切り抜きの原稿、表面や裏面のスベリが非常によい原稿
- 修正液が乾いていない状態の原稿
- 折り目のついた原稿（やむをえず原稿とするときは、折れを直してからセットしてください。）
- 反りの大きい原稿（やむをえず原稿とするときは反りを直してからセットしてください。）

各部の名称

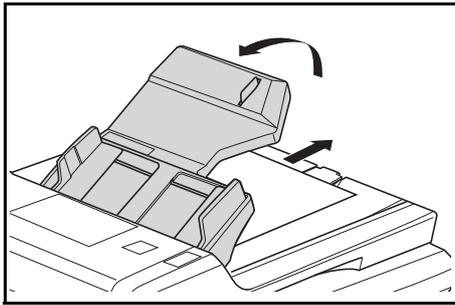


- 1 原稿テーブル—原稿をここにセットしてください。
- 2 原稿挿入ガイド—原稿サイズに合わせてください。
- 3 左カバー—原稿が詰まったときに開いてください。
- 4 原稿排出カバー—コピーした原稿がここに収納されます。
- 5 排紙ガイド—A3、B4 の原稿をセットするときに開いてください。
- 6 原稿送り装置開閉取手—原稿送り装置を開閉するときはこの取手を持ってください。
- 7 排出トレイ—両面原稿の場合、一時的に原稿が排出されます。

原稿送り装置への原稿セット手順は次のとおりです。

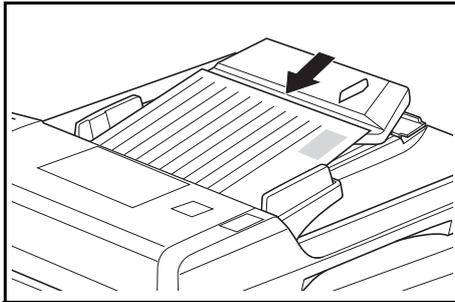


- 1 原稿挿入ガイドを原稿サイズに合わせてください。

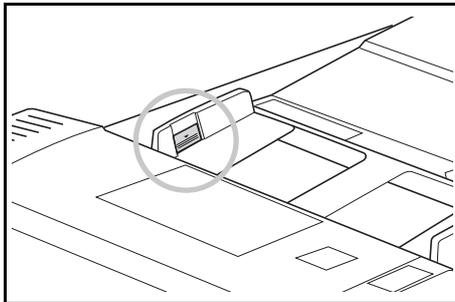


参考：原稿をセットする前に、原稿排出カバーに排紙された原稿が残っていないか確認してください。原稿排出カバーに原稿が残っていると、原稿詰まりの原因になります。

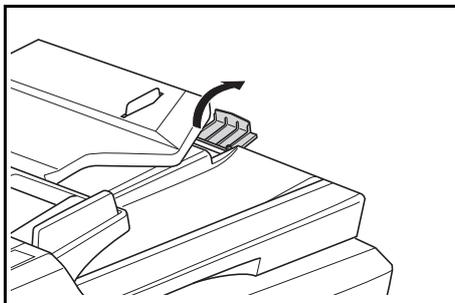
多枚数の原稿を同時にセットする場合は、必ず同じサイズの原稿を使用してください。ただし、原稿サイズ混載モードを設定したときは、A3 と A4 など幅の同じ原稿を同時にセットできます。



2 原稿はコピーする面を上向きにして（両面原稿の場合は表面を上にして）、順序よく重ねて、原稿テーブルにセットしてください。



重要：奥の原稿挿入ガイドに貼ってある目盛り以下に原稿をセットしてください。規定枚数以上の原稿をセットすると、原稿詰まりの原因になります。



重要：A3、B4の原稿をセットするときには、原稿が落ちないように排紙ガイドを開いてください。

両面原稿の場合は、原稿を反転させるため、排出トレイへ一時的に原稿が排出されますが、さわらないでください。無理に引き出そうとすると、原稿詰まりの原因になります。

3 基本的な操作

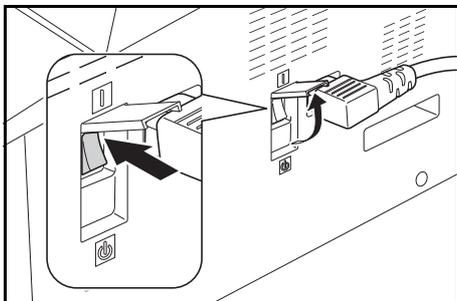
この章では、電源の入 / 切をはじめとする本機の基本的な操作について説明します。

- 電源の入 / 切 ...3-2
- 低電力モードと自動低電力モード ...3-4
- スリープとオートスリープ ...3-5

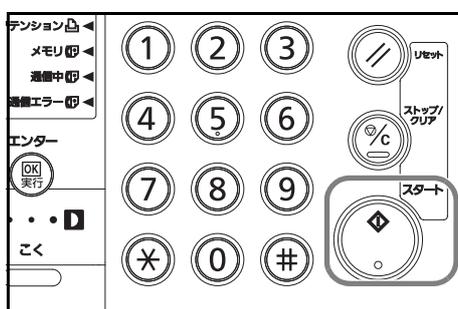
電源の入 / 切

電源を入れる

本機の電源を入れます。



本体右側にあるメインスイッチカバーを開いて、メインスイッチをON（|）にしてください。ウォームアップが開始されます。



ウォームアップが完了すると、スタート表示が緑色に点灯します。

重要：主電源を入れ直すときは、5秒以上あけてから、主電源を入れてください。

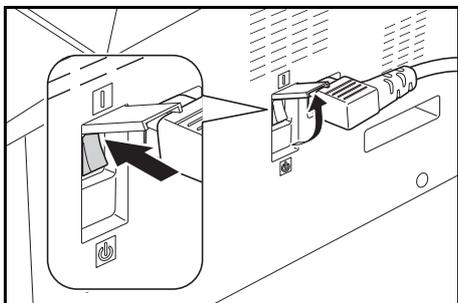
電源を切る



メインスイッチを切る前に、操作パネルの
[電源]キーを押してください。

3

注意：[電源]キーが点灯している場合に、オプションのハードディスクが動作していることがあります。
ハードディスクが動作しているときに主電源スイッチを切ると、故障の原因になることがあります。



[電源]キーのランプが消灯していることを確認
してからメインスイッチを切ってください。

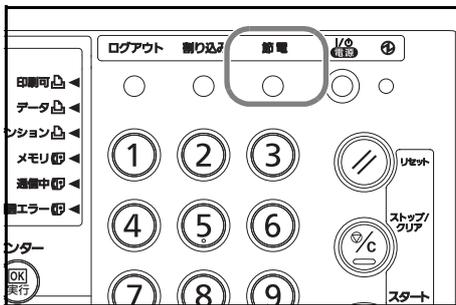
長期間本機を使用しないときは



注意：夜間等で長時間本製品をご使用にならない場合は、主電源スイッチを切ってください。また連休等で長期間、本製品を使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。但し、ファクスキットを装着している場合、主電源スイッチが切れているときは、ファクスの送信/受信を行いません。

低電力モードと自動低電力モード

低電力モード



[節電]キーを押すと、[節電]キーのランプと電源キーのランプ、主電源ランプが点灯し、操作パネルや他のランプは消灯して消費電力を低減します。この状態を低電力モードと呼びます。

低電力モード中に印刷データが送られてくると、自動的に復帰して出力を開始します。オプションのファクス機能を使用している場合は、ファクスの受信時にも自動的に復帰して出力を開始します。

本機を使用するときは、次のいずれかの操作を行ってください。10秒以下で再び使用できるようになります。

- 操作パネル上のいずれかのキーを押す。
- 原稿押さえまたはオプションの原稿送り装置を開ける。
- オプションの原稿送り装置に原稿をセットする。

外気など周囲の環境条件によっては時間が長くなる場合があります。

自動低電力モード

自動低電力モードは、一定時間操作がないと自動的に低電力モードに移行する機能です。切り替わる時間は、工場出荷時で1分です。

スリープとオートスリープ

スリープ状態



[電源]キーを押すと、主電源ランプだけが点灯し、操作パネルや他のランプは消灯して消費電力を最小に抑えます。この状態をスリープと呼びます。

スリープ中に印刷データが送られてくると、操作パネルは消灯したまま印刷されます。

オプションのファクス機能を使用している場合は、ファクスの受信時にも、操作パネルは消灯したまま印刷されます。

本機を使用するときは、[電源]キーを押してください。17.2秒以下で再び使用できるようになります。

外気など周囲の環境条件によっては時間が長くなる場合があります。

オートスリープ

オートスリープは、低電力モード中に一定時間操作がないと自動でスリープ状態に切り替わる機能です。切り替わる時間は、工場出荷時で1分です。

4 コピー機能

この章では、コピーの際に利用できる機能について説明します。

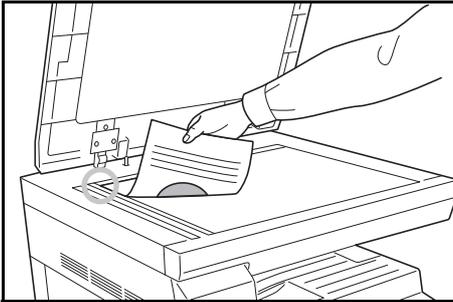
- 基本的なコピーのしかた ...4-2
- 濃度調整 ...4-3
- 画質の選択 ...4-4
- 縮小 / 拡大 ...4-5
- ソート ...4-8
- 仕分け ...4-9
- ステープル ...4-10
- 原稿用紙サイズ選択 ...4-12
- 給紙元の選択 ...4-14
- 原稿サイズ混載 ...4-15
- 原稿セット向き ...4-16
- エコプリント ...4-18
- ページ集約 ...4-19
- とじしろ ...4-22
- 枠消し ...4-23
- 両面 ...4-24
- 分割 ...4-26
- 連続読み込み ...4-28
- 自動画像回転 ...4-29
- 割り込みコピー ...4-30
- プログラムコピー ...4-32

基本的なコピーのしかた

給紙元であるカセットの用紙を選択する操作手順は、次のとおりです。

- 1 [コピー] キーを押してください。

参考：本機がスリープモードの場合は、[電源] キーを押して、ウォームアップが完了するまで待ってください。



- 2 原稿ガラスに原稿を置いてください。

参考：オプションの原稿送り装置に原稿をセットする方法は、2-20 ページの原稿送り装置への原稿のセットを参照してください。



- 3 使用するコピー機能を選択してください。

- 4 用紙を選択してください。

メッセージ表示に「自動」が表示されている場合は、原稿と同じサイズの用紙が自動的に選択されています。

用紙サイズを変更する場合は、[用紙選択] キーを押して、給紙元を選択してください。

参考：自動的に用紙サイズを選択させないこともできます。

原稿がない状態でも、自動的に選択されるカセットを選択することができます。

- 5 テンキーを押して、希望のコピー枚数を設定してください。1回のコピーで999枚まで設定できます。

- 6 [スタート] キーを押してください。

コピーが開始されます。

濃度調整

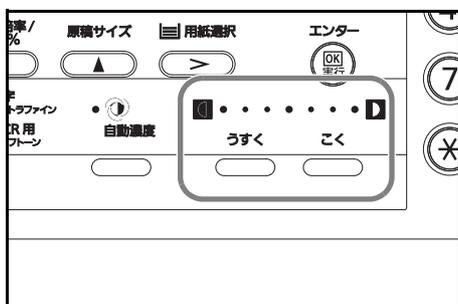
濃度を手動で調整できます。工場出荷時は手動です。

設定項目は次のとおりです。

項目	詳細
手動	手動で7段階に選択できます。
自動	原稿の濃度に応じて最適なコピー濃度が選択されます。

参考：初期設定を自動に選択することができます（6-3 ページの濃度モード設定参照）。

濃度の調整方法は次のとおりです。



- 1 [コピー] キーを押してください。
- 2 原稿をセットしてください。
- 3 [うすく] キーと [こく] キーを押して、濃度を調整してください。濃度表示が現在の濃度を示します。

手動から自動に切り替えるには、[自動濃度] キーを押してください。

- 4 [スタート] キーを押してください。
コピーが開始されます。

画質の選択

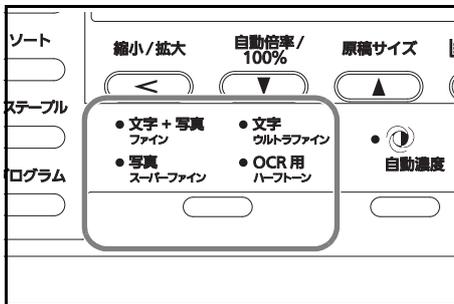
原稿の種類に合わせて、画質を選択できます。

画質の種類は次のとおりです。

項目	詳細
文字+写真	文字と写真の混在に適します。
文字	えんぴつや細線をくっきり再現します。
写真	雑誌などの印刷された写真原稿に適します。

画質を選択してコピーする操作手順は、次のとおりです。

- 1 [コピー] キーを押してください。
- 2 原稿をセットしてください。
- 3 画質モード選択キーを押して、画質を選択してください。



- 4 [スタート] キーを押してください。
コピーが開始されます。

参考：それぞれの画質モードで濃度調整をすることができます。6-7 ページの**文字+写真原稿濃度調整**、6-8 ページの**写真原稿濃度調整文字**、6-8 ページの**写真原稿濃度調整**を参照してください。

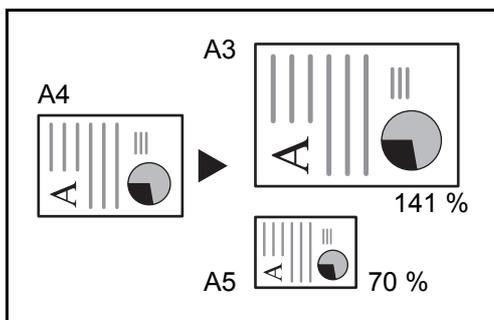
写真を選択した場合は**手動濃度モード**になります。詳細は、4-3 ページの**濃度調整**を参照してください。

縮小 / 拡大

縮小 / 拡大してコピーできます。縮小 / 拡大には次の方法があります。

参考：201%以上に拡大してコピーすると、画像の先端と後端が回転してコピーされます。

自動倍率



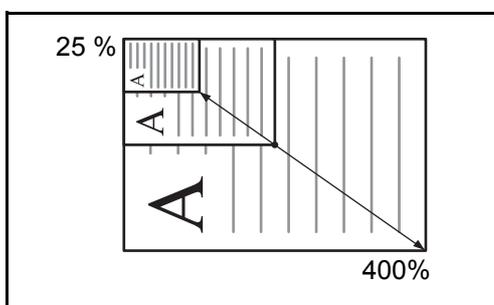
操作手順は、次のとおりです。



コピー後の用紙サイズを選択すると、縮小 / 拡大の倍率が自動で選択されます。

- 1 [コピー] キーを押してください。
- 2 原稿をセットしてください。
- 3 [自動倍率 /100%] キーを押してください。
メッセージ表示に「自動倍率」が表示されます。
- 4 [用紙選択] キーを押してください。
メッセージ表示にコピー倍率が表示されます。
- 5 [スタート] キーを押してください。
コピーが開始されます。

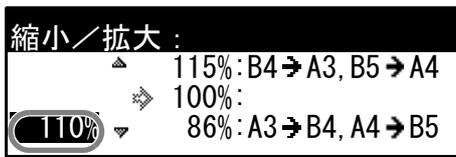
倍率入力



操作手順は、次のとおりです。

25～400%の範囲で、1%刻みに倍率を選択できます。

- 1 [コピー] キーを押してください。
- 2 原稿をセットしてください。



- 3 [縮小/拡大] キーを押してください。
- 4 テンキーで倍率を入力します。
メッセージ表示にコピー倍率が表示されます。
- 5 [エンター] キーを押してください。
- 6 [スタート] キーを押してください。
コピーが開始されます。

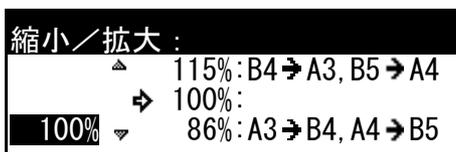
固定倍率

本機に用意されている倍率で縮小/拡大します。

選択できる倍率と、コピー前後のサイズ（原稿サイズ→用紙サイズ）は次のとおりです。

- 100%
- 自動
- 400%（最大）
- 200%（A5→A3）
- 141%（A4→A3、B5→B4）
- 122%（A4→B4、A5→B5）
- 115%（B4→A3、B5→A4）
- 86%（A3→B4、A4→B5）
- 81%（B4→A4、B5→A5）
- 70%（A3→A4、B4→B5）
- 50%
- 25%（最小）

操作手順は、次のとおりです。

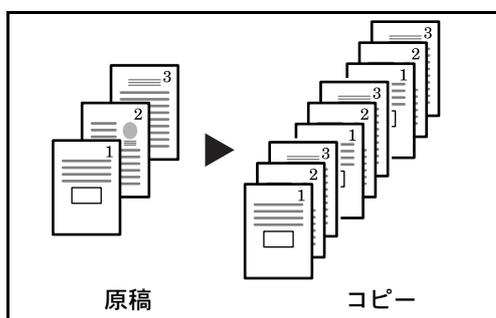


- 1 [コピー] キーを押してください。
- 2 原稿をセットしてください。
- 3 [縮小/拡大] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、倍率を選択してください。
- 5 [エンター] キーを押してください。
メッセージ表示にコピー倍率が表示されます。
- 6 [スタート] キーを押してください。

コピーが開始されます。

ソート

複数枚の原稿をいったんメモリに入れてコピーを行うため、1部ずつに並べ替えられたコピーを必要部数作成できます。



ソートを使用すると、複数枚の原稿から、ページ順に並んだコピーを必要部数作成できます。

参考：オプションの原稿送り装置を装着している場合は、初期モードでソートコピーするか、しないかを変更することができます。(6-9 ページのソートコピー設定参照)。

- 1 [コピー] キーを押してください。
- 2 原稿をセットしてください。
- 3 [ソート] キーを押してください。
- 4 コピー部数を入力して [スタート] キーを押してください。

原稿の読み取りが開始されます。

オプションの原稿送り装置に原稿をセットしたときは、自動的にコピーが開始されます。

原稿ガラスにセットしたときは、原稿の入れ替えを促すメッセージが表示されます。この場合は、次の手順に進んでください。

- 5 原稿を入れ替えて、[スタート] キーを押してください。

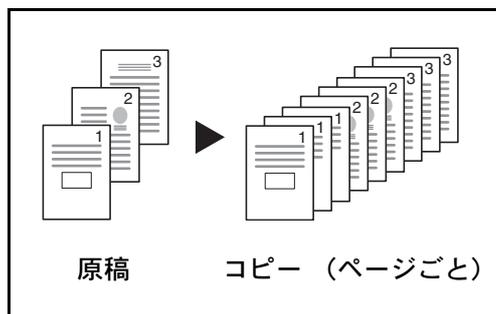
原稿の読み取りが行われます。

- 6 次の原稿がなければ、[エンター] キーを押してください。

コピーが開始されます。

仕分け

仕分けを使用すると、用紙が1部ごと（またはページごと）に仕分けして排紙されます。



参考：仕分けするには、オプションのドキュメントフィニッシャが必要です。オプションの原稿送り装置またはフィニッシャを装着していない場合は、ソートコピーと組み合わせて使用してください。

初期モードで仕分けコピーするか、しないかを変更することができます。(6-9 ページの仕分けコピー設定参照)

仕分けコピーを設定するときは、自動回転コピーを「する」に設定してください。(6-9 ページの自動回転コピー設定参照)

仕分けコピーできる用紙サイズは、A4、B5、11"×8 1/2"、16K に限られます。

- 1 [コピー] キーを押してください。
- 2 原稿をセットしてください。
- 3 [仕分け] キーを押してください。
- 4 [ソート] キーを押してください。
- 5 コピー部数を入力して [スタート] キーを押してください。

原稿の読み取りが開始されます。

オプションの原稿送り装置に原稿をセットしたときは、自動的にコピーが開始されます。

原稿ガラスにセットしたときは、原稿の入れ替えを促すメッセージが表示されます。この場合は、次の手順に進んでください。

- 6 原稿を入れ替えて、[スタート] キーを押してください。

原稿の読み取りが行われます。

- 7 次の原稿がなければ、[エンター] キーを押してください。

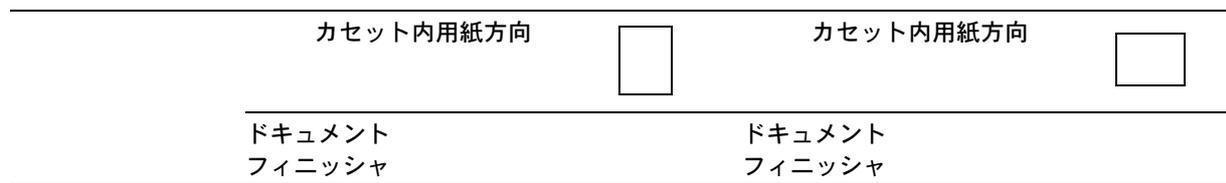
コピーが開始されます。

ステープル

仕上がったコピーにステープルすることができます。

参考：ステープルコピーをするには、オプションのフィニッシャが必要です。

原稿のセット方向と、コピーにステープルされる位置は次のとおりです。



原稿セット向き：奥



原稿セット向き：奥



原稿セット向き：左



原稿セット向き：左



ステープルコピーの操作手順は、次のとおりです。



- 1 [コピー] キーを押してください。
- 2 原稿をセットしてください。
- 3 [ステープル] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、ステープルの位置を選択後、[エンター] キーを押してください。

- 5 [スタート] キーを押してください。

原稿の読み取りが開始されます。

オプションの原稿送り装置に原稿をセットしたときは、自動的にコピーが開始されます。

原稿ガラスにセットしたときは、原稿の入れ替えを促すメッセージが表示されます。この場合は、次の手順に進んでください。

- 6 原稿を入れ替えて、[スタート] キーを押してください。

原稿の読み取りが行われます。

- 7 次の原稿がなければ、[エンター] キーを押してください。

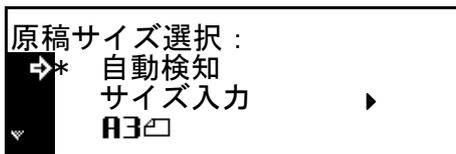
コピーが開始されます。

原稿用紙サイズ選択

原稿の読み込みサイズを選択してください。不定形サイズの原稿を使用する場合は、必ず原稿サイズを選択してください。

定形サイズから選択する場合

操作手順は、次のとおりです。

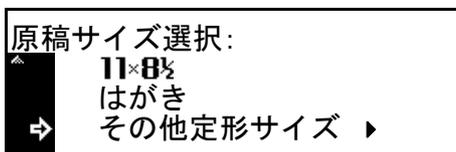


- 1 [コピー] キーを押してください。
- 2 原稿をセットしてください。
- 3 [原稿サイズ選択] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、原稿のサイズを選択後、[エンター] キーを押してください。

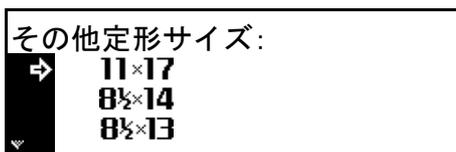
- 5 [スタート] キーを押してください。
原稿の読み取りが開始されます。

その他の定形サイズから選択する場合

操作手順は、次のとおりです。



- 1 [コピー] キーを押してください。
- 2 原稿をセットしてください。
- 3 [原稿サイズ選択] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、「その他定形サイズ」を選択後、[エンター] キーを押してください。



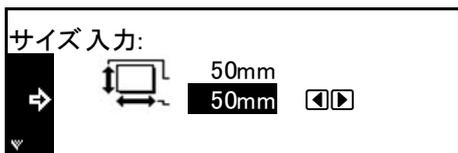
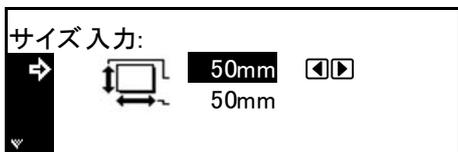
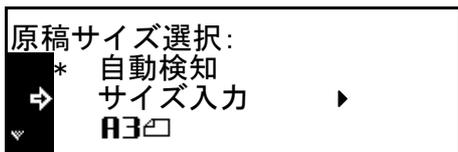
- 5 [△] または [▽] を押して、原稿のサイズを選択後、[エンター] キーを押してください。

- 6 [スタート] キーを押してください。
原稿の読み取りが開始されます。

原稿サイズを入力する場合

操作手順は、次のとおりです。

- 1 [コピー] キーを押してください。
- 2 原稿をセットしてください。
- 3 [原稿サイズ選択] キーを押してください。



- 4 [△] または [▽] を押して、「サイズ入力」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 5 [<] または [>] を押して、縦のサイズを設定してください。
50 ～ 297 mm (1 mm 単位) の範囲で設定できます。
- 6 [▽] を押して、横のサイズを選択してください。
- 7 [<] または [>] を押して、横のサイズを設定後、[エンター] キーを押してください。
50 ～ 432 mm (1 mm 単位) の範囲で設定できます。
- 8 [スタート] キーを押してください。
原稿の読み取りが開始されます。

給紙元の選択

使用したいサイズ of 用紙が入ったカセットまたは手差しトレイを選択してください。



1 [コピー] キーを押してください。

2 原稿をセットしてください。

メッセージ表示に「自動」が表示されている場合は、原稿と同じサイズの用紙が自動的に選択されます。

参考：自動的に用紙サイズを選択させないこともできます。詳細は 6-5 ページの用紙選択を参照してください。

カセットに用紙サイズを設定しておくことができます。詳細は 6-13 ページの用紙サイズ（カセット 1～4）設定を参照してください。

カセットに用紙種類を設定しておくことができます。（詳細は 6-14 ページの用紙種類（カセット 1～4）設定を参照してください。

3 用紙サイズを変更する場合は、[用紙選択] キーを押して、給紙元を選択してください。

参考：手差しトレイを使用するときは、2-17 ページの手差しトレイの設定を参照して、用紙サイズと用紙種類を設定してください。

手差しトレイを選択したときに、「手差しサイズ設定」画面が表示されるように設定することもできます。（6-14 ページの手差し確認表示の設定参照）

4 [スタート] キーを押してください。

コピーが開始されます。

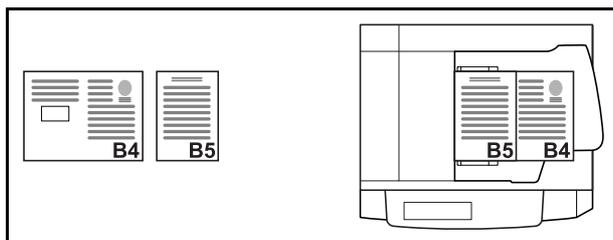
原稿サイズ混載

オプションの原稿送り装置を使用すると、サイズの異なる原稿をまとめてセットし、コピーできます。この方法で原稿送り装置にセットできる枚数は、最大 30 枚です。

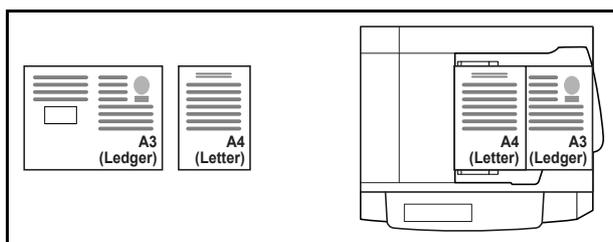
セットできる原稿サイズの組み合わせ

セットできる原稿の組み合わせは次のとおりです。

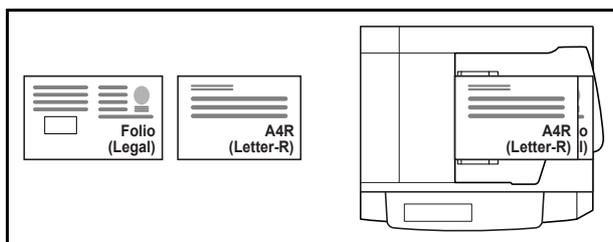
B4 と B5



A3 と A4 (Ledger と Letter)



Folio と A4-R (Legal と Letter-R)



原稿サイズ混載コピーをする操作手順は、次のとおりです。

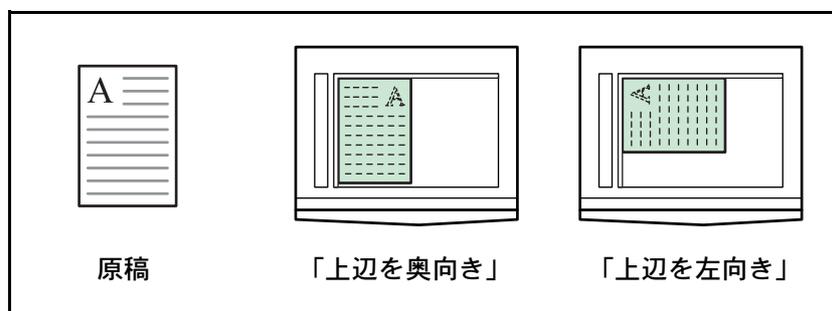
- 1 [コピー] キーを押してください。
- 2 原稿をセットしてください。
- 3 [原稿サイズ混載] キーを押してください。
- 4 [スタート] キーを押してください。
コピーが開始されます。

原稿セット向き

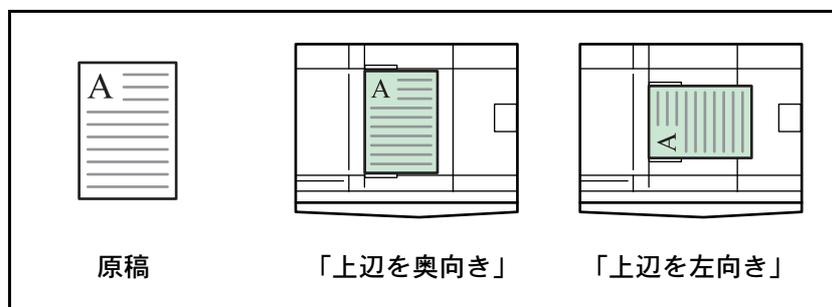
次の機能を使用する場合は、原稿をセットする向きを選択してください。

- 両面
- 分割
- とじしろ
- 枠消し
- ページ集約
- 原稿サイズ混載（オプション）
- ステープル（オプション）

原稿ガラスに原稿をセットする場合

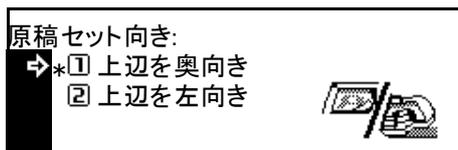
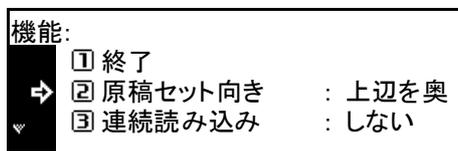


オプションの原稿送り装置に原稿をセットする場合



参考：原稿セット向きの初期値を変更することができます。詳細は 6-17 ページの原稿セット向きを設定を参照してください。

原稿のセットする向きを選択する操作手順は、次のとおりです。



- 1 [コピー] キーを押してください。
- 2 原稿をセットしてください。
- 3 [機能] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、「原稿セット向き」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 5 [△] または [▽] を押して、「上辺を奥向き」または「上辺を左向き」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 6 [スタート] キーを押してください。
コピーが開始されます。

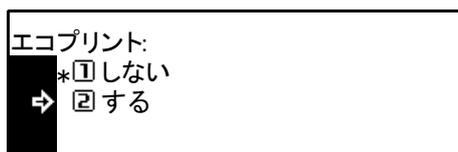
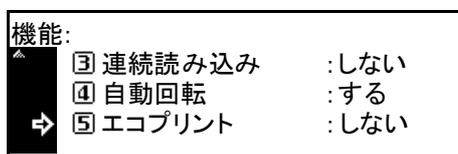
エコプリント

トナーを節約してコピーできます。画像がやや粗くなるため、試しコピーなど高品質なコピーが必要でないときに使用してください。

参考：画像がやや薄くなります。

初期モードでエコプリントするか、しないかを変更することができます。(6-4 ページのエコプリント設定参照)

エコプリントの操作手順は、次のとおりです。



- 1 [コピー] キーを押してください。
- 2 原稿をセットしてください。
- 3 [機能] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、「エコプリント」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 5 [△] または [▽] を押して、「する」または「しない」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 6 [スタート] キーを押してください。
コピーが開始されます。

ページ集約

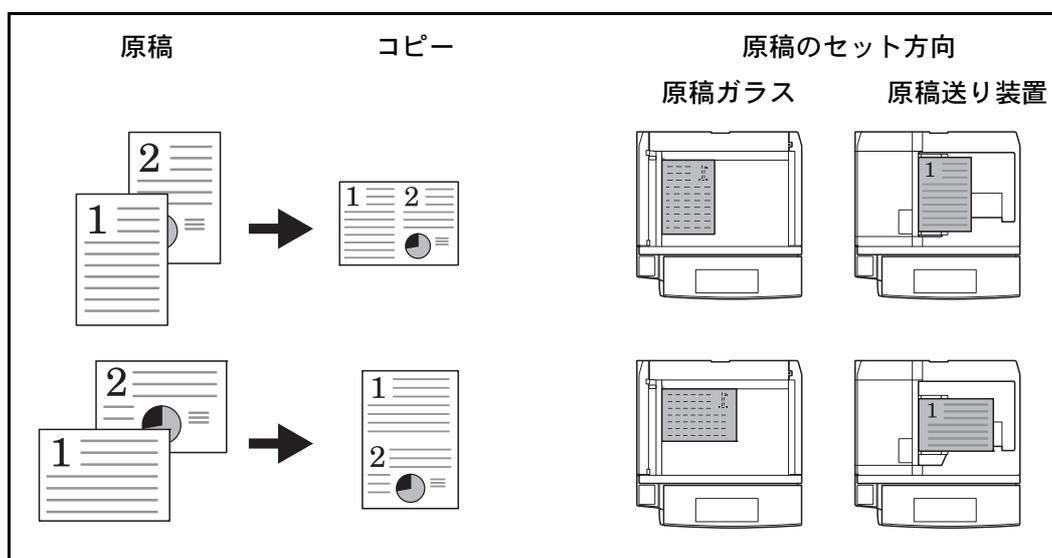
2枚または4枚の原稿を1枚の用紙に集約してコピーすることができます。集約には2in1と4in1があります。原稿の境目の位置に境界線を入れることもできます。

参考：原稿サイズ、用紙サイズは定形サイズのみ使用できます。

2in1

2枚の原稿を1枚にコピーします。両面コピーと併用すると、4枚の原稿を1枚の両面コピーにすることができます。

原稿のセット向きと仕上がりは次のとおりです。

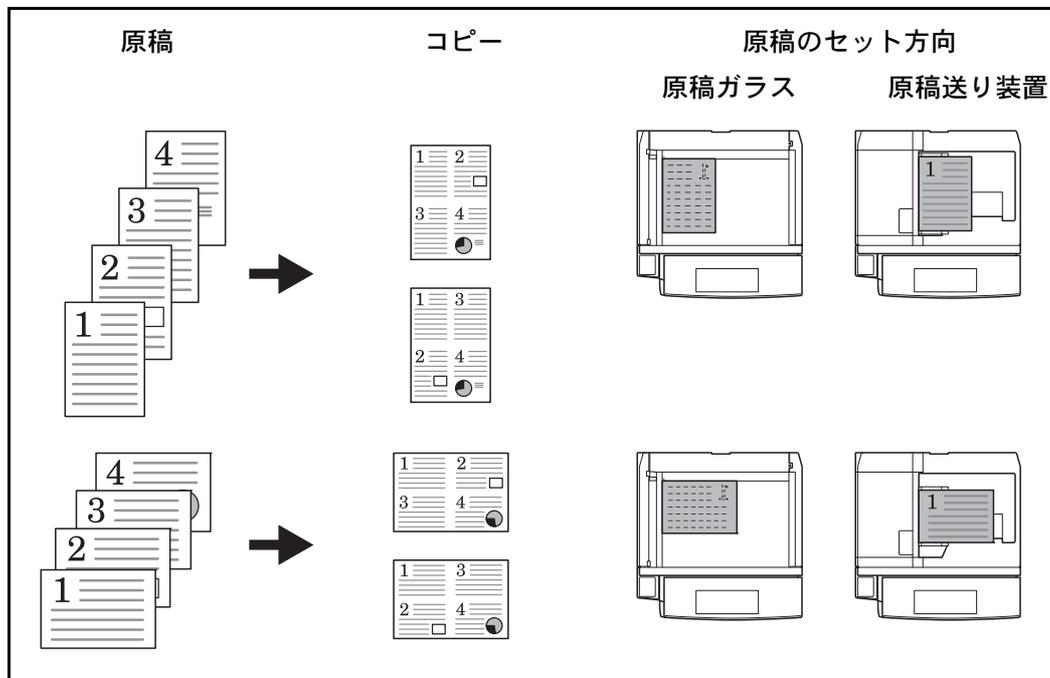


参考：原稿を原稿ガラスにセットするときは、ページ順にセットしてください。

4in1

4枚の原稿を1枚にコピーします。両面コピーと併用すると、8枚の原稿を1枚の両面コピーにすることができます。

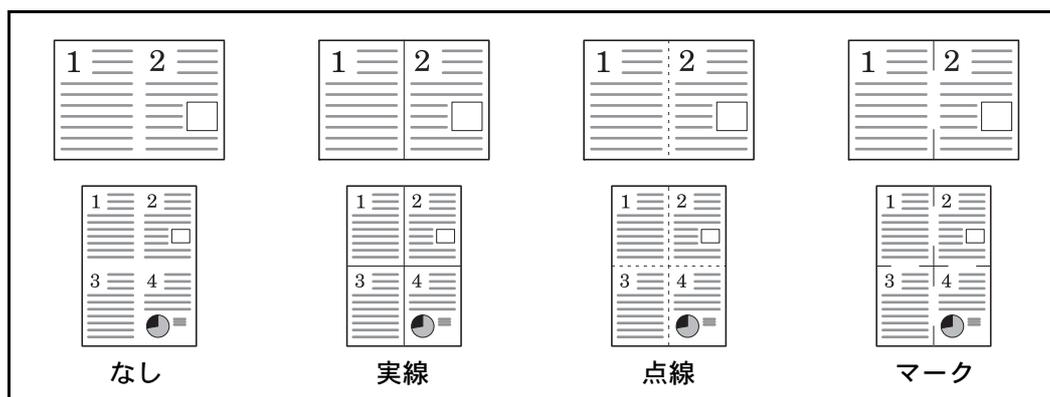
原稿のセット向きと仕上がりは次のとおりです。



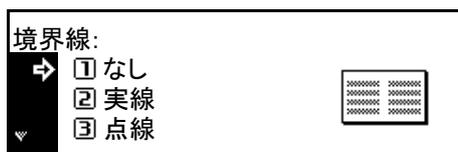
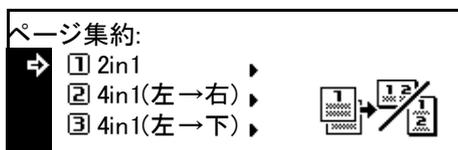
参考：原稿を原稿ガラスにセットするときは、ページ順にセットしてください。

境界線の線種

境界線の線種は次のとおりです。



集約コピーの操作手順は、次のとおりです。



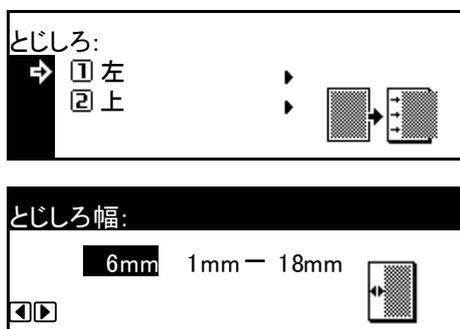
- 1 [コピー] キーを押してください。
- 2 原稿をセットしてください。
- 3 [集約] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、集約コピーモードを選択後、[エンター] キーを押してください。
- 5 [△] または [▽] を押して、境界線の種類を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 6 [スタート] キーを押してください。
原稿の読み取りが開始されます。
オプションの原稿送り装置に原稿をセットしたときは、自動的にコピーが開始されます。
原稿ガラスにセットしたときは、原稿の入れ替えを促すメッセージが表示されます。この場合は、次の手順に進んでください。
- 7 原稿を入れ替えて、[スタート] キーを押してください。
原稿の読み取りが行われます。
- 8 次の原稿がなければ、[エンター] キーを押してください。
コピーが開始されます。

とじしろ

とじしろは、コピーを綴じるためのとじしろ（余白）をつける機能です。原稿の画像の位置をずらしてコピーし、コピーの左右および上下にとじしろをつけます。とじしろ幅は1～18mm（1mm単位）の範囲で設定できます。

参考：とじしろ幅の初期値を変更することができます。詳細は6-10ページの**とじしろ幅初期値の設定**を参照してください。

とじしろをつけてコピーする操作手順は、次のとおりです。

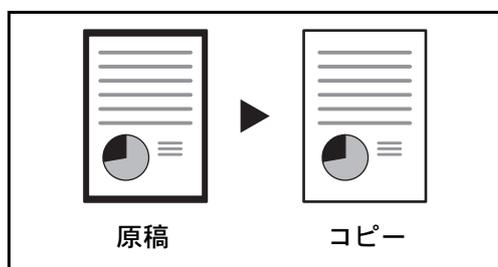


- 1 [コピー] キーを押してください。
- 2 原稿をセットしてください。
- 3 [とじしろ] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、「左」または「上」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 5 [<] または [>] を押して、とじしろ幅を設定後、[エンター] を押してください。
1mm～18mm（1mm単位）の範囲で設定できます。
- 6 [スタート] キーを押してください。
コピーが開始されます。

枠消し

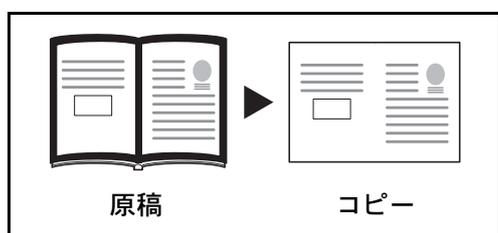
原稿のまわりにできる黒い枠を消去して、コピーすることができます。枠消しコピーには次の方法があります。

シート枠消し



シート原稿のまわりにできる黒い枠を消します。枠消し幅は1～18mm（1mm単位）の範囲で設定できます。

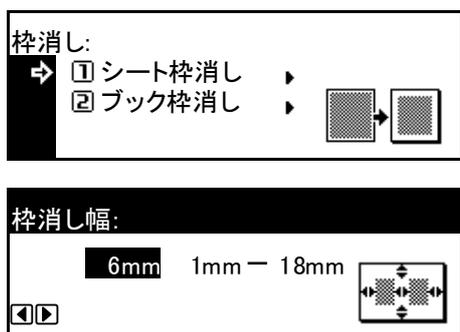
ブック枠消し



分厚い本などをコピーするときに見える、本のまわりや中央の黒い枠を消します。枠消し幅は1～18mm（1mm単位）の範囲で設定できます。

参考：枠消し幅の初期値を変更することができます。詳細は6-10ページの**枠消し幅初期値の設定**を参照してください。

枠消しコピーの操作手順は、次のとおりです。

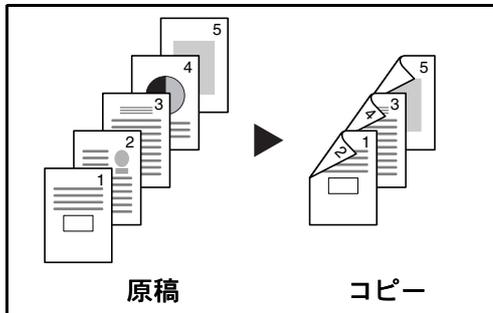


- 1 [コピー] キーを押してください。
- 2 原稿をセットしてください。
- 3 [枠消し] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、「シート枠消し」または「ブック枠消し」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 5 [<] または [>] を押して、枠消し幅を設定後、[エンター] を押してください。
- 6 [スタート] キーを押してください。
コピーが開始されます。

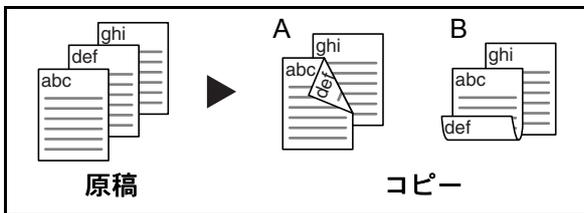
両面

用紙の両面にコピーできます。両面には次の方法があります。

片面 → 両面



片面原稿を両面コピーします。原稿が奇数枚のときは、最終ページのうら面が白紙になります。

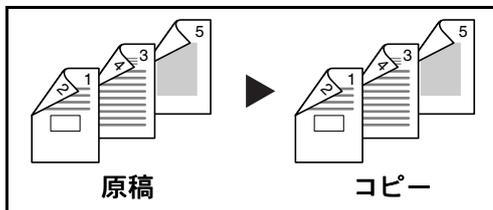


とじ方法は次の2とおりです。

A 仕上がり左/右とじ：うら面のコピーをおもて面と同じ方向でコピーします。

B 仕上がり上とじ：うら面のコピーをおもて面に対して180°回転させてコピーします。仕上がったコピーを上でとじると、各見開きのページが同じ方向になります。

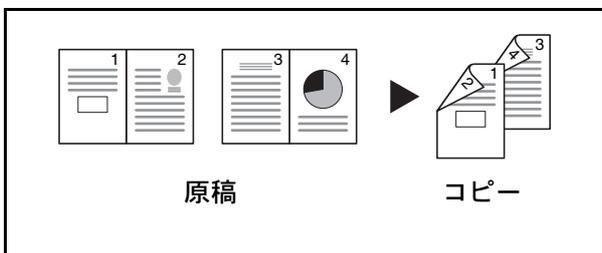
両面 → 両面



両面原稿を両面コピーします。

参考：両面 → 両面に使用できる用紙サイズは A3、B4、A4、B5、A5-R、Folio、11" × 17"、8 1/2" × 14"、8 1/2" × 11"、11" × 8 1/2"、5 1/2" × 8 1/2"、8 1/2" × 13"、8K、16KR、16K です。

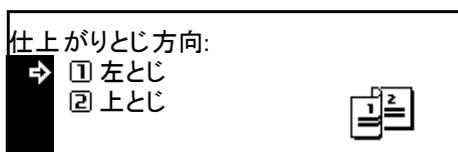
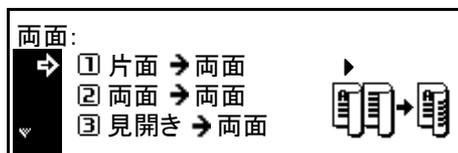
見開き → 両面



見開き2ページの原稿を用紙の両面にコピーします。

参考：見開き → 両面に使用できる原稿サイズは A3、B4、A4R、B5R、A5R、11" × 17"、8 1/2" × 11"、8K、用紙サイズは A4、B5、16K に限られます。用紙サイズを変更して、そのサイズに変倍することができます。

両面コピーの操作手順は、次のとおりです。



- 1 [コピー] キーを押してください。
- 2 原稿をセットしてください。
- 3 [両面] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、両面コピーのモードを選択後、[エンター] キーを押してください。

「片面→両面」を選択した場合は、次の手順に進んでください。

「両面→両面」、「見開き→両面」を選択した場合は、手順6に進んでください。

- 5 [△] または [▽] を押して、仕上がりとし方向を選択後、[エンター] キーを押してください。

- 6 [スタート] キーを押してください。

原稿の読み取りが開始されます。

オプションの原稿送り装置に原稿をセットしたときは、自動的にコピーが開始されます。

原稿ガラスにセットしたときは、原稿の入れ替えを促すメッセージが表示されます。この場合は、次の手順に進んでください。

- 7 原稿を入れ替えて [スタート] キーを押してください。

原稿の読み取りが行われます。

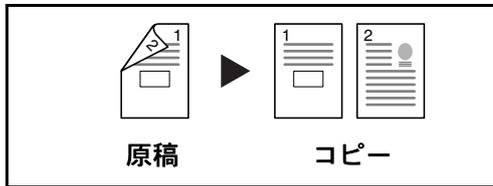
- 8 次の原稿がなければ、[エンター] キーを押してください。

コピーが開始されます。

分割

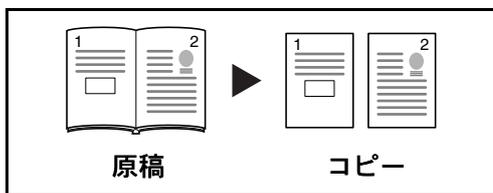
分割は、両面原稿や本などの見開き原稿を、1 ページずつ片面コピーします。分割には次の方法があります。

両面 → 片面



両面原稿を1 ページずつ片面コピーします。

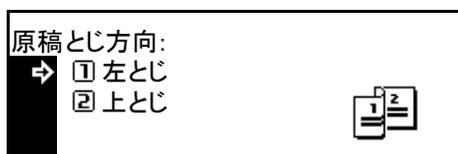
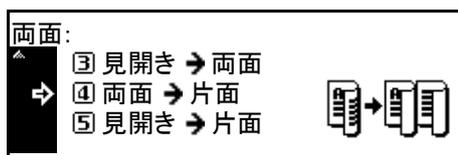
見開き → 片面



雑誌・本などの見開き2 ページの原稿を1 ページずつ片面コピーします。

参考：見開き → 片面に使用できる原稿サイズは A3、B4、A4R、B5R、A5R、11"×17"、8 1/2"×11"、8K、用紙サイズは A4、B5、16K に限られます。用紙サイズを変更して、そのサイズに変倍することができます。

分割コピーの操作手順は、次のとおりです。



- 1 [コピー] キーを押してください。
- 2 原稿をセットしてください。
- 3 [両面] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、分割コピーのモードを選択後、[エンター] キーを押してください。
「両面→片面」を選択した場合は、次の手順に進んでください。
「見開き→片面」を選択した場合は、手順7に進んでください。
- 5 [△] または [▽] を押して、原稿のとじ方向を選択後、[エンター] キーを押してください。

- 6 [スタート] キーを押してください。

原稿の読み取りが開始されます。

オプションの原稿送り装置に原稿をセットしたときは、自動的にコピーが開始されます。

原稿ガラスにセットしたときは、原稿の入れ替えを促すメッセージが表示されます。この場合は、次の手順に進んでください。

- 7** 原稿を入れ替えて、[スタート] キーを押してください。

原稿の読み取りが行われます。

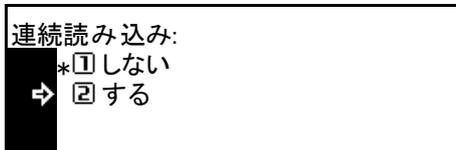
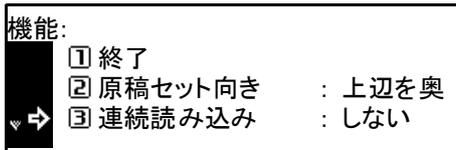
- 8** 次の原稿がなければ、[エンター] キーを押してください。

コピーが開始されます。

連続読み込み

連続読み込みコピーは原稿を複数回に分けて読み込みを行い、一括してコピーすることができる機能です。同一の種類原稿をひとつのステップとして読み込み、ステップを蓄積していくことで、大量の原稿を一括してコピーすることができます。

連続読み込みコピーの操作手順は、次のとおりです。



- 1 [コピー] キーを押してください。
- 2 原稿をセットしてください。
- 3 [機能] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、「連続読み込み」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 5 [△] または [▽] を押して、「する」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 6 [△] または [▽] を押して、「終了」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 7 [スタート] キーを押してください。
原稿の読み取りが開始されます。
- 8 原稿を入れ替えて、[スタート] キーを押してください。
次のステップの読み取りが開始されます。
- 9 次の原稿がなければ、[エンター] キーを押してください。
コピーが開始されます。

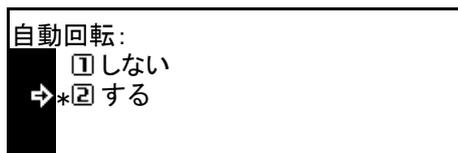
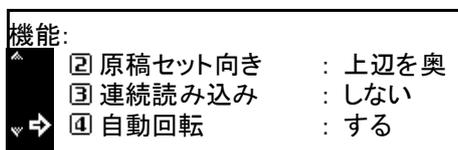
自動画像回転

セットした原稿と給紙用の用紙が同じサイズで向きが異なる場合、自動で画像を反時計回りに 90° 回転して、用紙にぴったりコピーできます。

参考：自動回転コピーで使用できる用紙サイズは A4/11" × 8 1/2" 以下です。A3、B4、Folio、11" × 17"、8 1/2" × 14"、8K は自動回転コピーできません。

初期設定で自動画像回転するか、しないかを変更できます。詳細は 6-9 ページの**自動回転コピー設定**を参照してください。

自動画像回転コピーの操作手順は、次のとおりです。



- 1 [コピー] キーを押してください。
- 2 原稿をセットしてください。
- 3 [機能] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、「自動回転」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 5 [△] または [▽] を押して、「する」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 6 [スタート] キーを押してください。
コピーが開始されます。

割り込みコピー

印刷中のジョブを一時中断させて、緊急のコピーを先に行うことができます。

割り込みコピーが終了すると、中断していた印刷が再開されます。

モード	説明
割り込みコピー	<p>コピーの途中で、別の原稿を異なった設定でコピーできます。割り込みコピー後は、中断されたコピーを元の設定で再開できます。</p> <p>出力中のジョブを中断して、別のコピーができます。割り込みコピー後は、元の出力が再開されます。</p>
優先出力	<p>出力中のジョブを中断して、印刷データやファクス受信データの優先出力ができます。優先出力終了後は、元の出力が再開されます。</p> <hr/> <p>参考：ファクス機能を使用するためには、オプションのファクスキットが必要です。</p>

コピー作業中の場合

- 1 [割り込み] キーを押してください。
「割り込みコピーできます」が表示されます。
- 2 コピー中の原稿をいったん保管しておいてください。
- 3 割り込みコピーする原稿をセットして、コピーを行ってください。
- 4 割り込みコピーが終了したら、[割り込み] キーを押してください。
元の設定に戻ります。
- 5 保管していた原稿に替え、[スタート] キーを押してください。
コピーが再開されます。

出力中の場合

- 1 出力中に [割り込み] キーを押すと、「割り込みモードを選んで下さい」が表示されます。

参考：本機に印刷データやファクス受信データがない場合は、「割り込みコピーできます」が表示されます。手順3に進んでください。

割り込みモードを選んで下さい

- ➔ ① 割り込みコピー
- ② プリンタ優先出力
- ③ ファクス優先出力

- 2 [△] または [▽] を押して、割り込みモードを選択後、[エンター] キーを押してください。

「割り込みコピー」を選択した場合は、「割り込みコピーできます」が表示されます。次の手順に進んでください。

「プリンタ優先出力」、「ファクス優先出力」を選択した場合は、出力が開始されます。手順4に進んでください。

参考：「プリンタ優先出力」は、本機に印刷データがある場合に表示されます。

「ファクス優先出力」は、本機にファクス受信データがある場合に表示されます。

- 3 割り込みコピーする原稿をセットして、コピーを行います。
- 4 割り込みコピーが終了したら、[割り込み] キーを押してください。

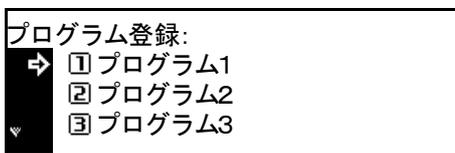
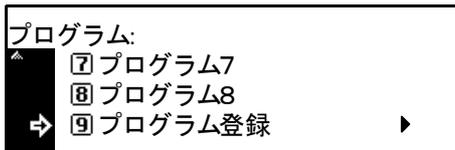
元の出力が再開されます。

プログラムコピー

操作パネルに表示しているモードおよび機能の組み合わせを8種類まで登録できます。

プログラムの登録

プログラムを登録する操作手順は、次のとおりです。



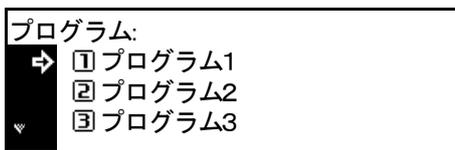
- 1 登録したいコピーモードを設定します。
- 2 [プログラム] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「プログラム登録」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、登録するプログラム番号 (1～8) を選択後、[エンター] キーを押してください。

プログラムが登録されます。

参考：プログラム番号はテンキーを使って選択することもできます。

プログラムの呼び出し

登録したプログラムを呼び出す操作手順は、次のとおりです。



- 1 [プログラム] キーを押してください。
- 2 [△] または [▽] を押して、呼び出すプログラム番号を選択後、[エンター] キーを押してください。

参考：プログラム番号はテンキーを使って選択することもできます。

- 3 原稿をセットし、[スタート] キーを押してください。

設定したプログラムでコピーされます。

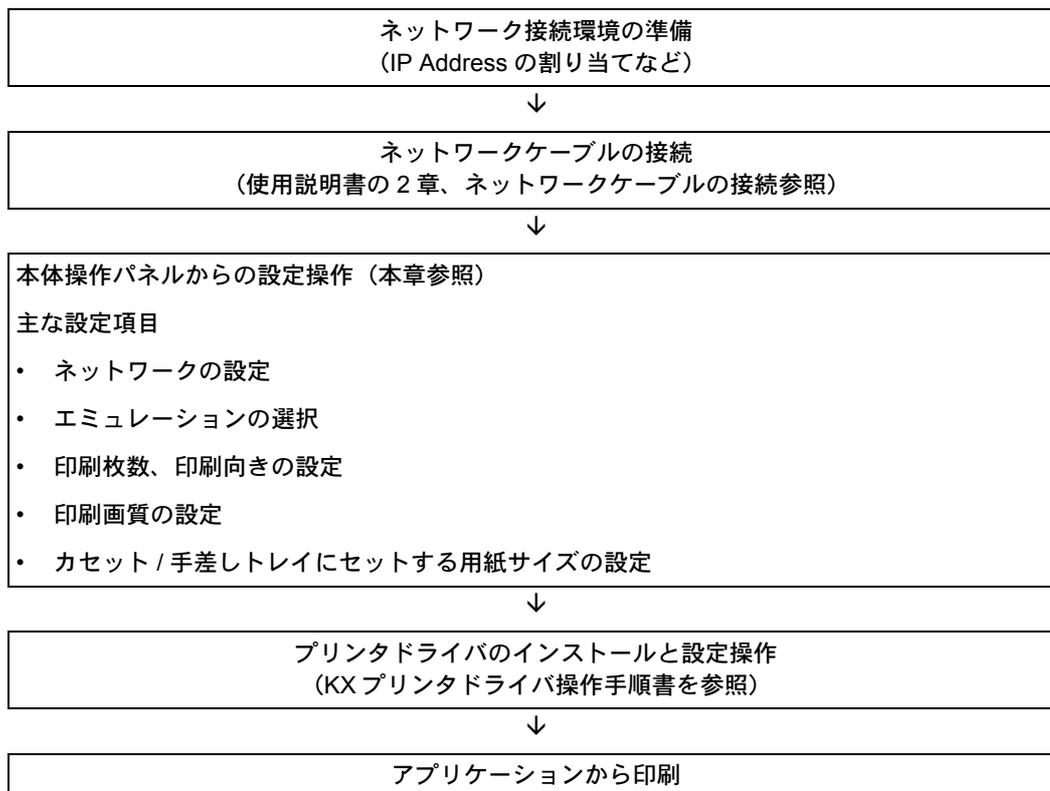
5 プリンタ設定

この章では、プリンタ機能を使用するために必要な設定を行います。ネットワークプリンタとして使用するために必要な設定操作は、操作パネルから行います。

- 本機をネットワークプリンタとして使用するには ...5-2
- ステータスページの印刷 ...5-3
- e-MPS 機能の設定 ...5-4
- インタフェースの設定 ...5-10
- エミュレーションの設定 ...5-15
- フォントの設定 ...5-18
- 印刷環境の設定 ...5-25
- 印刷品質の設定 ...5-29
- メモリカードの操作 ...5-32
- ハードディスクの操作 ...5-38
- RAM ディスクの設定 ...5-39
- 用紙の設定 ...5-41
- その他の設定 ...5-44

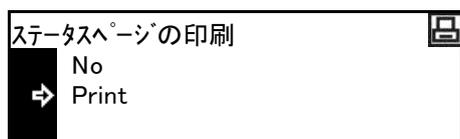
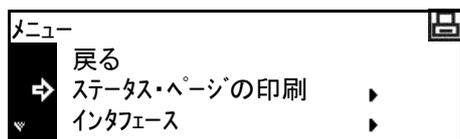
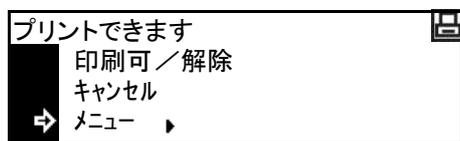
本機をネットワークプリンタとして使用するには

本機をネットワークプリンタとして使用するには、次の手順で設定を行います。



ステータスページの印刷

プリンタ初期設定やメモリ容量などを一覧で印刷します。



- 1 [プリンタ] キーを押してください。
- 2 [△] または [▽] を押して、「メニュー」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「ステータス・ページの印刷」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、「Print」を選択後、[エンター] キーを押してください。
ステータスページが印刷されます。

e-MPS 機能の設定

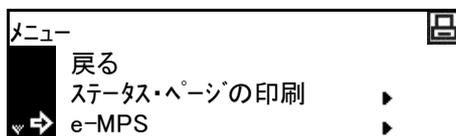
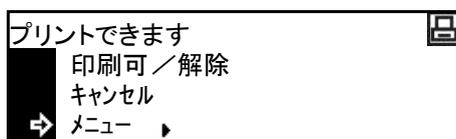
e-MPS 機能の設定では次の項目の設定ができます。

- クイックコピー / 試し刷り後、保留の印刷
- クイックコピー / 試し刷り後、保留の削除
- プライベートプリント / ジョブ保留の印刷
- プライベートプリント / ジョブ保留の削除
- バーチャルメールボックス蓄積データの印刷
- バーチャルメールボックスリストの印刷
- コードジョブリストの印刷
- e-MPS 詳細設定

参考：e-MPS 機能を使う場合は、オプションのハードディスクが必要です。e-MPS についての詳しい説明は、KX プリンタドライバ操作手順書を参照してください。

RAM ディスクの設定（5-39 ページ参照）を「On」にしたときも e-MPS 機能を使用できます。このとき使用できる e-MPS 機能は、試し刷り後、保留とプライベートプリントです。

「e-MPS」画面の表示方法



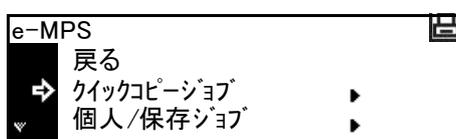
- 1 【プリンタ】キーを押してください。
- 2 【△】または【▽】を押して、「メニュー」を選択後、【エンター】キーを押してください。
- 3 【△】または【▽】を押して、「e-MPS」を選択してください。
以降の各設定項目を参照して設定を行ってください。

クイックコピー / 試し刷り後、保留の印刷

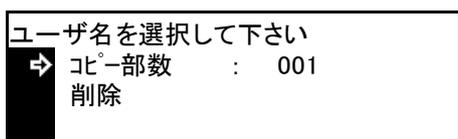
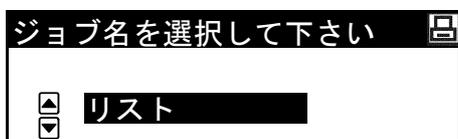
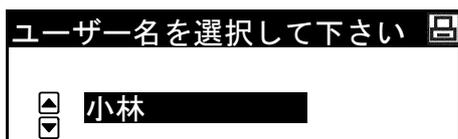
プリンタドライバでクイックコピーを設定して文書を印刷すると、同時にハードディスクに保存します。印刷が必要になったときに操作パネルから必要な枚数を再印刷することができます。

プリンタドライバで試し刷り後、保留を設定し、必要な部数を設定して印刷すると、1部だけを出力し、文書データをハードディスクに保存します。残りの部数を印刷するときは操作パネルから印刷します。その際、印刷枚数を変更することもできます。

プリンタドライバでの設定方法はKXプリンタドライバ操作手順書を参照してください。



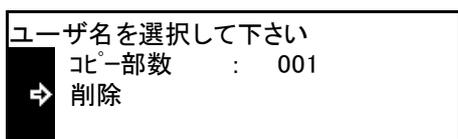
- 1 「e-MPS」画面を表示させてください。（5-4 ページの「e-MPS」画面の表示方法参照）
- 2 【△】または【▽】を押して、「クイックコピー・ジョブ」を選択後、【エンター】キーを押してください。



- 3 [△] または [▽] を押して、ユーザ名を選択後、[エンター] キーを押してください。
ここで表示されるユーザ名は、プリンタドライバで設定された名称です。
- 4 [△] または [▽] を押して、ジョブ名を選択後、[エンター] キーを押してください。
ここで表示されるジョブ名は、プリンタドライバで設定された名称です。
- 5 テンキーを使って、印刷部数を入力後、[エンター] キーを押してください。
印刷が開始されます。

クイックコピー / 試し刷り後、保留の削除

クイックコピー / 試し刷り後、保留で保存されているジョブは、本体の電源を切ると自動的に消去されますが、以下の手順で個別に消去できます。

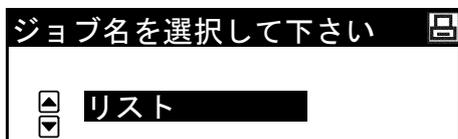
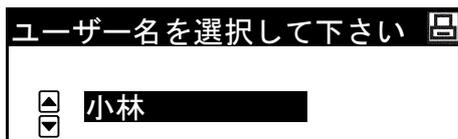
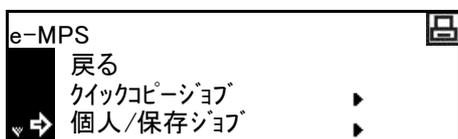


- 1 クイックコピー / 試し刷り後、保留の印刷の手順 1～4 を参照して、削除するジョブを選択してください。
- 2 [△] または [▽] を押して、「削除」を選択後、[エンター] キーを押してください。

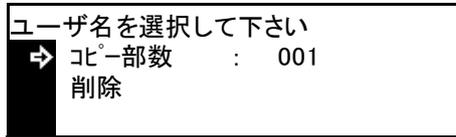
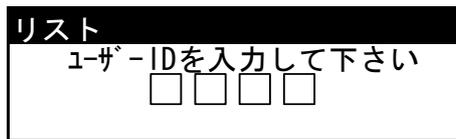
プライベートプリント / ジョブ保留の印刷

プライベートプリントは、印刷の際にプリンタドライバから設定したアクセスコードと同じ 4 桁の数字を、操作パネルから入力して印刷出力を可能にする機能です。データは印刷後に消去されます。

ジョブ保留モードは、アクセスコードがなくても、印刷出力後に印刷データをハードディスクに保存できます。それぞれのプリンタドライバでの設定方法は、KX プリンタドライバ操作手順書を参照してください。



- 1 「e-MPS」画面を表示させてください。(5-4 ページの「e-MPS」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「個人/保存ジョブ」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、ユーザ名を選択後、[エンター] キーを押してください。
ここで表示されるユーザ名は、プリンタドライバで設定された名称です。
- 4 [△] または [▽] を押して、ジョブ名を選択後、[エンター] キーを押してください。

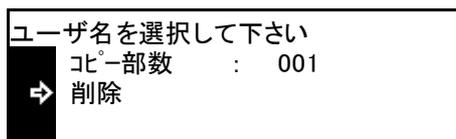


5 テンキーを使って、4桁のアクセスコードを入力後、[エンター] キーを押してください。

6 テンキーを使って、印刷部数を入力後、[エンター] キーを押してください。
印刷が開始されます。

プライベートプリント / ジョブ保留の削除

保存されているジョブは、以下の手順で個別に消去できます。また、プライベートプリントモードで保存されているジョブは、印刷後や電源を切ると自動的に消去されますが、ジョブ保留モードで保存したジョブは消去されません。

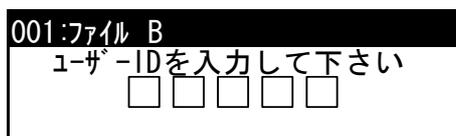
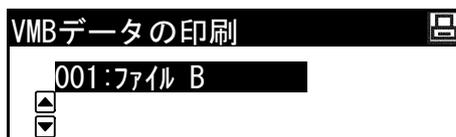
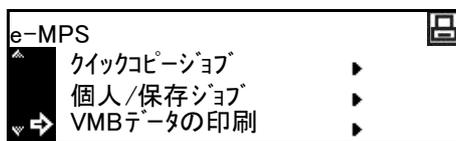


1 プライベートプリント / ジョブ保留の印刷の手順1～4を参照して、削除するジョブを選択してください。

2 [△] または [▽] を押して、「削除」を選択後、[エンター] キーを押してください。

バーチャルメールボックス蓄積データの印刷

バーチャルメールボックス機能は、ジョブを仮想のメールボックスに保存する機能です。プリンタドライバでバーチャルメールボックス機能を使用して文書を印刷すると、ジョブは保存され、操作パネルを使用して出力するまでは印刷されません。プリンタドライバでの設定方法は、KXプリンタドライバ操作手順書を参照してください。



1 「e-MPS」画面を表示させてください。(5-4 ページの「e-MPS」画面の表示方法参照)

2 [△] または [▽] を押して、「VMBデータの印刷」を選択後、[エンター] キーを押してください。

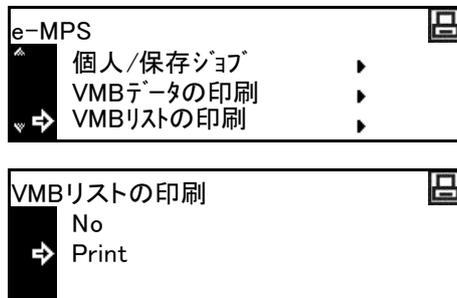
3 [△] または [▽] を押して、印刷するメールボックスを選択後、[エンター] キーを押してください。

4 テンキーを使って、5桁のアクセスコードを入力後、[エンター] キーを押してください。

印刷が開始されます。一度印刷されるとメールボックス内の文書データは消去されます。

バーチャルメールボックスリストの印刷

現在設定されているバーチャルメールボックスのトレイ番号（メールボックス番号）、蓄積データの有無、データサイズなどのリストを印刷します。



- 1 「e-MPS」画面を表示させてください。（5-4 ページの「e-MPS」画面の表示方法参照）
- 2 [△] または [▽] を押して、「VMB リストの印刷」を選択後、[エンター] キーを押してください。

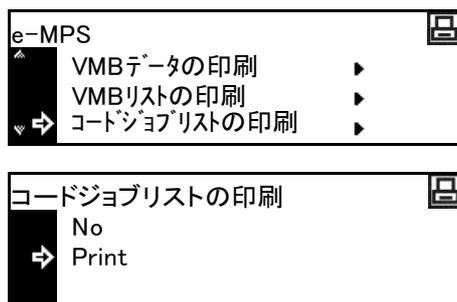
- 3 [△] または [▽] を押して、「Print」を選択後、[エンター] キーを押してください。

バーチャルメールボックスリストが印刷されます。

5

コードジョブリストの印刷

ハードディスクに保存されている（恒久）保存コードジョブを印刷することができます。



- 1 「e-MPS」画面を表示させてください。（5-4 ページの「e-MPS」画面の表示方法参照）
- 2 [△] または [▽] を押して、「コードジョブリストの印刷」を選択後、[エンター] キーを押してください。

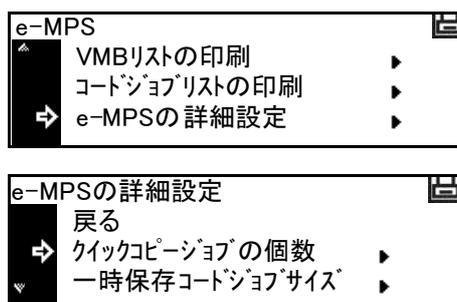
- 3 [△] または [▽] を押して、「Print」を選択後、[エンター] キーを押してください。

コードジョブリストが印刷されます。

e-MPS 詳細設定

ハードディスクに保存できる最大文書件数や、機能ごとに割り当てる容量を変更することができます。

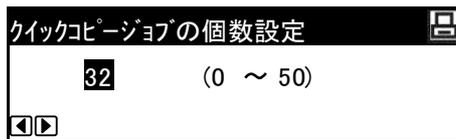
クイックコピーの最大登録可能数の設定



- 1 「e-MPS」画面を表示させてください。（5-4 ページの「e-MPS」画面の表示方法参照）

- 2 [△] または [▽] を押して、「e-MPS の詳細設定」を選択後、[エンター] キーを押してください。

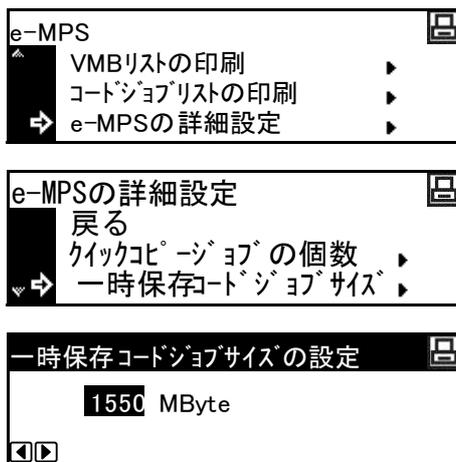
- 3 [△] または [▽] を押して、「クイックコピージョブの個数」を選択後、[エンター] キーを押してください。



- 4 [<] または [>] を押して、最大保存件数を入力後、[エンター] キーを押してください。
0 ~ 50 個の範囲で設定できます。

一時コードジョブの保存容量の設定

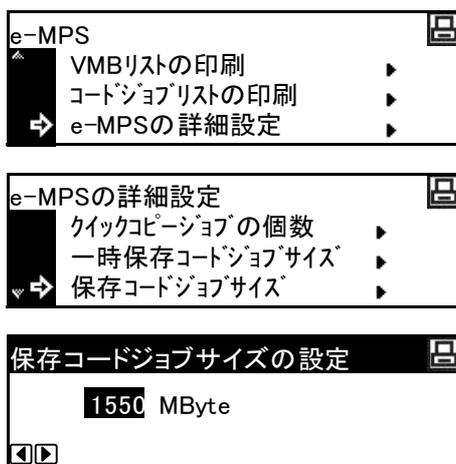
ハードディスクに保存する一時コードジョブの合計容量（上限）を設定します。ただし、実際に使用できる容量は、ハードディスクの空き容量までとなります。



- 1 「e-MPS」画面を表示させてください。(5-4 ページの「e-MPS」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「e-MPSの詳細設定」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「一時保存コードジョブサイズ」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [<] または [>] を押して、一時コードジョブの保存容量を入力後、[エンター] キーを押してください。
0 ~ 9999 MB の範囲で設定できます。

保存コードジョブの合計保存容量設定

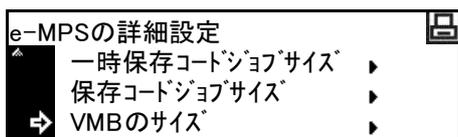
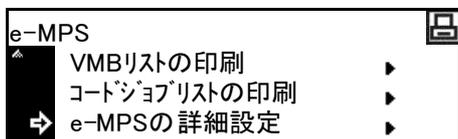
ハードディスクに保存する保存（恒久保存）コードジョブの合計容量（上限）を設定します。ただし、実際に使用できる容量は、ハードディスクの空き容量までとなります。



- 1 「e-MPS」画面を表示させてください。(5-4 ページの「e-MPS」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「e-MPSの詳細設定」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「保存コードジョブサイズ」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [<] または [>] を押して、保存コードジョブの合計保存容量を入力後、[エンター] キーを押してください。
0 ~ 9999 MB の範囲で設定できます。

バーチャルメールボックスの合計保存容量設定

ハードディスクに保存するバーチャルメールボックスの合計容量（上限）を設定します。ただし、実際に使用できる容量は、ハードディスクの空き容量までとなります。

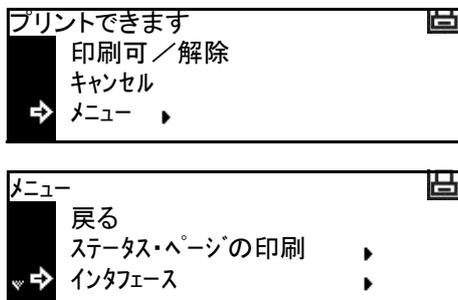


- 1 「e-MPS」画面を表示させてください。（5-4 ページの「e-MPS」画面の表示方法参照）
- 2 [△] または [▽] を押して、「e-MPSの詳細設定」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「VMBのサイズ」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [<] または [>] を押して、バーチャルメールボックス（VMB）の使用領域を入力後、[エンター] キーを押してください。
0 ～ 9999 MB の範囲で設定できます。

インタフェースの設定

本機は、USB インタフェースおよびネットワークインタフェースを標準装備しています。

「インタフェースの設定」画面の表示方法



- 1 [プリンタ] キーを押してください。
- 2 [△] または [▽] を押して、「メニュー」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「インタフェース」を選択後、[エンター] キーを押してください。「インタフェースの設定」画面が表示されます。以降の各設定項目を参照して設定を行ってください。

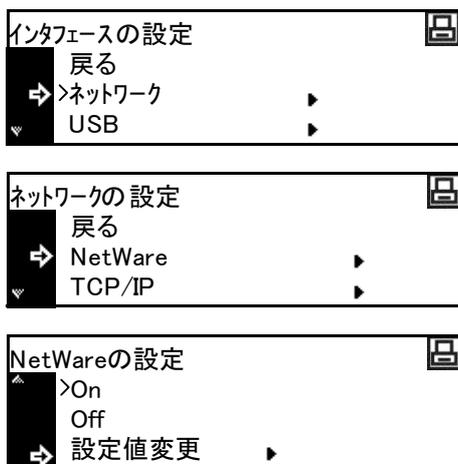
ネットワークの設定

ネットワーク印刷を行うためには、ネットワークの設定が必要です。ここでは、ネットワーク機能を使用するために必要な設定について説明します。

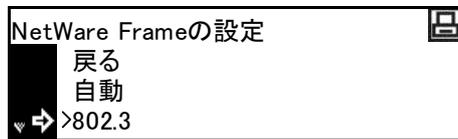
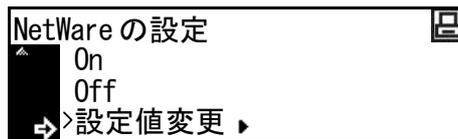
参考：IP アドレスを設定する前に、ネットワーク管理者に取得を依頼して、あらかじめ準備しておいてください。

NetWare Frame の設定

NetWare ネットワークに接続する場合に「On」にします。



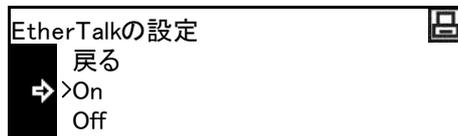
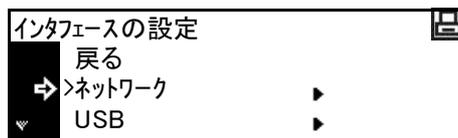
- 1 「インタフェースの設定」画面を表示させてください。(5-10 ページの「インタフェースの設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「ネットワーク」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「NetWare」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、「On」または「Off」を選択後、[エンター] キーを押してください。「On」を選択した場合は「設定値変更」が表示されます。



- 5 [△] または [▽] を押して、「設定値変更」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 6 [△] または [▽] を押して、フレームモードを選択後、[エンター] キーを押してください。
- 7 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

EtherTalk の設定

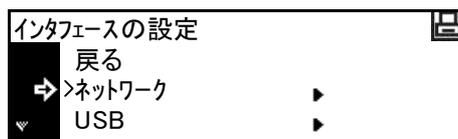
本機を Apple Macintosh に接続して使用する場合は、EtherTalk を「On」に設定します。



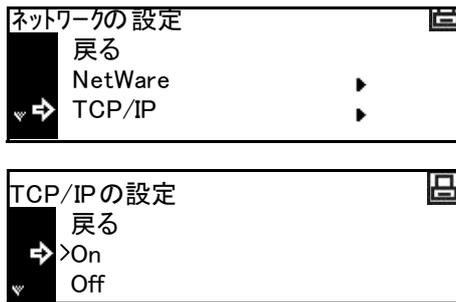
- 1 「インタフェースの設定」画面を表示させてください。(5-10 ページの「インタフェースの設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「ネットワーク」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「EtherTalk」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、「On」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 5 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

TCP/IP の設定

TCP/IP で Windows ネットワークなどに接続する場合、TCP/IP を「On」に設定します。



- 1 「インタフェースの設定」画面を表示させてください。(5-10 ページの「インタフェースの設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「設定値変更」を選択後、[エンター] キーを押してください。

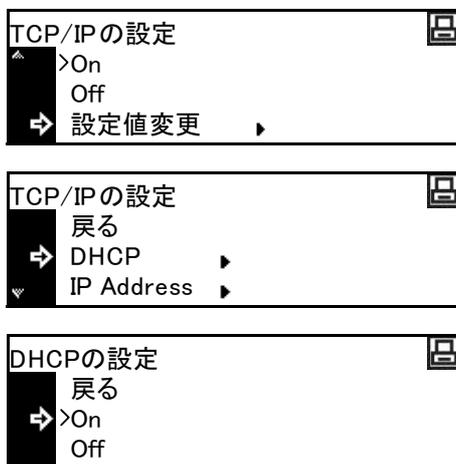


- 3 [△] または [▽] を押して、「TCP/IP」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、「On」を選択後、[エンター] キーを押してください。

DHCP の設定

本機は DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）に対応しています。

DHCP を使用する場合は DHCP を「On」に設定します。



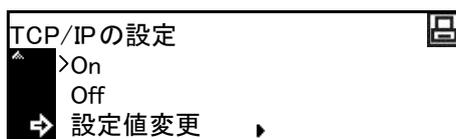
- 1 TCP/IP の設定の手順 1～3 を参照して「TCP/IP の設定」画面を表示させてください。
- 2 [△] または [▽] を押して、「設定値変更」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「DHCP」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、「On」を選択後、[エンター] キーを押してください。

IP アドレスの設定

本機の IP アドレスを設定します。

参考：設定する IP アドレスは、運用される環境によって異なります。あらかじめネットワーク管理者にご確認ください。

以下の手順で IP アドレスを手動で設定する場合は、DHCP の設定を「オフ」、TCP/IP の設定を「On」に設定してください。



- 1 TCP/IP の設定の手順 1～3 を参照して「TCP/IP の設定」画面を表示させてください。
- 2 [△] または [▽] を押して、「設定値変更」を選択後、[エンター] キーを押してください。

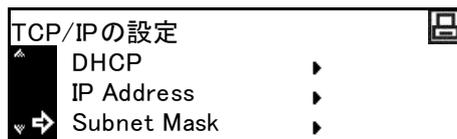


- 3 [△] または [▽] を押して、「IP Address」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 テンキーを使ってIP Addressを入力してください。反転表示されている最初の3桁のアドレスを入力してください。
- 5 [>] キーを押してください。反転表示されている次の3桁のアドレスを入力してください。
- 6 同様に残りのアドレスを入力後、[エンター] キーを押してください。

続けて、Subnet Mask を設定します。

Subnet Mask の設定

上記手順6の続きから Subnet Mask を設定します。

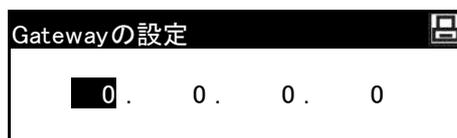


- 1 [△] または [▽] を押して、「Subnet Mask」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 2 IPアドレスの設定の手順4～6と同様に、アドレスを入力後、[エンター] キーを押してください。

続けて、Default Gateway を設定します。

Default Gateway の設定

上記手順2の続きから Default Gateway を設定します。



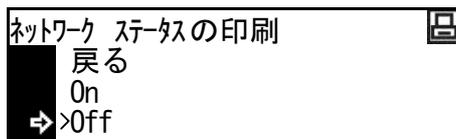
- 1 [△] または [▽] を押して、「Gateway」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 2 IPアドレスの設定の手順4～6と同様に、アドレスを入力後、[エンター] キーを押してください。

- 3 [リセット] キーを押してください。

プリンタ基本画面に戻ります。

ネットワークステータスページの印刷

ステータスページを印刷した際に、続けてネットワークステータスページも印刷することができます。



- 1 「インタフェースの設定」画面を表示させてください。(5-10 ページの「インタフェースの設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「ネットワーク」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「ネットワークステータスの印刷」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、「On」または「Off」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 5 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

エミュレーションの設定

参考：エミュレーションはインタフェースごとに設定できます。

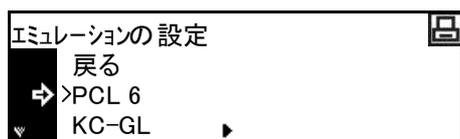
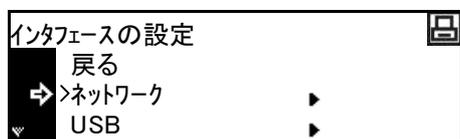
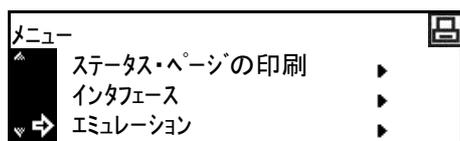
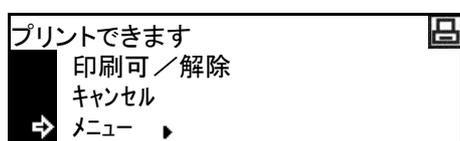
エミュレーションモードの選択

設定できるエミュレーション：PCL6、KC-GL、KPDL、KPDL（自動）、EPSON VP-1000、IBM5577、PCPR201/65A

「KC-GL」を設定すると、ペンの太さとページのサイズを設定できます。

「KPDL（自動）」を設定すると、印刷するデータに応じて KPDL と代替エミュレーションを自動的に切り替えます。

「KPDL」、「KPDL（自動）」を設定すると、印刷中にエラーが発生した際にその内容を印刷することができます。



- 1 [プリンタ] キーを押してください。
- 2 [△] または [▽] を押して、「メニュー」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「エミュレーション」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、設定するインタフェースを選択後、[エンター] キーを押してください。
- 5 [△] または [▽] を押して、設定するエミュレーションを選択後、[エンター] キーを押してください。

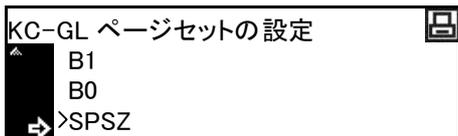
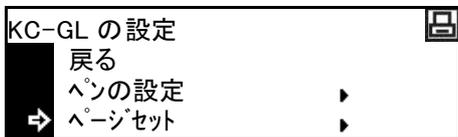
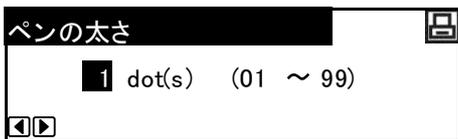
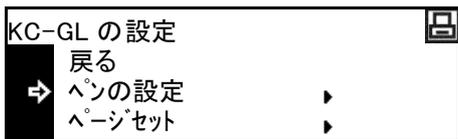
「KC-GL」を設定した場合は、KC-GL のペンの太さの設定の設定を行ってください。

「KPDL」または「KPDL（自動）」を設定した場合は、KPDL エラーの印刷設定を行ってください。

「KPDL（自動）」を設定した場合は、KPDL（自動）の代替エミュレーションの選択を行ってください。

KC-GL のペンの太さの設定

KC-GL エミュレーションを選択すると、8 種類のペンの太さとページのサイズを設定できます。エミュレーションモードの選択の手順 5 の続きから、以下の手順で設定してください。



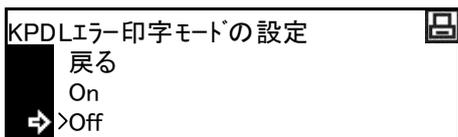
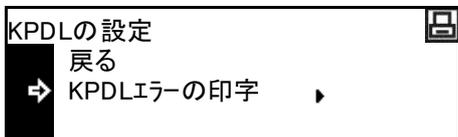
- 1 [△] または [▽] を押して、「**ペンの設定**」を選択後、[エンター] キーを押してください
- 2 [△] または [▽] を押して、設定するペンを選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [<] または [>] を押して、太さ (dot) を入力後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、「**戻る**」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 5 [△] または [▽] を押して、「**ページセット**」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 6 [△] または [▽] を押して、ページのサイズを選択後、[エンター] キーを押してください。

参考：「SPSZ」はプリスクライブ SPSZ コマンドで指定されたサイズです。プリスクライブコマンドの詳細はプリスクライブコマンドリファレンスマニュアルを参照してください。

- 7 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

KPDL エラーの印刷設定

KPDL エミュレーションモードで印刷中にエラーが発生した際、その内容を印刷することができます。エミュレーションモードの選択の手順5の続きから、以下の手順で設定してください。

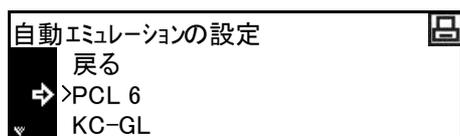
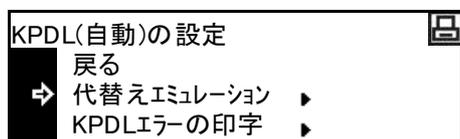


- 1 [△] または [▽] を押して、「**KPDL エラー印字モードの設定**」を選択後、[エンター] キーを押してください
- 2 [△] または [▽] を押して、「**On**」または「**Off**」を選択後、[エンター] キーを押してください。
「On」を設定すると、エラー発生時にその内容を印刷します。
- 3 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

KPDL（自動）の代替エミュレーションの選択

KPDL（自動）エミュレーションを選択すると、印刷するデータに応じてKPDLと代替エミュレーションを自動的に切り替えます。エミュレーションモードの選択の手順5の続きから、以下の手順で設定してください。

設定できるエミュレーション：PCL6、KC-GL、EPSON VP-1000、IBM5577、PCPR201/65A



- 1 [△] または [▽] を押して、「代替えエミュレーション」を選択後、[エンター] キーを押してください
- 2 [△] または [▽] を押して、設定するエミュレーションを選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

5

フォントの設定

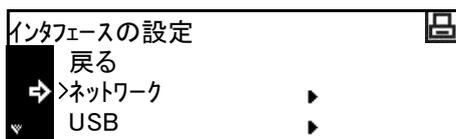
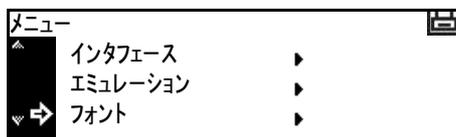
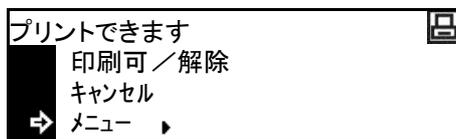
現在選択されているインタフェースの初期フォント（ANK フォント・漢字フォント）を選択することができます。内蔵フォント以外にもオプションのメモリカードにあるフォントなどを選択することもできます。

フォントの設定では次の項目の設定ができます。

- ANK フォントの設定
- ANK フォントのサイズ設定
- Courier/Letter Gothic フォントの文字ピッチの設定
- Courier/Letter Gothic フォントの設定
- 漢字フォントの設定
- 漢字フォントのサイズ設定
- 漢字フォントの文字ピッチの設定
- コードセットの選択
- フォントリストの印刷

参考：フォントはインタフェースごとに設定できます。

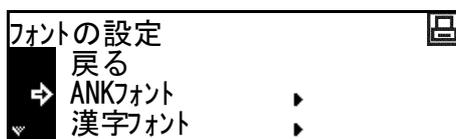
「フォントの設定」画面の表示方法



- 1 [プリンタ] キーを押してください。
- 2 [△] または [▽] を押して、「メニュー」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「フォント」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、設定するインタフェースを選択後、[エンター] キーを押してください。

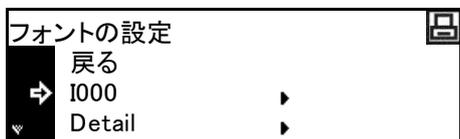
「フォントの設定」画面が表示されます。以降の各設定項目を参照して設定を行ってください。

ANK フォントの設定



- 1 「フォントの設定」画面を表示させてください。(5-18 ページの「フォントの設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「ANK フォント」を選択後、[エンター] キーを押してください。

参考：内蔵フォント以外のオプションフォントが本機にある場合は、「標準フォント」または「オプションフォント」を選択する画面が表示されます。[△] または [▽] を押して、設定するフォントを選択してください。



3 [△] または [▽] を押して、フォントの ID を選択後、[エンター] キーを押してください。

フォント番号が表示されます。

フォント番号の前に表示されるアルファベットは、フォントの種類によって次のように表示されます。

表示 説明

I	内蔵欧文フォント
S	欧文ダウンロードフォント
M	メモ리카ード内の欧文フォント
H	RAM ディスクまたはオプションのハードディスク内の欧文フォント



4 [<] または [>] を押して、フォント番号を入力後、[エンター] キーを押してください。

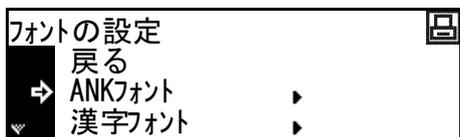
内蔵フォントの番号は 5-23 ページのフォントリストの印刷を参照してください。

5 [リセット] キーを押してください。

プリンタ基本画面に戻ります。

ANK フォントのサイズ設定

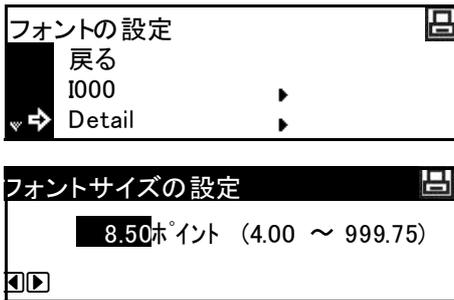
初期フォントに設定した ANK フォントのサイズを設定します。初期フォントを Courier フォントまたは Letter Gothic フォントに設定している場合は、このメニューは表示されずに文字ピッチの設定が表示されません。



1 「フォントの設定」画面を表示させてください。
(5-18 ページの「フォントの設定」画面の表示方法参照)

2 [△] または [▽] を押して、「ANK フォント」を選択後、[エンター] キーを押してください。

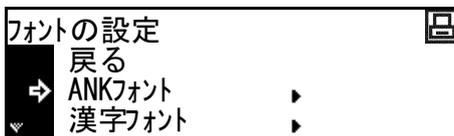
参考：内蔵フォント以外のオプションフォントが本機にある場合は、「標準フォント」または「オプションフォント」を選択する画面が表示されます。[△] または [▽] を押して、設定するフォントを選択してください。



- 3 [△] または [▽] を押して、「Detail」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [<] または [>] を押して、文字のサイズを入力後、[エンター] キーを押してください。
4 ~ 999.75 ポイントの範囲で設定できます。
- 5 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

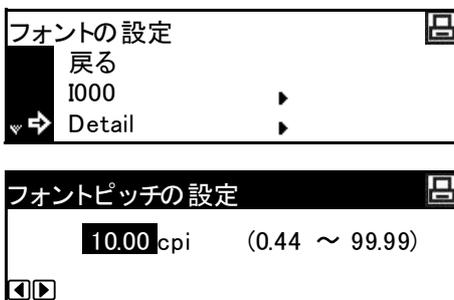
Courier/Letter Gothic フォントの文字ピッチの設定

Courier または Letter Gothic フォントの文字ピッチの設定ができます。



- 1 「フォントの設定」画面を表示させてください。
(参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「ANK フォント」を選択後、[エンター] キーを押してください。

参考：内蔵フォント以外のオプションフォントが本機にある場合は、「標準フォント」または「オプションフォント」を選択する画面が表示されます。[△] または [▽] を押して、設定するフォントを選択してください。

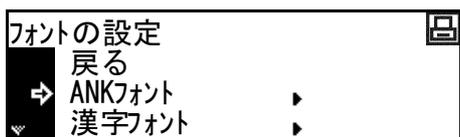


- 3 [△] または [▽] を押して、「Detail」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [<] または [>] を押して、文字のピッチを入力後、[エンター] キーを押してください。
0.44 ~ 99.99 cpi の範囲で設定できます。
- 5 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

Courier/Letter Gothic フォントの設定

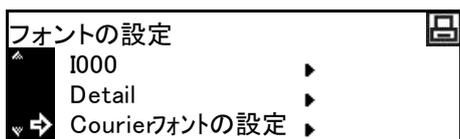
Courier/Letter Gothic フォントの太さを、2種類から選択できます。ここでは、Courier フォントの太さを変える例を説明します。

- 1 「フォントの設定」画面を表示させてください。
(5-18 ページの「フォントの設定」画面の表示方法参照)

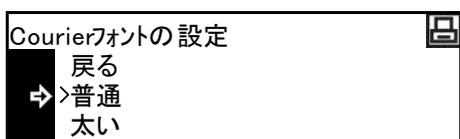


- 2 [△] または [▽] を押して、「ANK フォント」を選択後、[エンター] キーを押してください。

参考：内蔵フォント以外のオプションフォントが本機にある場合は、「標準フォント」または「オプションフォント」を選択する画面が表示されます。[△] または [▽] を押して、設定するフォントを選択してください。



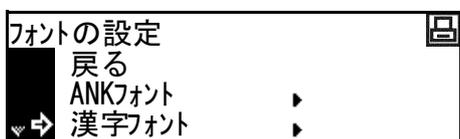
- 3 [△] または [▽] を押して、「Courier フォントの設定」を選択後、[エンター] キーを押してください。



- 4 [△] または [▽] を押して、「普通」または「太い」を選択後、[エンター] キーを押してください。

- 5 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

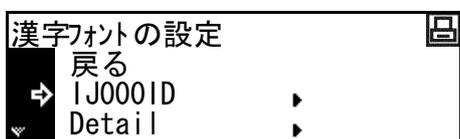
漢字フォントの設定



- 1 「フォントの設定」画面を表示させてください。
(5-18 ページの「フォントの設定」画面の表示方法参照)

- 2 [△] または [▽] を押して、「漢字フォント」を選択後、[エンター] キーを押してください。

参考：内蔵フォント以外のオプションフォントが本機にある場合は、「標準フォント」または「オプションフォント」を選択する画面が表示されます。[△] または [▽] を押して、設定するフォントを選択してください。



- 3 [△] または [▽] を押して、フォントの ID を選択後、[エンター] キーを押してください。

フォント番号が表示されます。

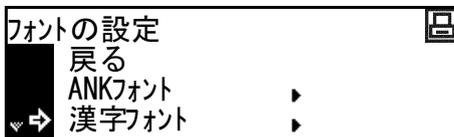
フォント番号の前に表示されるアルファベットは、フォントの種類によって次のように表示されます。

表示	説明
I	内蔵欧文フォント
S	欧文ダウンロードフォント
M	メモ리카ード内の欧文フォント
H	RAM ディスクまたはオプションのハードディスク内の欧文フォント

- 4 [<] または [>] を押して、フォント番号を入力後、[エンター] キーを押してください。
内蔵フォントの番号は 5-23 ページのフォントリストの印刷を参照してください。
- 5 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

漢字フォントのサイズ設定

初期フォントに設定した漢字フォントのサイズを設定します。初期フォントを等幅フォントに設定している場合は、このメニューは表示されずに文字ピッチの設定が表示されます。

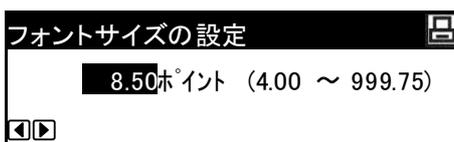


- 1 「フォントの設定」画面を表示させてください。
(5-18 ページの「フォントの設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「漢字フォント」を選択後、[エンター] キーを押してください。

参考：内蔵フォント以外のオプションフォントが本機にある場合は、「標準フォント」または「オプションフォント」を選択する画面が表示されます。[△] または [▽] を押して、設定するフォントを選択してください。



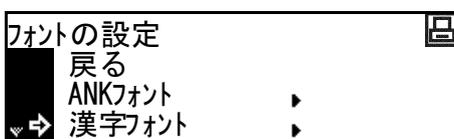
- 3 [△] または [▽] を押して、「Detail」を選択後、[エンター] キーを押してください。



- 4 [<] または [>] を押して、文字のサイズを入力後、[エンター] キーを押してください。
4 ~ 999.75 ポイントの範囲で設定できます。
- 5 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

漢字フォントの文字ピッチの設定

初期フォントに設定した等幅の漢字フォントの文字ピッチを設定します。



- 1 「フォントの設定」画面を表示させてください。
(5-18 ページの「フォントの設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「漢字フォント」を選択後、[エンター] キーを押してください。

参考：内蔵フォント以外のオプションフォントが本機にある場合は、「標準フォント」または「オプションフォント」を選択する画面が表示されます。[△] または [▽] を押して、設定するフォントを選択してください。

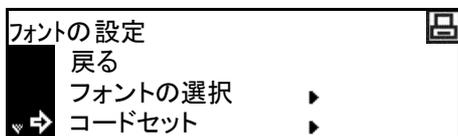


- 3 [△] または [▽] を押して、「Detail」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [<] または [>] を押して、文字のピッチを入力を入力後、[エンター] キーを押してください。
0.44 ~ 99.99 cpi の範囲で設定できます。
- 5 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

5

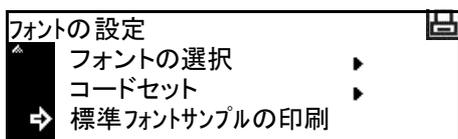
コードセットの選択

エミュレーションが PCL 6 の場合、コードセットを選択できます。



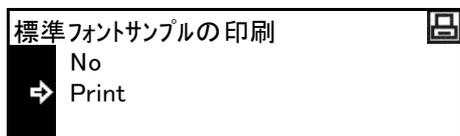
- 1 「フォントの設定」画面を表示させてください。
(5-18 ページの「フォントの設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「コードセット」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、設定するコードセットを選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

フォントリストの印刷



- 1 「フォントの設定」画面を表示させてください。
(5-18 ページの「フォントの設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「標準フォントサンプルの印刷」を選択後、[エンター] キーを押してください。

参考：内蔵フォント以外のオプションフォントが本機にある場合は、「オプションフォントサンプルの印刷」も選択できます。



- 3 [△] または [▽] を押して、「Print」を選択後、
[エンター] キーを押してください。
- 4 [エンター] キーを押してください。
フォントリストの印刷が開始されます。

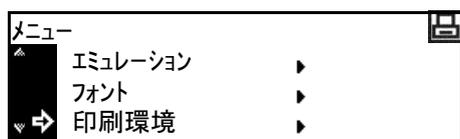
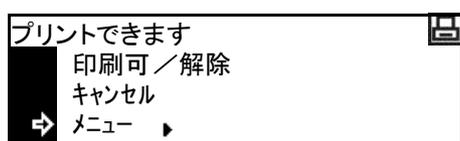
印刷環境の設定

印刷環境では次の項目の設定ができます。

- コピー枚数の設定
- 縮小印刷の設定
- 印刷の向きの設定
- ページ保護モードの設定
- LF（改行）動作の設定
- CR（復帰）動作の設定
- ワイド A4 の設定

参考：印刷環境はインタフェースごとに設定できます。

「印刷環境の設定」画面の表示方法

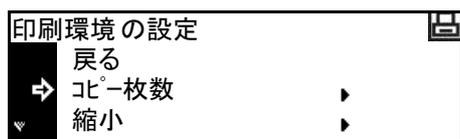


- 1 [プリンタ] キーを押してください。
- 2 [△] または [▽] を押して、「メニュー」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「印刷環境」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、設定するインタフェースを選択後、[エンター] キーを押してください。

「印刷環境の設定」画面が表示されます。以降の各設定項目を参照して設定を行ってください。

コピー枚数の設定

現在選択しているインタフェースから印刷する枚数を設定できます。1～999枚まで設定できます。

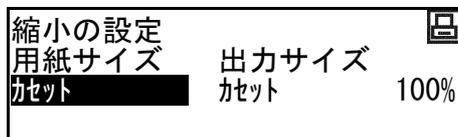
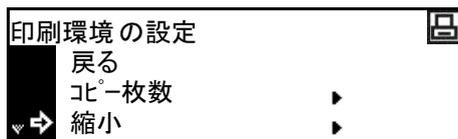


- 1 「印刷環境の設定」画面を表示させてください。(5-25 ページの「印刷環境の設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「コピー枚数」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [<] または [>] を押して、コピー枚数を入力後、[エンター] キーを押してください。
1～999枚の範囲で設定できます。

- 4 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

縮小印刷の設定

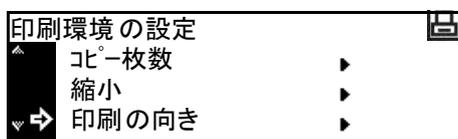
用紙サイズ（原稿サイズ）と出力サイズを指定すると、固定倍率で縮小して、指定した出力サイズの用紙に印刷します。



- 1 「印刷環境の設定」画面を表示させてください。
(5-25 ページの「印刷環境の設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「縮小」を選択後、
[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、用紙サイズを選択
後、[>] を押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、出力サイズを選択
後、[エンター] キーを押してください。
縮小倍率を自動設定し、表示します。
1 ~ 999 枚の範囲で設定できます。
- 5 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

印刷の向きの設定

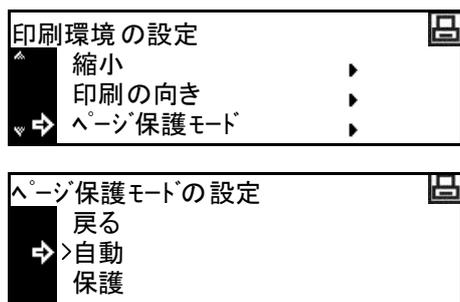
印刷方向をポートレート（タテ）またはランドスケープ（ヨコ）のどちらか選択できます。



- 1 「印刷環境の設定」画面を表示させてください。
(5-25 ページの「印刷環境の設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「印刷の向き」を選
択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「縦」または「横」
を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

ページ保護モードの設定

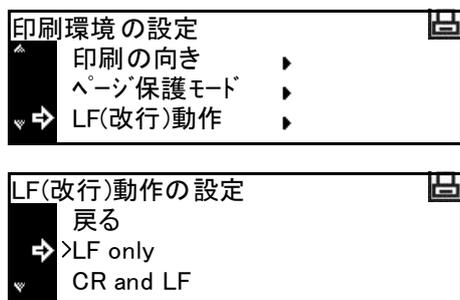
プリンタのメモリを効率よく保持するため、初期設定では「自動」に設定されています。通常このメニューは表示されません。プリンタのメモリ不足に起因してプリントオーバーランエラーが発生すると、「ページ保護モード」が強制的に「保護」になります。プリントオーバーランエラーが発生した後は、この設定を必ず「自動」に戻しておいてください。



- 1 「印刷環境の設定」画面を表示させてください。
(5-25 ページの「印刷環境の設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「ページ保護モード」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「自動」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

LF（改行）動作の設定

改行コード（文字コード 0AH）を受信したときの動作を設定します。



- 1 「印刷環境の設定」画面を表示させてください。
(5-25 ページの「印刷環境の設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「LF（改行）動作」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「LF only」、「CR and LF」または「Ignore LF」を選択後、[エンター] キーを押してください。
「LF only」：改行を行います。
「CR and LF」：改行および復帰を行います。
「Ignore LF」：改行を行いません。
- 4 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

CR（復帰）動作の設定

復帰コード（文字コード 0DH）を受信したときの動作を設定します。

- 1 「印刷環境の設定」画面を表示させてください。
(5-25 ページの「印刷環境の設定」画面の表示方法参照)



2 [△] または [▽] を押して、「CR (復帰) 動作」を選択後、[エンター] キーを押してください。

3 [△] または [▽] を押して、「CR only」、「CR and LF」または「Ignore CR」を選択後、[エンター] キーを押してください。

「CR only」：復帰を行います。

「CR and LF」：復帰および改行を行います。

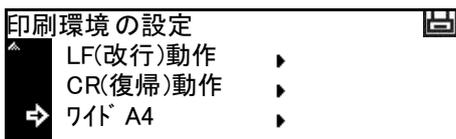
「Ignore CR」：復帰を行いません。

4 [リセット] キーを押してください。

プリンタ基本画面に戻ります。

ワイド A4 の設定

A4 サイズの印刷領域を拡大します。



1 「印刷環境の設定」画面を表示させてください。
(5-25 ページの「印刷環境の設定」画面の表示方法参照)

2 [△] または [▽] を押して、「ワイド A4」を選択後、[エンター] キーを押してください。

3 [△] または [▽] を押して、「On」または「Off」を選択後、[エンター] キーを押してください。

4 [リセット] キーを押してください。

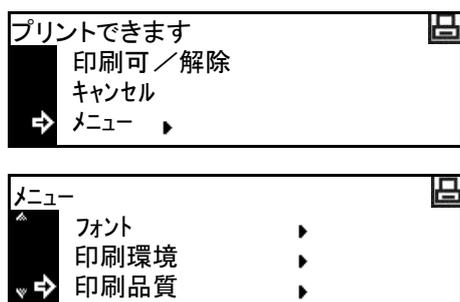
プリンタ基本画面に戻ります。

印刷品質の設定

印刷品質の設定では次の項目が設定できます。

- KIR モードの設定
- エコプリントの設定
- 解像度の設定
- 印刷濃度の設定

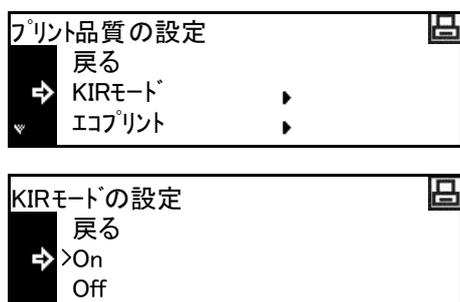
「プリント品質の設定」画面の表示方法



- 1 [プリンタ] キーを押してください。
- 2 [△] または [▽] を押して、「メニュー」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「印刷品質」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [エンター] キーを押してください。
「プリント品質の設定」画面が表示されます。以降の各設定項目を参照して設定を行ってください。

KIR モードの設定

スムージング処理により 2400 dpi 相当 × 600 dpi の印刷品質を実現します。



- 1 「プリント品質の設定」画面を表示させてください。(5-29 ページの「プリント品質の設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「KIRモード」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「On」または「Off」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

エコプリントの設定

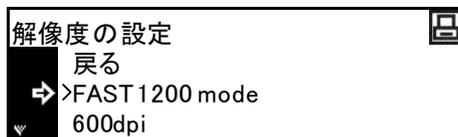
トナーを節約して印刷できます。高品質な印刷を必要としない試し印刷のときなどに設定してください。



- 1 「プリント品質の設定」画面を表示させてください。(5-29 ページの「プリント品質の設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「エコプリントモード」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「On」または「Off」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

解像度の設定

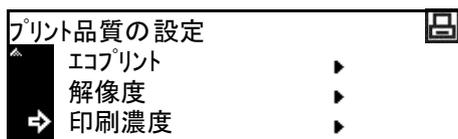
本機は 300 dpi、600 dpi、FAST1200 mode の 3 種類の解像度を設定できます。



- 1 「プリント品質の設定」画面を表示させてください。(5-29 ページの「プリント品質の設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「解像度」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「FAST1200 mode」、「600 dpi」または「300 dpi」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

印刷濃度の設定

印刷濃度は 1 (薄い) ~ 5 (濃い) までの 5 段階の調整ができます。



- 1 「プリント品質の設定」画面を表示させてください。(5-29 ページの「プリント品質の設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「印刷濃度」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [<] または [>] を押して、印刷濃度を設定後、[エンター] キーを押してください。

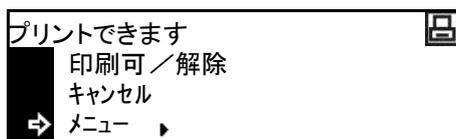
- 4 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

メモ리카ードの操作

本機はオプションのメモ리카ードを使用して、以下の操作が可能です。

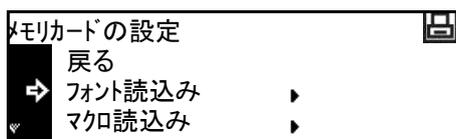
- フォントの読み込み
- マクロデータの読み込み
- データの読み込み
- プログラムの読み込み
- データの書き込み
- データの削除
- フォントデータの削除
- プログラムデータの削除
- マクロデータの削除
- 言語の削除
- メモ리카ードのフォーマット
- パーティションリストの印刷

「メモ리카ードの設定」画面の表示方法



- 1 [プリンタ] キーを押してください。
- 2 [△] または [▽] を押して、「メニュー」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「メモ리카ード」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [エンター] キーを押してください。
「メモ리카ードの設定」画面が表示されます。以降の各設定項目を参照して設定を行ってください。

フォントの読み込み

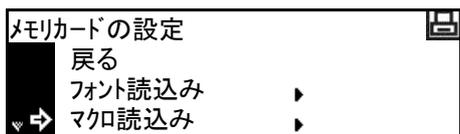


- 1 「メモ리카ードの設定」画面を表示させてください。(5-32 ページの「メモ리카ードの設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「フォント読み込み」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「エンター」を選択後、[エンター] キーを押してください。

メモ리카ードからフォントが読み込まれます。

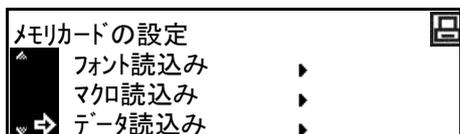
- 4 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

マクロデータの読み込み



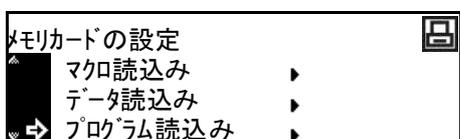
- 1 「メモリカードの設定」画面を表示させてください。(5-32 ページの「メモリカードの設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「マクロ読み込み」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「エンター」を選択後、[エンター] キーを押してください。
メモ리카ードからマクロデータが読み込まれます。
- 4 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

データの読み込み



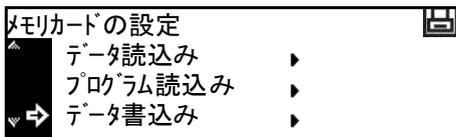
- 1 「メモリカードの設定」画面を表示させてください。(5-32 ページの「メモリカードの設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「データ読み込み」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、読み込むデータを選択後、[エンター] キーを押してください。
メモ리카ードからデータが読み込まれます。
- 4 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

プログラムの読み込み



- 1 「メモリカードの設定」画面を表示させてください。(5-32 ページの「メモリカードの設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「プログラム読み込み」を選択後、[エンター] キーを押してください。

データの書き込み



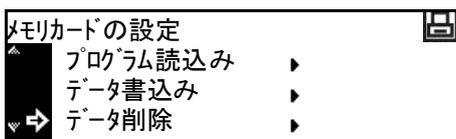
- 3 [△] または [▽] を押して、読み込むプログラムを選択後、[エンター] キーを押してください。
メモリカードからプログラムが読み込まれます。
- 4 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

- 1 「メモリカードの設定」画面を表示させてください。(5-32 ページの「メモリカードの設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「データ書き込み」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「エンター」を選択後、[エンター] キーを押してください。
「印刷可 / 解除」と「キャンセル」が表示されます。

参考：このときに、「キャンセル」を選択して [エンター] キーを押すと、データの書き込みは行われません。

- 4 この状態で、コンピュータから本機にデータを送ります。
データを受信するとメッセージ表示のメッセージが「データ処理中です」に変わり、受信が終了すると「ページが残っています」に変わります。
- 5 [△] または [▽] を押して、「印刷可 / 解除」を選択後、[エンター] キーを押してください。
メモリカードにデータが書き込まれます。

データの削除



- 1 「メモリカードの設定」画面を表示させてください。(5-32 ページの「メモリカードの設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「データ削除」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、削除するデータを選択後、[エンター] キーを押してください。

メモ리카ードからデータが削除されます。

- 4 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

フォントデータの削除



- 1 「メモ리카ードの設定」画面を表示させてください。(5-32 ページの「メモ리카ードの設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「フォント削除」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、削除するフォントを選択後、[エンター] キーを押してください。
メモ리카ードからフォントが削除されます。
- 4 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

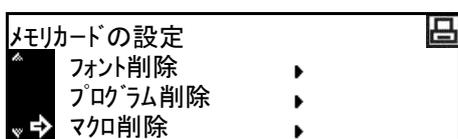
5

プログラムデータの削除



- 1 「メモ리카ードの設定」画面を表示させてください。(5-32 ページの「メモ리카ードの設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「プログラム削除」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、削除するプログラムを選択後、[エンター] キーを押してください。
メモ리카ードからプログラムが削除されます。
- 4 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

マクロデータの削除



- 1 「メモ리카ードの設定」画面を表示させてください。(5-32 ページの「メモ리카ードの設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「マクロ削除」を選択後、[エンター] キーを押してください。

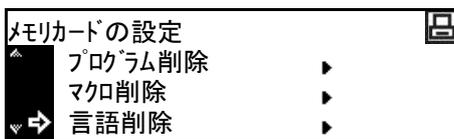
- 3 [△] または [▽] を押して、削除するマクロデータを選択後、[エンター] キーを押してください。

メモ리카ードからマクロデータが削除されます。

- 4 [リセット] キーを押してください。

プリンタ基本画面に戻ります。

言語の削除



- 1 「メモ리카ードの設定」画面を表示させてください。(5-32 ページの「メモ리카ードの設定」画面の表示方法参照)

- 2 [△] または [▽] を押して、「言語削除」を選択後、[エンター] キーを押してください。

- 3 [△] または [▽] を押して、削除する言語データを選択後、[エンター] キーを押してください。

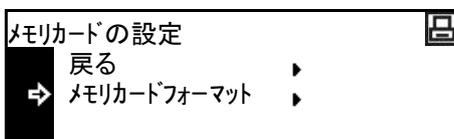
メモ리카ードから言語データが削除されます。

- 4 [リセット] キーを押してください。

プリンタ基本画面に戻ります。

メモ리카ードのフォーマット

参考：メモ리카ードのフォーマットをする場合は必ず本機で行ってください。他の機器でフォーマットされたメモ리카ードは使用できません。



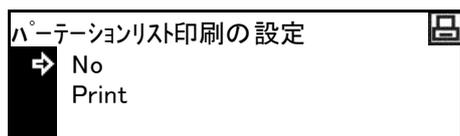
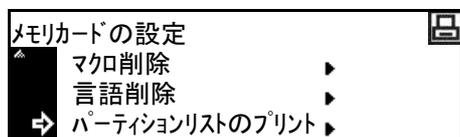
- 1 「メモ리카ードの設定」画面を表示させてください。(5-32 ページの「メモ리카ードの設定」画面の表示方法参照)

- 2 [△] または [▽] を押して、「メモ리카ードフォーマット」を選択後、[エンター] キーを押してください。

- 3 [△] または [▽] を押して、「エンター」を選択後、[エンター] キーを押してください。

メモ리카ードのフォーマットを開始します。フォーマットが終了すると、フォーマットインフォメーションが出力されます。

パーティションリストの印刷

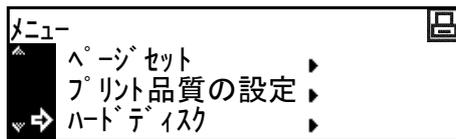
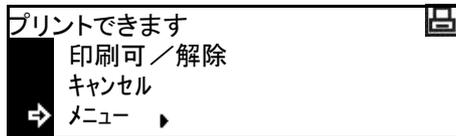


- 1 「メモ리카ードの設定」画面を表示させてください。(5-32 ページの「メモ리카ードの設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「パーティションリストの印刷」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「Print」を選択後、[エンター] キーを押してください。
パーティションリストが印刷されます。

ハードディスクの操作

本機はオプションのハードディスクを使用して、以下の操作が可能です。

- データの読み込み
- プログラムの読み込み
- データの書き込み
- データの削除
- フォントデータの削除
- プログラムデータの削除
- マクロデータの削除
- 言語の削除
- ハードディスクのフォーマット
- パーティションリストの印刷



- 1 [プリンタ] キーを押してください。
- 2 [△] または [▽] を押して、「メニュー」を選択後、[エンター] キーを押してください。

- 3 [△] または [▽] を押して、「ハードディスク」を選択後、[エンター] キーを押してください。
各項目の操作手順はメモ리카ードの操作手順と同様です。5-32 ページのメモ리카ードの操作を参照してください。

RAM ディスクの設定

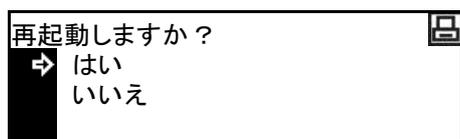
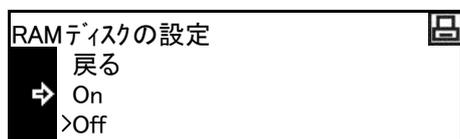
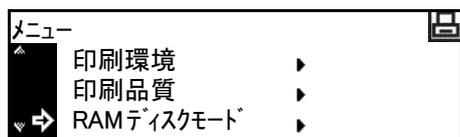
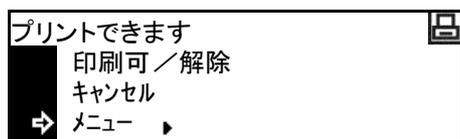
RAM ディスク機能

本機は RAM ディスク機能を搭載しています。RAM ディスクとはメモリの一部を利用したバーチャルディスク装置で、プリンタの総メモリの中から、任意のメモリサイズを RAM ディスクとして設定することによって、電子ソート（印刷に要する全体時間の短縮）、データの保存や読み出しが行えます。また、e-MPS 機能（5-4 ページ参照）が使用できます。

重要：RAM ディスクに書き込まれたデータは、本機をリセットしたりメインスイッチを OFF (○) にした場合には消去されますのでご注意ください。

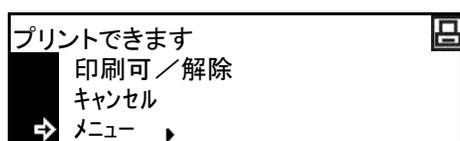
RAM ディスクは、ユーザ使用可能メモリの中から設定されます。したがって RAM ディスクの設定値によっては、印刷速度が落ちたり、メモリ不足が発生したりする場合がありますのでご注意ください。

RAM ディスク機能は、初期設定では無効になっています。RAM ディスク機能を使用する場合は、以降の設定を行ってください。

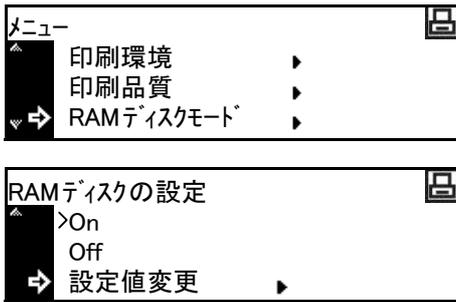


- 1 [プリンタ] キーを押してください。
- 2 [△] または [▽] を押して、「メニュー」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「RAM ディスクモード」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、「On」を選択後、[エンター] キーを押してください。
「設定値変更」が表示されます。
- 5 [リセット] キーを押してください。
- 6 [△] または [▽] を押して、「はい」を選択後、[エンター] キーを押してください。
再起動を行います。

RAM ディスクの操作



- 1 [プリンタ] キーを押してください。
- 2 [△] または [▽] を押して、「メニュー」を選択後、[エンター] キーを押してください。

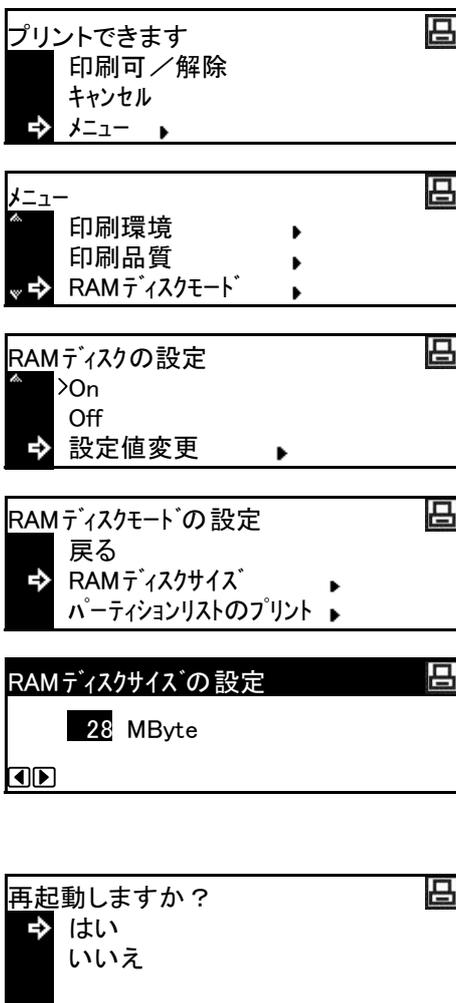


3 [△] または [▽] を押して、「RAM ディスクモード」を選択後、[エンター] キーを押してください。

4 [△] または [▽] を押して、「設定値変更」を選択後、[エンター] キーを押してください。

各項目の操作手順はメモ리카ードの操作手順と同様です。5-32 ページのメモ리카ードの操作を参照してください。

RAM ディスクサイズの設定



1 [プリンタ] キーを押してください。

2 [△] または [▽] を押して、「メニュー」を選択後、[エンター] キーを押してください。

3 [△] または [▽] を押して、「RAM ディスクモード」を選択後、[エンター] キーを押してください。

4 [△] または [▽] を押して、「設定値変更」を選択後、[エンター] キーを押してください。

5 [△] または [▽] を押して、「RAM ディスクサイズ」を選択後、[エンター] キーを押してください。

6 [<] または [>] を押して、RAM ディスクサイズを入力後、[エンター] キーを押してください。
 1 ~ 999 MByte の範囲で設定できます。

7 [リセット] キーを押してください。

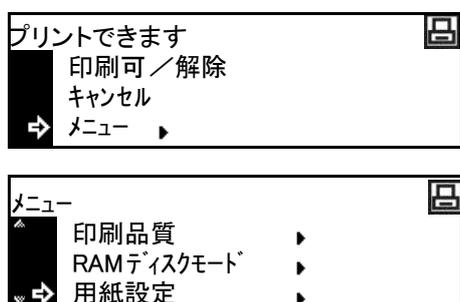
8 [△] または [▽] を押して、「はい」を選択後、[エンター] キーを押してください。
 再起動を行います。

用紙の設定

用紙の設定では次の項目が設定できます。

- 手差しモードの設定
- 給紙元の設定
- 両面印刷モードの設定
- 排紙先の設定
- A4/Letter 共通使用の設定

「用紙の設定」画面の表示方法

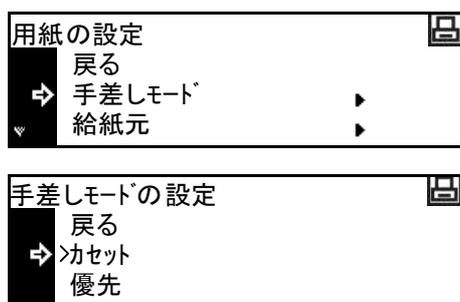


- 1 [プリンタ] キーを押してください。
- 2 [△] または [▽] を押して、「メニュー」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「用紙設定」を選択後、[エンター] キーを押してください。

「用紙の設定」画面が表示されます。以降の各設定項目を参照して設定を行ってください。

手差しモードの設定

「優先」を選択した場合、手差しトレイに用紙がセットされているときは、手差しトレイから給紙します。

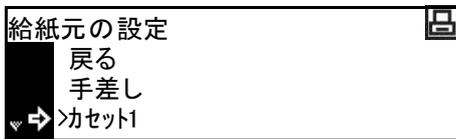
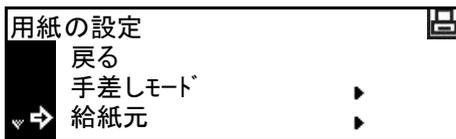


- 1 「用紙の設定」画面を表示させてください。(5-41 ページの「用紙の設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「手差しモード」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「カセット」または「優先」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

給紙元の設定

最初に選択されている給紙元を設定します。

- 1 「用紙の設定」画面を表示させてください。(5-41 ページの「用紙の設定」画面の表示方法参照)

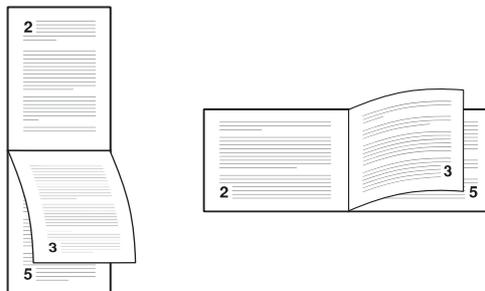


- 2 [△] または [▽] を押して、「給紙元」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して給紙元を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

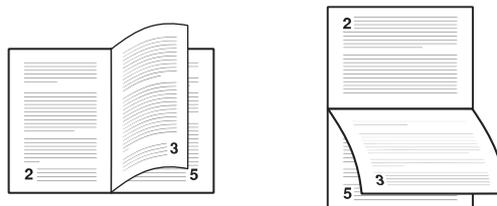
両面印刷モードの設定

両面印刷時の、仕上がりのとじ方向を設定します。

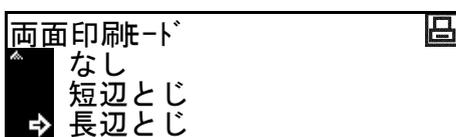
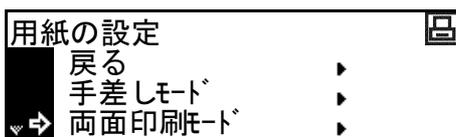
設定	とじ方向
短辺とじ	縁の短い側をとじます。



長辺とじ	縁の長い側をとじます。
------	-------------



参考：オプションの両面ユニットを装着している場合に表示されます。



- 1 「用紙の設定」画面を表示させてください。(5-41 ページの「用紙の設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「両面印刷モード」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「長辺とじ」または「短辺とじ」を選択後、[エンター] キーを押してください。

- 4 「リセット」キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

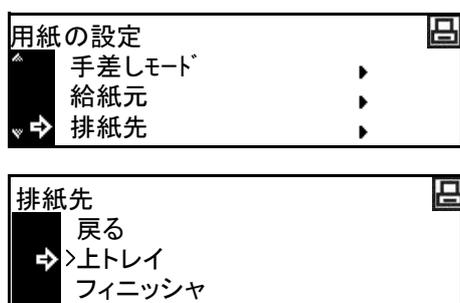
排紙先の設定

用紙の排紙先を設定します。

設定	排出先
上トレイ	本体の排紙トレイ
フィニッシャ	オプションのフィニッシャ
ジョブセパレータ	オプションのジョブセパレータ

参考：この設定は、オプションのフィニッシャまたはジョブセパレータを装着しているときに表示されません。

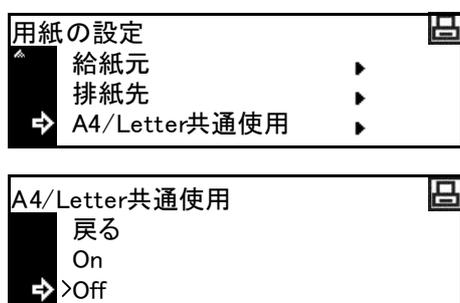
5



- 1 「用紙の設定」画面を表示させてください。(5-41 ページの「用紙の設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「排紙先」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して排紙先を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 「リセット」キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

A4/Letter 共通使用の設定

A4 と 8 1/2" × 11" (Letter) を共通使用可能なサイズとして設定することができます。



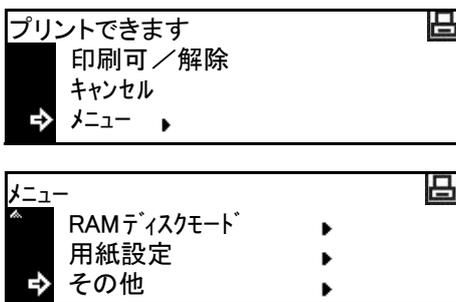
- 1 「用紙の設定」画面を表示させてください。(5-41 ページの「用紙の設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「A4/Letter 共通使用」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して「On」または「Off」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 「リセット」キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

その他の設定

その他の設定では、次の設定ができます。

- 改ページ待ち時間の設定
- 受信データダンプ設定
- プリンタ機能のリセット
- リソース保護モードの設定
- 自動継続印刷の設定
- 両面印刷時のエラー検知設定
- ステープル時のエラー検知設定
- 印刷範囲の補正
- サービスステータスページの印刷

「その他の設定」画面の表示方法

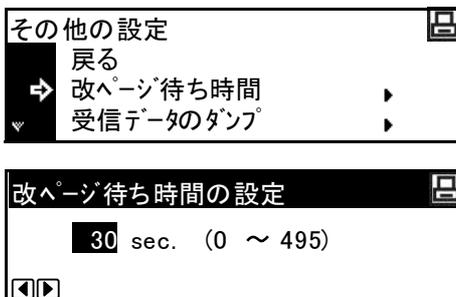


- 1 [プリンタ] キーを押してください。
- 2 [△] または [▽] を押して、「メニュー」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「その他」を選択後、[エンター] キーを押してください。

「その他の設定」画面が表示されます。以降の各設定項目を参照して設定を行ってください。

改ページ待ち時間の設定

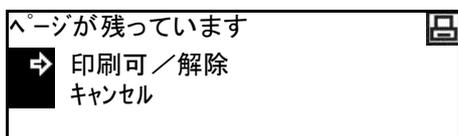
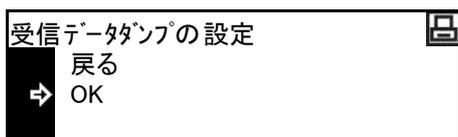
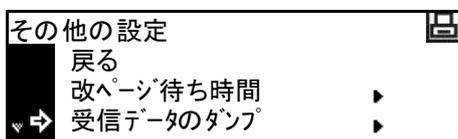
本機はコンピュータから最後のデータを受け取ったあと、コンピュータからデータを終了したことを示す情報がないと、最後のページを印刷せずに一定時間待機します。あらかじめ設定された待ち時間が経過すると、自動的に改ページを行います。0 に設定すると、手動で「印刷可 / 解除」を選択するまで改ページを行いません。



- 1 「その他の設定」画面を表示させてください。
(5-44 ページの「その他の設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「改ページ待ち時間」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [<] または [>] を押して時間を設定後、[エンター] キーを押してください。
0 ~ 495 秒 (5 秒単位) の範囲で設定できます。
- 4 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

受信データダンプ設定

プログラムやファイルのデバックのために、本機が受け取ったデータを16進コード化して印刷します。

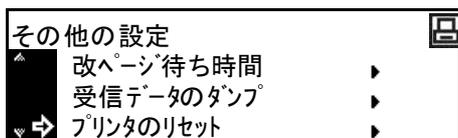


- 1 「その他の設定」画面を表示させてください。
(5-44 ページの「その他の設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「受信データのダンプ」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「エンター」を選択後、[エンター] キーを押してください。
「ページが残っています」が表示されます。
- 4 この状態で、本機へデータを送信します。
ダンプページが印刷されます。
- 5 [△] または [▽] を押して、「印刷可/解除」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 6 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

5

プリンタ機能のリセット

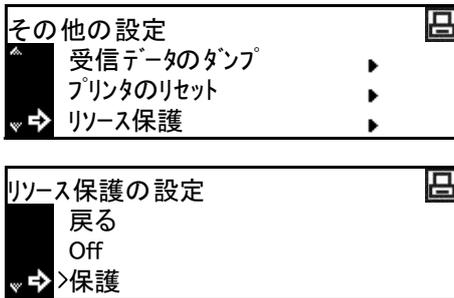
プリンタの一時的な設定（たとえば印刷方向やフォントなど）をリセットし、初期設定に戻します。



- 1 「その他の設定」画面を表示させてください。
(5-44 ページの「その他の設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「プリンタのリセット」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して「エンター」を選択後、[エンター] キーを押してください。
プリンタ機能がリセットされます。

リソース保護モードの設定

ダウンロードされているフォントやマクロなどのリソースデータを保護し、エミュレーションを切り替えても PCL リソースをメモリします。「保護」では、一時リソースは保護されませんが、「自動」では一時リソースも保護されます。



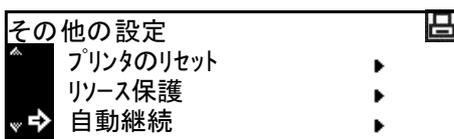
- 1 「その他の設定」画面を表示させてください。
(5-44 ページの「その他の設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「リソース保護」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して「Off」、「保護」または「自動」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

自動継続印刷の設定

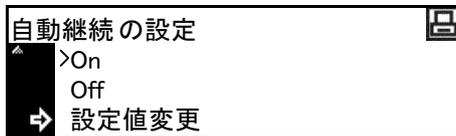
以下のエラーメッセージが表示された場合、復帰時間後にエラーを解除し印刷を継続することができます。
(自動継続)

- メモリオーバーフロー 解除を押して下さい
- プリントオーバーラン 解除を押して下さい
- KPDLE エラー / 解除を押して下さい
- ファイルエラー / 解除を押して下さい
- ハードディスクエラー 解除を押して下さい
- RAM ディスクエラー 解除を押して下さい
- メモリカードエラー 解除を押して下さい
- 部門指定が違います 解除を押して下さい
- 印刷制限を超えました 解除を押して下さい
- アカウントエラー 解除を押して下さい
- 両面印刷できません 解除を押して下さい
- ステープルの針をセットし 解除を押して下さい
- e-MPS を保存できません 解除を押して下さい

また、自動継続するまでの時間を設定することができます。



- 1 「その他の設定」画面を表示させてください。
(5-44 ページの「その他の設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「自動継続」を選択後、[エンター] キーを押してください。

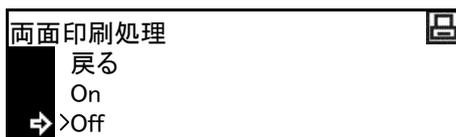
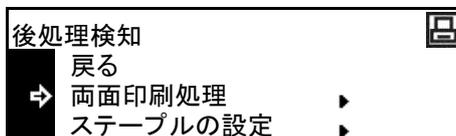
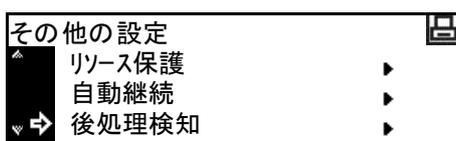


- 3 [△] または [▽] を押して、「On」または「Off」を選択後、[エンター] キーを押してください。
「On」を選択した場合は、「設定値変更」が表示されます。
- 4 自動継続するまでの時間を設定する場合は、[△] または [▽] を押して、「設定値変更」を選択後、[エンター] キーを押してください。
「自動継続時間の設定」画面が表示されます。
- 5 [<] または [>] を押して、時間を入力後、[エンター] キーを押してください。
0 ~ 495 秒 (5 秒単位) の範囲で設定できます。
- 6 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

両面印刷時のエラー検知設定

この設定は、オプションの両面ユニットを装着している場合に可能です。両面印刷を行う際、両面印刷できないラベルなどの用紙種類を指定した場合に、「両面印刷できません 解除を押して下さい」のメッセージを表示するか、しないかを選択できます。

設定	処理
On	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「印刷可 / 解除」を選択すると、片面印刷を行います。 ・ 「キャンセル」を選択すると、印刷そのものをキャンセルします。
Off	片面印刷を行います。

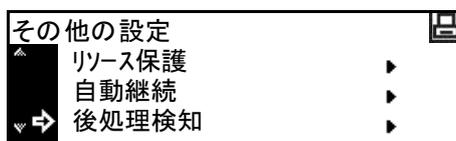


- 1 「その他の設定」画面を表示させてください。
(5-44 ページの「その他の設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「後処理検知」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「両面印刷処理」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、「On」または「Off」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 5 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

ステープル時のエラー検知設定

この設定は、オプションのフィニッシャを装着している場合に可能です。ステープルを行う際、ステープルの針がなくなった場合に、「ステープルの針をセットし 解除を押して下さい」のメッセージを表示するか、しないかを選択できます。

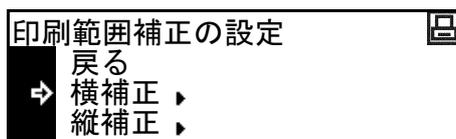
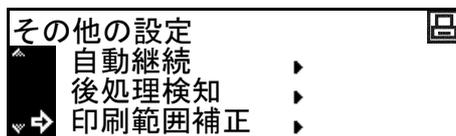
設定	処理
On	<ul style="list-style-type: none"> 「印刷可 / 解除」を選択すると、ステープルしないで印刷を行います。 「キャンセル」を選択すると、印刷そのものをキャンセルします。
Off	ステープルしないで印刷を行います。



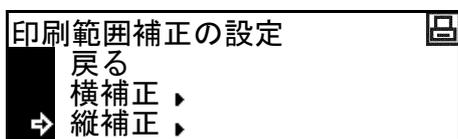
- 1 「その他の設定」画面を表示させてください。
(5-44 ページの「その他の設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「後処理検知」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「ステープルの設定」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、「On」または「Off」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 5 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

印刷範囲の補正

印刷位置を縦横方向 -76.0 mm ~ +76.0 mm の範囲でずらして印刷することができます。パンチ穴をあけるためにマージンを作る場合にも利用できます。



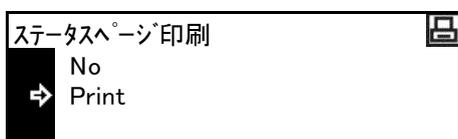
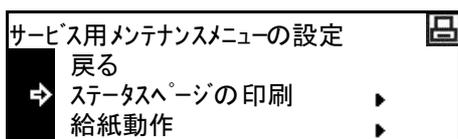
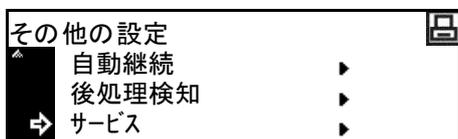
- 1 「その他の設定」画面を表示させてください。
(5-44 ページの「その他の設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「印刷範囲補正」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「横補正」を選択後、[エンター] キーを押してください。



- 4 [<] または [>] を押して、横方向の補正値を設定後、[エンター] キーを押してください。
-76 ~ +76 mm (0.1 mm 単位) の範囲で設定できます。
- 5 [△] または [▽] を押して、「縦補正」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 6 [<] または [>] を押して、縦方向の補正値を設定後、[エンター] キーを押してください。
-76 ~ +76 mm (0.1 mm 単位) の範囲で設定できます。
- 7 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

サービスステータスページの印刷

サービスステータスページは、通常のステータスページよりも詳細なプリンタ設定情報が印刷されます。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用しますが、必要に応じて以下の手順で印刷することができます。



- 1 「その他の設定」画面を表示させてください。
(5-44 ページの「その他の設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「サービス」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「ステータスページの印刷」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、「Print」を選択後、[エンター] キーを押してください。
サービスステータスページが印刷されます。
- 5 [リセット] キーを押してください。
プリンタ基本画面に戻ります。

6 初期設定（システムメニュー）

この章では、本機の動作全般に関わるシステムメニューについて説明します。

- 初期設定モード ...6-2
- マシン初期設定 ...6-12
- 手差し設定 ...6-26
- トータルカウンタの参照と印刷 ...6-28
- レポート出力 ...6-30
- 言語設定 ...6-31

初期設定モード

本機では、ウォームアップが終了した後や【リセット】キーを押した後の状態を初期モードといいます。初期モードのときに自動的に設定される機械の内容を初期設定と呼びます。初期設定はコピー初期設定とマシン初期設定に分かれます。使用のしかたに応じてこれらの設定は自由に変更できます。

コピー初期設定

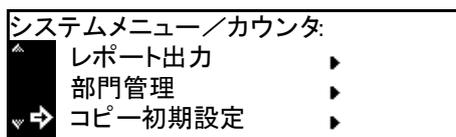
コピー初期設定では次の項目を設定できます。

- 濃度モード設定
- 原稿の画質
- エコプリント設定
- 地色調整
- 用紙選択
- 自動用紙用紙種類の設定
- 優先カセット設定
- 優先倍率設定
- 自動濃度調整
- 自動 OCR 濃度調整
- 文字 + 写真原稿濃度調整
- 文字原稿濃度調整
- 写真原稿濃度調整
- ソートコピー設定
- 仕分けコピー設定
- 自動回転コピー設定
- とじしろ幅初期値の設定
- 枠消し幅初期値の設定
- コピー部数制限
- 黒筋軽減処理

「コピー初期設定」画面の表示方法

次の手順にしたがって、「コピー初期設定」画面を表示させてください。

- 1 【システムメニュー/カウンタ】キーを押してください。
- 2 【△】または【▽】を押して、「コピー初期設定」を選択後、【エンター】キーを押してください。



暗証番号を入力して下さい

□ □ □ □

- 3 テンキーで4桁の管理者暗証番号を入力してください。
以降の各設定項目を参照して設定を行ってください。

工場出荷時は18枚機は「1800」、22枚機は「2200」となっています。

参考：4桁の管理者暗証番号は変更することができません。(6-22ページの管理者暗証番号変更参照)

コピー初期設定:

終了

→ 濃度モード : 手動

▼ 原稿の画質 : 文字写真

管理者暗証番号が合致すれば、「コピー初期設定」画面が表示されます。

以降の各設定項目を参照して設定を行ってください。

参考：各設定画面で表示される「*」（アスタリスク）は現在の設定を示します。

濃度モード設定

初期モードでの濃度が自動か手動かを設定してください。

コピー初期設定:

終了

→ 濃度モード : 手動

▼ 原稿の画質 : 文字写真

濃度モード:

① 自動

→ *② 手動

- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。
(6-2ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「濃度モード」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「自動」または「手動」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

原稿の画質

初期モードでの原稿の画質を設定してください。

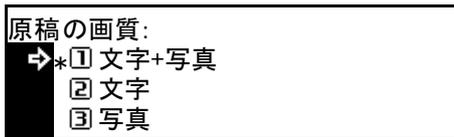
コピー初期設定:

終了

→ 濃度モード : 手動

▼ 原稿の画質 : 文字写真

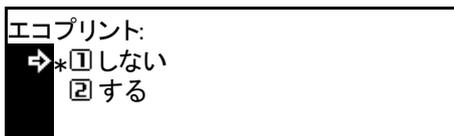
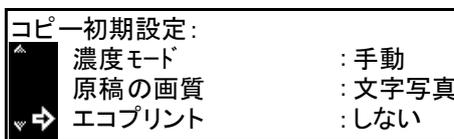
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。
(6-2ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「原稿の画質」を選択後、[エンター] キーを押してください。



- 3 [△] または [▽] を押して、「文字 + 写真」、「文字」または「写真」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

エコプリント設定

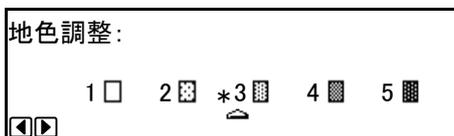
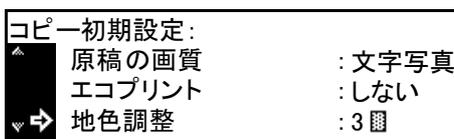
初期モードでエコプリントを設定するか、しないかを選択します。



- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。
(6-2 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「エコプリント」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 エコプリントを初期モードで使うときは、[△] または [▽] を押して、「する」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

地色調整

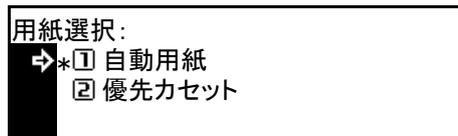
仕上がりの地色が濃い場合に薄くします。



- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。
(6-2 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「地色調整」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [<] または [>] を押して、地色を調整後、[エンター] キーを押してください。
右に移動させると濃く、左に移動させると薄くなります。
- 4 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

用紙選択

原稿をセットしたときに自動的に同じサイズ of 用紙が入ったカセットを選択させるか、あるいは優先カセット（固定）を選択するかを設定してください。



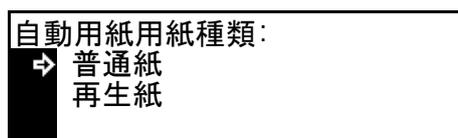
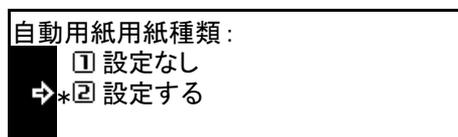
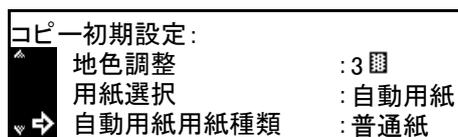
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。
(6-2 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「用紙選択」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「自動用紙」または「優先カセット」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

自動用紙用紙種類の設定

自動用紙選択モードで選択する用紙を、用紙種類で限定することができます。

設定できる用紙種類：普通紙、OHP フィルム、プレプリント、ラベル紙、ポンド紙、再生紙、薄紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み紙、封筒、はがき、厚紙、上質紙、カスタム 1～8

参考：現在カセットに設定されている用紙種類が選択できます。(6-14 ページの用紙種類 (カセット 1～4) 設定参照)

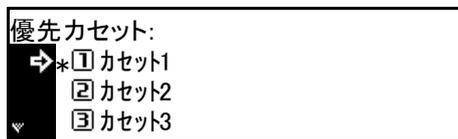
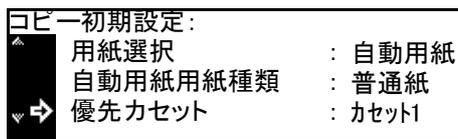


- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。
(6-2 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「自動用紙用紙種類」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「設定する」または「設定なし」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 「設定する」を選択した場合は、[△] または [▽] を押して、用紙種類を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 5 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

優先カセット設定

自動的に優先して使用するカセット (1 ~ 4) を選択します。

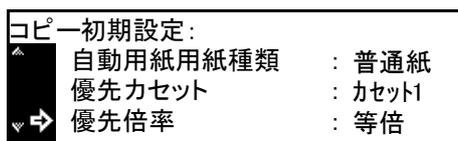
参考：18 枚機では、この設定はオプションのペーパーフィーダを設置しているときに表示されます。
18 枚機ではカセット 2 ~ 4 が、22 枚機ではカセット 3、4 がオプションのペーパーフィーダのカセットです。オプションのペーパーフィーダを設置しているときに表示されます。
手差しトレイは優先カセットとして設定することはできません。



- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。
(6-2 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「優先カセット」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、優先して使用するカセットを選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

優先倍率設定

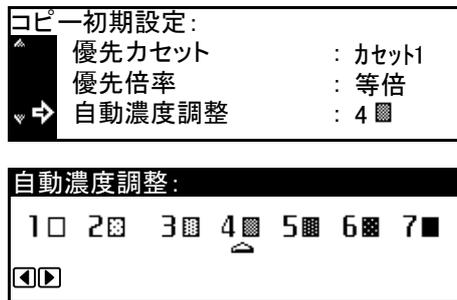
任意の給紙段の選択時に自動倍率させるかどうかを設定してください。



- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。
(6-2 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「優先倍率」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「等倍」または「自動倍率」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

自動濃度調整

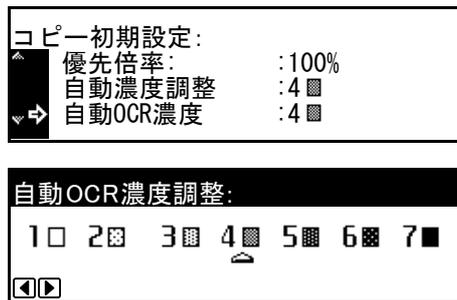
自動濃度モード使用時の全体的な濃淡を調整します。



- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。
(6-2 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「自動濃度調整」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [<] または [>] を押して、濃度を調整後、[エンター] キーを押してください。
右に移動させると濃く、左に移動させると薄くなります。
- 4 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

自動 OCR 濃度調整

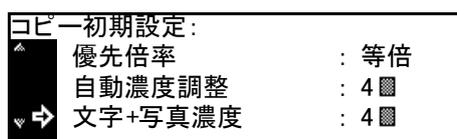
オプションのスキナ機能で OCR を使ってスキャンをするときの全体的な濃淡を調整します。



- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。
(6-2 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「自動 OCR 濃度」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [<] または [>] を押して、濃度を調整後、[エンター] キーを押してください。
右に移動させると濃く、左に移動させると薄くなります。
- 4 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

文字 + 写真原稿濃度調整

濃度の手動濃度 (文字 + 写真) の濃度中央値の濃淡を調整します。



- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。
(6-2 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「文字 + 写真濃度」を選択後、[エンター] キーを押してください。



- 3 [<] または [>] を押して、濃度を調整後、[エンター] キーを押してください。

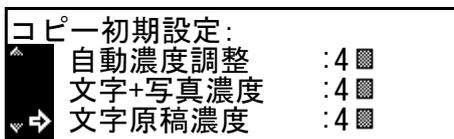
右に移動させると濃く、左に移動させると薄くなります。

- 4 [リセット] キーを押してください。

コピー基本画面に戻ります。

文字原稿濃度調整

濃度の手動濃度 (文字) の濃度中央値の濃淡を調整します。



- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。
(6-2 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照)

- 2 [△] または [▽] を押して、「文字原稿濃度」を選択後、[エンター] キーを押してください。

- 3 [<] または [>] を押して、濃度を調整後、[エンター] キーを押してください。

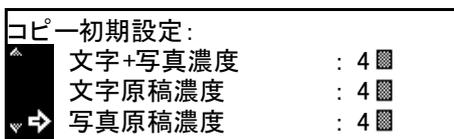
右に移動させると濃く、左に移動させると薄くなります。

- 4 [リセット] キーを押してください。

コピー基本画面に戻ります。

写真原稿濃度調整

濃度の手動濃度 (写真) の濃度中央値の濃淡を調整します。



- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。
(6-2 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照)

- 2 [△] または [▽] を押して、「写真原稿濃度」を選択後、[エンター] キーを押してください。

- 3 [<] または [>] を押して、濃度を調整後、[エンター] キーを押してください。

右に移動させると濃く、左に移動させると薄くなります。

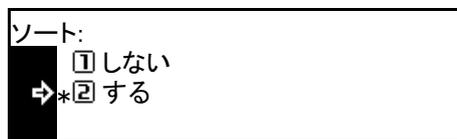
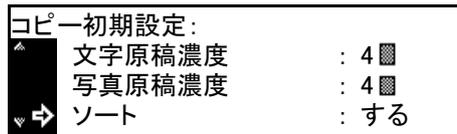
- 4 [リセット] キーを押してください。

コピー基本画面に戻ります。

ソートコピー設定

オプションの原稿送り装置を装着している場合は、初期モードでソートコピーを設定するか、しないかを変更できます。

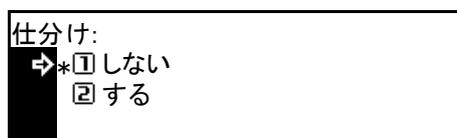
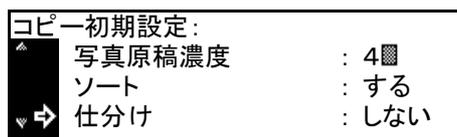
参考：この設定はオプションの原稿送り装置を装着しているときに表示されます。



- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。
(6-2 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「ソート」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「する」または「しない」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

仕分けコピー設定

初期モードで仕分けコピーを設定するか、しないかを変更できます。

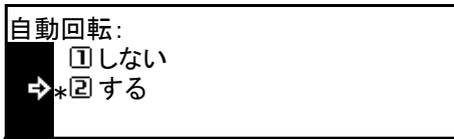
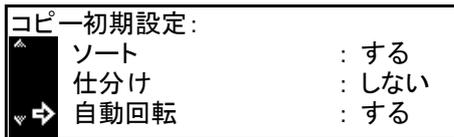


- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。
(6-2 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「仕分け」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「する」または「しない」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

自動回転コピー設定

初期モードで自動回転コピーを設定するか、しないかを変更できます。

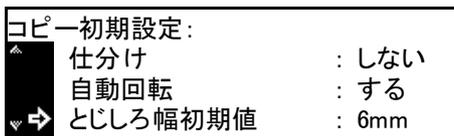
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。
(6-2 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照)



- 2 [△] または [▽] を押して、「自動回転」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「する」または「しない」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

とじしろ幅初期値の設定

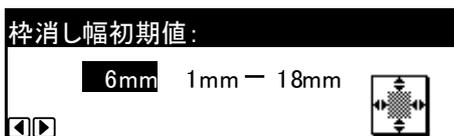
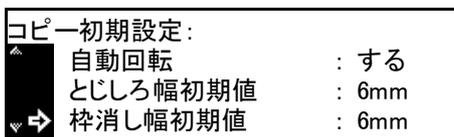
とじしろ幅の初期値を設定してください。



- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。
(6-2 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「とじしろ幅初期値」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [<] または [>] を押して、とじしろ幅を設定後、[エンター] キーを押してください。
1 mm ~ 18 mm (1 mm 単位) の範囲で設定できません。
- 4 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

枠消し幅初期値の設定

枠消し幅の初期値を設定してください。



- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。
(6-2 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「枠消し幅初期値」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [<] または [>] を押して、枠消し幅の初期値を設定後、[エンター] キーを押してください。
1 mm ~ 18 mm (1 mm 単位) の範囲で設定できません。
- 4 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

コピー部数制限

1回のコピーで設定できる部数を制限します。

コピー初期設定:	
とじしろ幅初期値	: 6mm
枠消し幅初期値	: 6mm
→ コピー部数制限	: 999部

コピー部数制限:	
	999 部
テンキー入力	

- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。
(6-2 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「コピー部数制限」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 テンキーを使って、コピー部数制限値 (1 ~ 999) を設定後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

黒筋軽減処理

オプションの原稿送り装置を使用したコピーに黒筋 (原稿にない筋状の汚れ) が発生した場合に、黒筋をめだたなくすることができます。黒筋軽減処理を行うと細かい文字の再現性が低下しますので、通常は工場出荷時のままでお使いになることをお勧めします。

コピー初期設定:	
枠消し幅初期値	: 6mm
コピー部数制限	: 999部
→ 黒筋軽減処理	: なし

黒筋軽減処理:	
→ * ① なし	
② 弱	
③ 強	

- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。
(6-2 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「黒筋軽減処理」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「なし」、「弱」または「強」を選択後、[エンター] キーを押してください。

参考: 黒筋軽減処理を行うときは、まず「弱」を設定してください。それでも黒筋が軽減されない場合は「強」を設定してください。

- 4 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

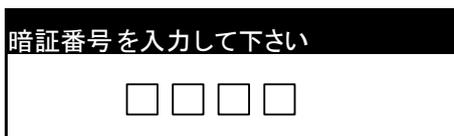
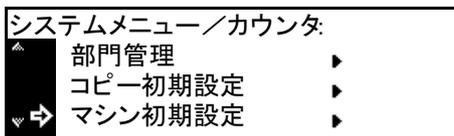
マシン初期設定

マシン初期設定では次の項目を設定できます。

- ・ オートカセットチェンジ設定
- ・ 用紙サイズ (カセット 1～4) 設定
- ・ 用紙種類 (カセット 1～4) 設定
- ・ 手差し確認表示の設定
- ・ 用紙種属性 (重さ) 設定
- ・ 用紙種属性 (両面) 設定
- ・ 特定用紙種類の設定
- ・ 原稿セット向きの設定
- ・ スリープモード移行時間設定
- ・ 低電力モード移行時間設定
- ・ コピー排出先設定
- ・ ファクス排出先設定
- ・ 電源投入時モードの設定
- ・ キー音設定
- ・ 日付 / 時刻の設定
- ・ 液晶コントラスト調整
- ・ 管理者暗証番号変更
- ・ オートスリープ設定
- ・ オートクリア設定
- ・ オートクリア時間設定
- ・ 静音モード
- ・ 機器管理者暗証番号変更

マシン初期設定画面の表示方法

次の手順にしたがって、マシン初期設定画面を表示させてください。

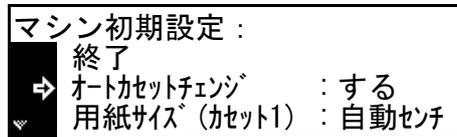


1 [システムメニュー/カウンタ] キーを押してください。

2 [△] または [▽] を押して、「マシン初期設定」を選択後、[エンター] キーを押してください。

3 テンキーで4桁の管理者暗証番号を入力してください。
以降の各設定項目を参照して設定を行ってください。

工場出荷時は18枚機は「1800」、22枚機は「2200」となっています。



参考：4桁の管理者暗証番号は変更することができません。(6-22 ページの管理者暗証番号変更参照)

管理者暗証番号が合致すれば、「マシン初期設定」画面が表示されます。

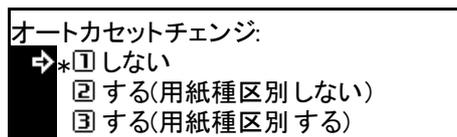
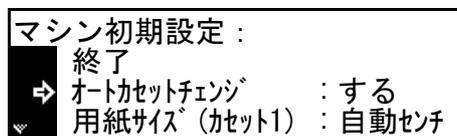
以降の各設定項目を参照して設定を行ってください。

参考：各設定画面で表示される「*」(アスタリスク)は現在の設定を示します。

オートカセットチェンジ設定

使用中の給紙カセットの用紙がなくなったときに、自動的に同一サイズ/同一向きの他のカセットから給紙するように切り替えて出力を続けます。また、違う用紙種類を設定しているカセットには切り替えない場合は、「する (用紙種別する)」に設定してください。

参考：18枚機では、オプションのペーパーフィーダを設置しているときに表示されます。



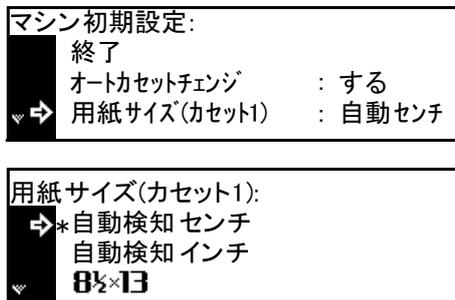
- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。(6-12 ページのマシン初期設定画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「オートカセットチェンジ」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「する (用紙種別しない)」、「する (用紙種別する)」または「しない」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

用紙サイズ (カセット 1～4) 設定

カセット 1～4 の用紙サイズを設定できます。用紙サイズの検知を自動で行うときは「自動検知センチ」または「自動検知インチ」に設定してください。

設定きるサイズ：8 1/2" × 13"、8K、16K

参考：18枚機ではカセット 2～4 が、22枚機ではカセット 3、4 がオプションのペーパーフィーダのカセットです。オプションのペーパーフィーダを設置しているときに表示されます。



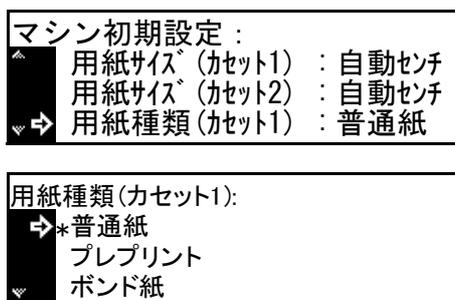
- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。
(6-12 ページのマシン初期設定画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「用紙サイズ (カセット 1～4)」から用紙サイズを設定するカセットを選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「自動検知センチ」、「自動検知インチ」または用紙サイズを選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

用紙種類 (カセット 1～4) 設定

カセット 1～4 の用紙の種類を設定できます。

設定できる用紙の種類：普通紙、プレプリント、ボンド紙、再生紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み紙、上質紙、カスタム 1～8

参考：18 枚機ではカセット 2～4 が、22 枚機ではカセット 3、4 がオプションのペーパーフィードのカセットです。オプションのペーパーフィードを設置しているときに表示されます。



- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。
(6-12 ページのマシン初期設定画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「用紙種類 (カセット 1～4)」から用紙種類を設定するカセットを選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、用紙の種類を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

手差し確認表示の設定

[用紙選択] キーを押して手差しトレイを選択したときに、「手差し用紙サイズ」画面を表示するか、しないかを設定してください。

- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。
(6-12 ページのマシン初期設定画面の表示方法参照)

マシン初期設定：
 ▲ 用紙種類 (カセット1) : 普通紙
 ▼ 用紙種類 (カセット2) : 普通紙
 ⇨ 手差し確認表示 : しない

手差し確認表示：
 ⇨ *① しない
 ② する

- 2 [△] または [▽] を押して、「手差し確認表示」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「する」または「しない」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

用紙種属性 (重さ) 設定

各用紙種類に対して重さ (用紙の厚さ) の設定を行います。

設定できる重さ：超重い、重い3、重い2、重い1、普通3、普通2、普通1、軽い

マシン初期設定：
 ▲ 用紙種類 (カセット2) : 普通紙
 ▼ 手差し確認表示 : しない
 ⇨ 用紙種属性 (重さ) ▶

用紙種類の属性(重さ):
 ⇨ 終了
 ▼ 普通紙 : 普通2
 OHPフィルム : 超重い

普通紙:
 ▲ ④ 重い1
 ⑤ 普通3
 ▼ ⇨ *⑥ 普通2

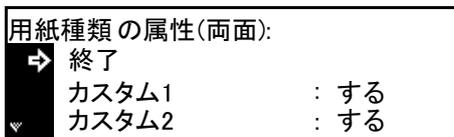
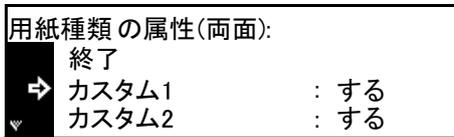
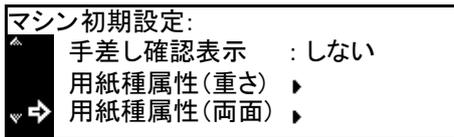
用紙種類の属性(重さ):
 ⇨ 終了
 ▼ 普通紙 : 普通2
 OHPフィルム : 超重い

- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。
(6-12 ページのマシン初期設定画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「用紙種属性 (重さ)」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、重さを設定する用紙種類を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、重さを選択後、[エンター] キーを押してください。
- 5 すべての設定が完了したら、[△] または [▽] を押して、「終了」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 6 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

用紙種属性 (両面) 設定

用紙種類のカスタム 1～8 をそれぞれ両面印刷に使用するか、しないかを設定してください。

- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。
(6-12 ページのマシン初期設定画面の表示方法参照)

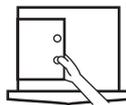


- 2 [△] または [▽] を押して、「用紙種属性 (両面)」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「カスタム 1」～「カスタム 8」から設定する用紙種類を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、「する」または「しない」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 5 すべての設定が完了したら、[△] または [▽] を押して、「終了」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 6 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

特定用紙種類の設定

穴あき用紙、プレプリント、レターヘッドに印刷する際、片面印刷と両面印刷を同じ給紙段から印刷すると、穴の位置が揃わなくなったり、両面印刷の表裏が逆に印刷されることがあります。「印刷方向を合わせる」を設定すると、片面印刷と両面印刷が同じ向きに印刷されます。

例：イラストのように用紙をセットした場合

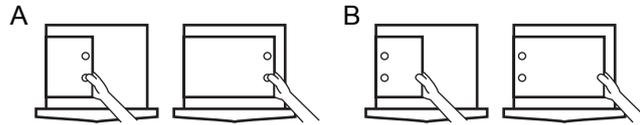


設定	片面印刷	両面印刷
印刷方向を合わせる		
速度優先		

参考：「印刷方向を合わせる」を設定すると、片面印刷の速度がやや遅くなります。

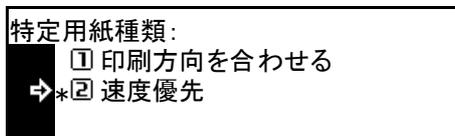
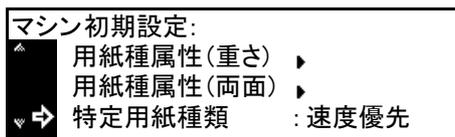
「印刷方向を合わせる」を設定する場合、用紙は1ページめを印刷する面が下になるように、イラストAのようにセットしてください。(オプションのフィニッシャを装着しているときは、用紙は1ページめを印刷する面が下になるように、イラストBのようにセットしてください。)

オプションのフィニッシャを装着しているときに、ステープルを設定すると、ステープル位置によっては、印刷の向きが合わない場合があります。



参考：「オプションのフィニッシャを装着しているときに、ステープルを設定すると、ステープル位置によっては、印刷の向きが合わない場合があります。

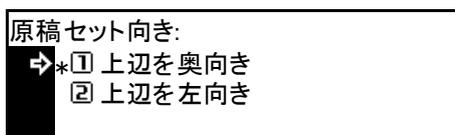
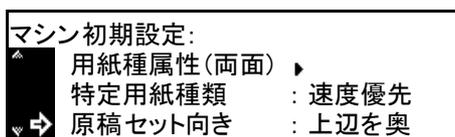
6



- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。
(6-12 ページのマシン初期設定画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「特定用紙種類」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「印刷方向を合わせる」または「速度優先」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

原稿セット向きの設定

原稿の向きの初期値を設定してください。



- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。
(6-12 ページのマシン初期設定画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「原稿セット向き」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「上辺を奥向き」または「上辺を左向き」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。

コピー基本画面に戻ります。

スリープモード移行時間設定

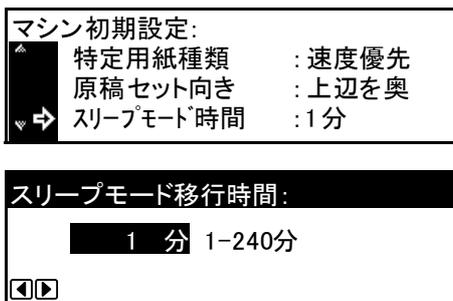
オートスリープ (6-22 ページ参照) で「する」を選択したときに、自動的にオートスリープが働くまでの時間を設定できます。

設定できる時間：1～240分 (1分単位)

参考：本機を頻繁に使用する場合は、オートスリープ機能が働くまでの時間を長めに、使用しない時間が長い場合は短めに設定することをお勧めします。

本機の操作においてオートスリープ機能が使用上の不便さを与える場合には、オートスリープを使用しない設定にしてください。オートスリープを使用しない設定にする前に、まずオートスリープが働くまでの時間を長めに設定することをお勧めします。

オートスリープを「しない」に設定している場合は表示されません。

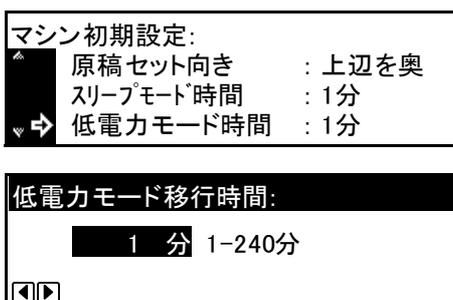


- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。
(6-12 ページのマシン初期設定画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「スリープモード時間」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [<] または [>] を押して、オートスリープ移行時間を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

低電力モード移行時間設定

自動的に低電力モードが働くまでの時間を設定できます。

設定できる時間：1～240分 (1分単位)



- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。
(6-12 ページのマシン初期設定画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「低電力モード時間」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [<] または [>] を押して、低電力モード移行時間を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。

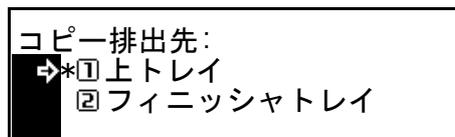
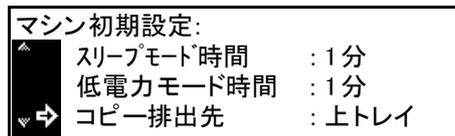
コピー基本画面に戻ります。

コピー排出先設定

コピー出力時に優先される排出先を設定できます。

設定項目	排出先
上トレイ	本体の排紙トレイ
フィニッシュトレイ	オプションのフィニッシャ
ジョブセパレータ	オプションのジョブセパレータ

参考：この設定は、オプションのフィニッシャまたはジョブセパレータを装着しているときに表示されません。



- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。
(6-12 ページのマシン初期設定画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「コピー排出先」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、排出先を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

6

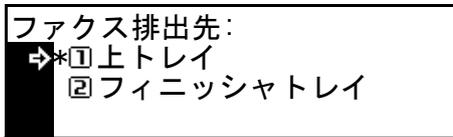
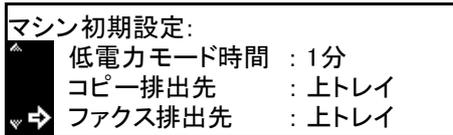
ファクス排出先設定

ファクスで受信した原稿、各種レポートの出力時に優先される排出先を設定できます。

設定項目	排出先
上トレイ	本体の排紙トレイ
フィニッシュトレイ	オプションのフィニッシャ
ジョブセパレータ	オプションのジョブセパレータ

参考：この設定は、オプションのファクスキットと、フィニッシャまたはジョブセパレータを装着しているときに表示されます。

- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。
(6-12 ページのマシン初期設定画面の表示方法参照)

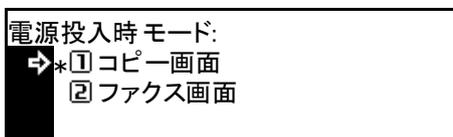
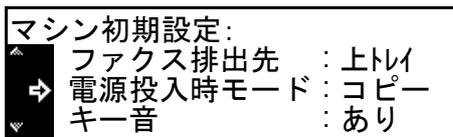


- 2 [△] または [▽] を押して、「ファクス排出先」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、排出先を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

電源投入時モードの設定

電源を入れたときに初期の状態が表示される画面を、コピー画面かファクス画面か設定してください。

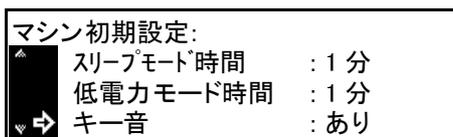
参考：この設定は、オプションのファクスキットを装着しているときに表示されます。



- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。
(6-12 ページのマシン初期設定画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「電源投入時モード」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「コピー画面」または「ファクス画面」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

キー音設定

操作パネルのキーを押したときに鳴る「ピッ」という音を出すか出さないか設定できます。



- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。
(6-12 ページのマシン初期設定画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「キー音」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「なし」または「あり」を選択後、[エンター] キーを押してください。

- 4 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

日付 / 時刻の設定

現在の日付、時刻、世界標準時間 (GMT) との時差、サマータイムを設定してください。

マシン初期設定:	
低電力モード時間	: 1分
キー音	: あり
日付/時刻:	: 06:33

日付/時刻	
時刻	: 14:26
サマータイム	: Off
時差	: GMT+00:00

日付/時刻	
終了	
時刻	: 14:26
サマータイム	: Off

日付/時刻	
終了	
時刻	: 14:26
サマータイム	: Off

日付/時刻:	
サマータイム	: Off
時差	: GMT+ 09:00
年	: 2009

日付/時刻:	
時差	: GMT+09:00
年	: 2009
月	: 11

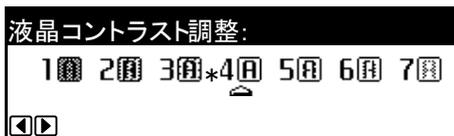
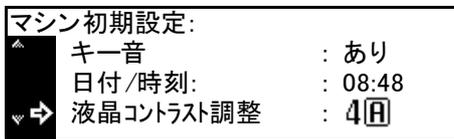
日付/時刻:	
年	: 2009
月	: 11
日	: 27

日付/時刻	
終了	
時刻	: 14:26
サマータイム	: Off

- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。
(6-12 ページのマシン初期設定画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「日付/時刻」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「時差」を選択後、[<] または [>] を押して、時差を設定してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、「時刻」を選択後、[<] または [>] を押して、現在の時刻を設定してください。
- 5 [△] または [▽] を押して、「サマータイム」を選択後、[<] または [>] を押して、「On」または「Off」を選択します。
- 6 [△] または [▽] を押して、「年」を選択後、[<] または [>] を押して、現在の年を設定してください。
- 7 [△] または [▽] を押して、「月」を選択後、[<] または [>] を押して、現在の月を設定してください。
- 8 [△] または [▽] を押して、「日」を選択後、[<] または [>] を押して、現在の日を設定してください。
- 9 すべての設定が完了したら、[△] または [▽] を押して、「終了」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 10 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

液晶コントラスト調整

メッセージ表示の内容が見にくいとき、液晶のコントラストを変更してください。



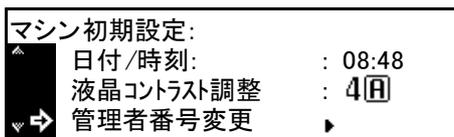
- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。
(6-12 ページのマシン初期設定画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「液晶コントラスト調整」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [<] または [>] を押して、コントラストを調整後、[エンター] キーを押してください。
左に移動させると暗く、右に移動させると明るくなります。
- 4 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

管理者暗証番号変更

本機管理者の暗証番号 (4 桁) を変更できます。

重要: 管理者暗証番号を変更したときは必ずメモを取るようにしてください。万一忘れたときは、サービス担当者に連絡してください。

工場出荷時は 18 枚機は「1800」、22 枚機は「2200」となっています。

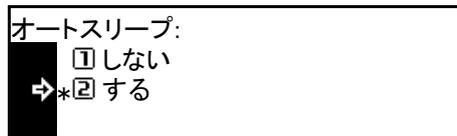
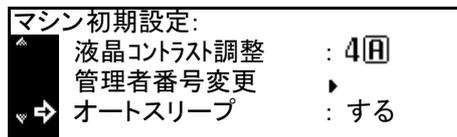


- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。
(6-12 ページのマシン初期設定画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「管理者暗証番号」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 テンキーを使って、新しい管理者暗証番号を入力後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

オートスリープ設定

この設定を「する」にした場合、本機は一定時間操作がないと自動的にスリープモードになります。

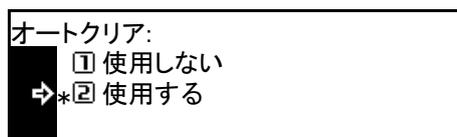
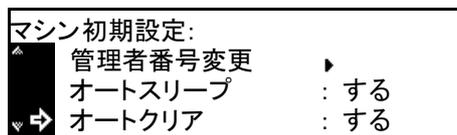
参考：本機の操作においてオートスリープ機能が使用上の不便さを与える場合には、オートスリープを使用しない設定にしてください。オートスリープを使用しない設定にする前に、まずオートスリープが働くまでの時間（スリープモード移行時間）を長めに設定することをお勧めします。



- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。
(6-12 ページのマシン初期設定画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「オートスリープ」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「する」または「しない」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

オートクリア設定

コピー終了後、一定時間経過すると自動的にオートクリア (1-3 ページのオートクリア機能について参照) することができます。



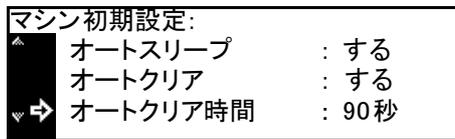
- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。
(6-12 ページのマシン初期設定画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「オートクリア」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「使用する」または「使用しない」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

オートクリア時間設定

オートクリア (6-23 ページ参照) で「使用する」を選択したときに、コピー作業終了後に自動的にオートクリアが働くまでの時間を設定できます。

設定できる時間：10 ～ 270 秒（10 秒単位）

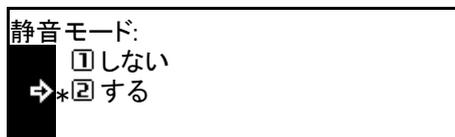
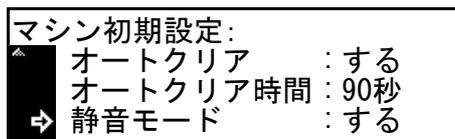
参考：オートクリアを「しない」に設定している場合は表示されません。



- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。
(6-12 ページのマシン初期設定画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「オートクリア時間」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [<] または [>] を押して、10 秒から 270 秒までの時間を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

静音モード

機械の動作音を低減します。機械の動作音が気になる場合に使用してください。



- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。
(6-12 ページのマシン初期設定画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「静音モード」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「する」または「しない」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

機器管理者暗証番号変更

本機を除いた、その他機器のセキュリティ管理者の暗証番号 (4 桁) を変更できます。

重要：機器管理者暗証番号を変更したときは必ずメモを取るようにしてください。万一忘れたときは、サービス担当者に連絡してください。

工場出荷時は 18 枚機は「1800」、22 枚機は「2200」となっています。

- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。
(6-12 ページのマシン初期設定画面の表示方法参照)

マシン初期設定:	
▲	オートクリア時間 : 90 秒
	静音モード : する
⇒	機器管理者番号 : 1234

機器管理者番号変更:	
	1234
テンキー入力	

- 2 [△] または [▽] を押して、「機器管理者番号」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 テンキーを使って、新しい機器管理者暗証番号を入力後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

手差し設定

手差しトレイから給紙する場合は、次の設定を行ってください。

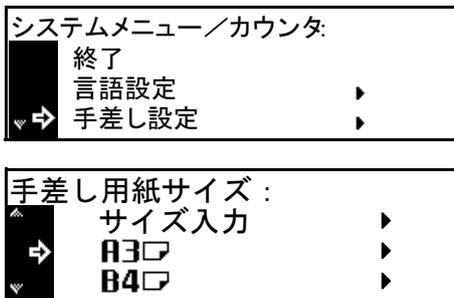
用紙サイズの設定

手差しトレイで使用する用紙のサイズを設定してください。用紙サイズを入力すると、不定形サイズの用紙を使用することもできます。

参考：用紙サイズが不明な場合、または特に用紙サイズを設定しない場合は、「ユニバーサルサイズ」を設定してください。

定形サイズから選択する場合

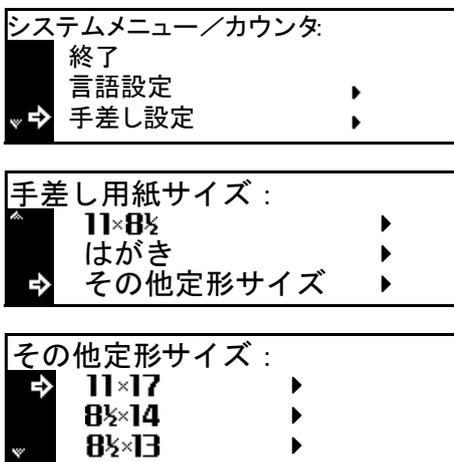
設定できる用紙サイズ：A3、B4、A4R、A4、B5R、B5、A5R、B6R、8 1/2"×11"、11"×8 1/2"、はがき



- 1 [システムメニュー/カウンタ] を押してください。
- 2 [△] または [▽] を押して、「手差し設定」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、用紙サイズを選択後、[エンター] キーを押してください。
「手差し用紙種類」画面が表示されます。次の用紙種類の設定に進んでください。

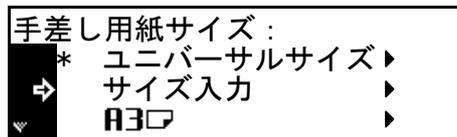
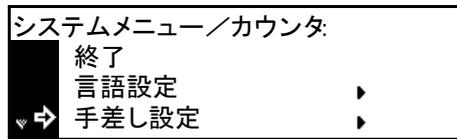
その他の定形サイズから選択する場合

設定できる用紙サイズ：11"×17"、8 1/2"×14"、8 1/2"×13"、5 1/2"×8 1/2"、Folio、A6R、Executive、ISO B5、Envelope DL、Envelope C5、Envelope C4、Comm. #10、Comm. #9、Comm. #6-3/4、Monarch、往復はがき、洋形2号、洋形4号、8K、16KR、16K



- 1 [システムメニュー/カウンタ] キーを押してください。
- 2 [△] または [▽] を押して、「手差し設定」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「その他定形サイズ」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、用紙サイズを選択後、[エンター] キーを押してください。
「手差し用紙種類」画面が表示されます。次の用紙種類の設定に進んでください。

用紙サイズを入力する場合



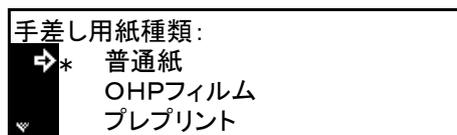
- 1 [システムメニュー / カウンタ] を押してください。
- 2 [△] または [▽] を押して、「手差し設定」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「サイズ入力」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [<] キーまたは [>] を押して、縦のサイズを設定後、[エンター] キーを押してください。
98 ~ 297 mm (1 mm 単位) の範囲で設定できます。
- 5 [▽] を押して、横のサイズを選択します。
- 6 [<] キーまたは [>] を押して、横のサイズを設定後、[エンター] キーを押してください。
148 ~ 432 mm (1 mm 単位) の範囲で設定できます。

「手差し用紙種類」画面が表示されます。次の用紙種類の設定に進んでください。

用紙種類の設定

用紙サイズの設定の続きから、手差しトレイで使用する用紙の種類を設定してください。

設定できる用紙種類：普通紙、OHPフィルム、プレプリント、ラベル紙、ポンド紙、再生紙、薄紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み紙、封筒、はがき、厚紙、上質紙、カスタム1 (~ 8)



[△] または [▽] を押して、用紙種類を選択後、[エンター] キーを押してください。

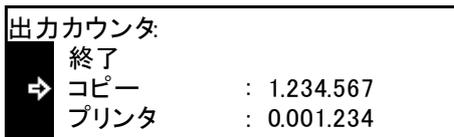
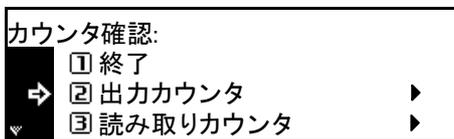
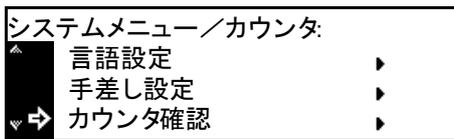
コピー基本画面に戻ります。

トータルカウンタの参照と印刷

操作パネルでトータルカウントを参照することができます。またカウンタレポートとして出力することができます。

トータルカウンタの参照

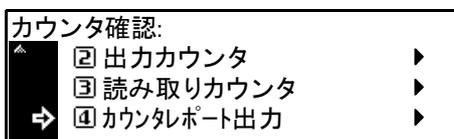
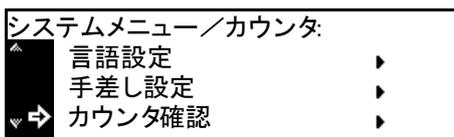
参考：出力カウンタと読み取りカウンタを参照することができます。



- 1 [システムメニュー/カウンタ] キーを押してください。
- 2 [△] または [▽] を押して、「カウンタ確認」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「出力カウンタ」または「読み取りカウンタ」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、カウンタを確認してください。
- 5 確認が終了したら、[△] または [▽] を押して、「終了」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 6 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

カウンタレポートの出力

参考：カウンタレポートを出力するときは、カセットに A4 の用紙がセットされていることを確認してください。



- 1 [システムメニュー/カウンタ] キーを押してください。
- 2 [△] または [▽] を押して、「カウンタ確認」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「カウンタレポート出力」を選択後、[エンター] キーを押してください。
カウンタレポートが出力されます。

- 4 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

レポート出力

操作パネルから次のレポートの出力ができます。

- コピーステータスレポート
- マシンステータスレポート
- カバレッジレポート

参考：レポートを出力するときは、カセットに A4 の用紙がセットされていることを確認してください。

レポートを出力するときは、カセットに A4 の用紙がセットされていることを確認してください。

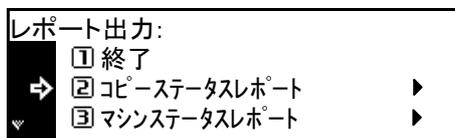
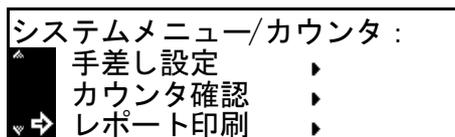
カバレッジレポートは、用紙ごとに出力枚数と黒比率の平均値を記載したレポートです。次の 4 種類の内容が含まれています。

トータルデジタルドットカバレッジレポート

コピーデジタルドットカバレッジレポート

プリンタデジタルドットカバレッジレポート

ファクスデジタルドットカバレッジレポート

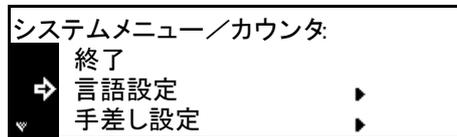


- 1 [システムメニュー/カウンタ] キーを押してください。
- 2 [△] または [▽] を押して、「レポート出力」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、出力するレポートを選択後、[エンター] キーを押してください。
レポートが出力されます。
- 4 [リセット] キーを押してください。
コピー基本画面に戻ります。

言語設定

メッセージ表示の言語を選択できます。

選択できる言語：日本語、英語 (English)、フランス語 (Français)、スペイン語 (Español)



- 1 [システムメニュー/カウンタ] キーを押してください。
- 2 [△] または [▽] を押して、「言語設定」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、使用する言語を選択後、[エンター] キーを押してください。

コピー基本画面に戻り、メッセージ表示の言語が変更されます。

7 部門管理

この章では、部門管理機能について説明します。

- 部門管理モードについて ...7-2
- 部門編集 ...7-4
- 全部門集計 ...7-10
- 部門別集計 ...7-11
- 部門管理の設定 ...7-12
- 部門管理初期設定 ...7-13
- 部門管理時の操作 ...7-16

部門管理モードについて

部門管理モードは、部門別に部門コードを設定することにより部門別のトータルコピー枚数・印刷枚数を管理することができます。

本機の部門管理モードは、次の特長を備えています。

- 同じ部門コードで、コピー機能、プリンタ機能やオプションのスキヤナ/ファクス機能を一括管理することができます。
- 最大 100 部門の管理ができます。
- 部門コードは 1～8 桁で設定できます。
- 全部門または部門別で枚数を集計することができます。
- 制限枚数を 1 枚単位で 999,999 枚まで設定することができます。
- カウンタのクリアは全部門でも各部門ごとでもできます。

重要：部門編集で使用制限の設定を行う場合は、部門管理初期設定のコピー部門管理とプリンタ部門管理で「しない」を「する」に変更しておく必要があります。また、オプションのネットワークスキヤナまたはファクスキットを装着している場合は、部門管理初期設定のスキヤナ部門管理またはファクス部門管理で部門管理を行う機能を「する」に設定してください。(7-13 ページの**部門管理初期設定参照**)

部門管理モードで設定できる内容は次のとおりです。

部門管理モード	説明	参照ページ
部門編集	新規登録－部門コードと使用制限の登録を行います。部門コードは、100 部門まで登録できます。 削除－登録された部門を抹消します。 使用制限変更－各部門の使用制限の変更を行います。	7-4 ページ
全部門集計	全部門のトータル枚数の参照、部門管理レポート出力と、カウンタのクリアができます。	7-10 ページ
部門別集計	部門別のトータル枚数の集計と、カウンタのクリアができます。	7-11 ページ
部門管理 ON/OFF	部門管理を行うときは「ON」に、部門管理を行わないときは「OFF」に設定します。	7-12 ページ
部門管理初期設定	部門管理モードの初期設定を変更します。	7-13 ページ

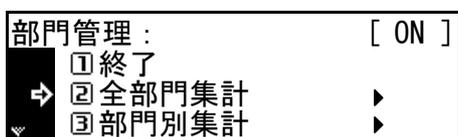
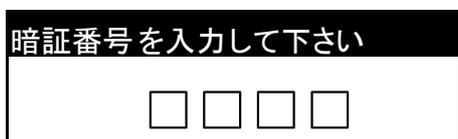
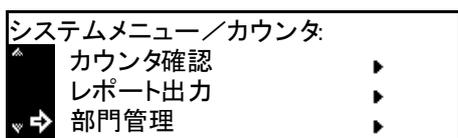
参考：プリンタ機能で部門管理を使用する際に必要なコンピュータからの設定は、KX プリンタドライバ操作手順書を参照してください。

この他に、コンピュータから設定できる部門管理モードがあります。詳細は KM-NET for Accounting 操作手順書を参照してください。

KM-NET for Accounting を使用する場合の部門管理者コードは、18 枚機は「1810000000000000」(15 桁)、22 枚機は「2210000000000000」(15 桁) です。

部門管理画面の表示方法

次の手順にしたがって「部門管理」画面を表示させてください。



1 [システムメニュー/カウンタ] キーを押してください。

2 [△] または [▽] を押して、「部門管理」を選択後、[エンター] キーを押してください。

3 テンキーで4桁の管理者暗証番号を入力してください。
 以降の各設定項目を参照して設定を行ってください。

工場出荷時は18枚機は「1800」、22枚機は「2200」となっています。

参考：4桁の管理者暗証番号は変更することができます。(6-22ページの管理者暗証番号変更参照)

管理者暗証番号が合致すれば、「部門管理」画面が表示されます。

以降の各モードの設定方法を参照して設定を行ってください。

参考：各設定画面で表示される「*」（アスタリスク）は現在の設定を示します。

部門編集

新規部門登録

1～8桁の部門コードとその使用制限の登録を行います。

部門管理:	[ON]
▼	▶
③ 部門別集計	▶
➔ ④ 部門編集	▶
▼	▶
⑤ 部門管理初期設定	▶

部門編集:	
▼	▶
終了	
➔ 新規登録	▶
▼	▶
削除	▶

新規登録:	
▼	▶
■	部門コード

- 1 「部門管理」画面を表示させてください。(7-2 ページの部門管理画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「部門編集」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「新規登録」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 テンキーを使って、1～8桁の部門コードを入力後、[エンター] キーを押してください。
0～99999999 まで入力できます。

参考：すでに登録している部門コードで登録しようとするとエラーとなります。別の部門コードに変更してください。

部門コードを登録したあと、数秒間「しばらくお待ち下さい」が表示されます。

- 5 使用制限の設定を行ってください。

参考：使用制限の設定方法は7-4 ページの使用制限の設定を参照してください。

使用制限:	
▼	▶
➔ 終了	
▼	▶
コピー	: 使用可
▼	▶
プリンタ	: 使用可

- 6 [△] または [▽] を押して、「終了」を選択後、[エンター] キーを押してください。

使用制限の設定

登録された部門ごとに使用制限を設定できます。

設定できる項目は次のとおりです。

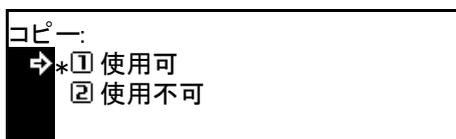
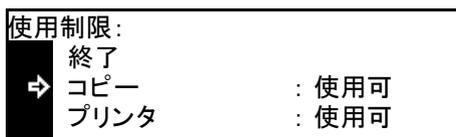
項目	制限内容	参照ページ
コピー制限設定	コピーの使用を許可するか、禁止するか設定できます。 使用可－コピーの使用を許可します。 使用不可－コピーの使用を禁止します。	7-5 ページ
プリンタ制限設定	プリンタの使用を許可するか、禁止するか設定できます。 使用可－プリンタの使用を許可します。 使用不可－プリンタの使用を禁止します。	7-6 ページ
出力制限設定	コピーとプリンタで使用する合計の制限枚数を設定できます。 制限なし－制限枚数を設定しません。 カウンタ制限－制限枚数を設定します。(0～999,999 枚)	7-6 ページ
スキャナ送信制限設定	オプションのネットワークスキャナを装着しているとき、スキャナ送信の制限枚数を設定できます。 制限なし－スキャナ送信の制限枚数を設定しません。 カウンタ制限－スキャナ送信の制限枚数を設定します。(0～999,999 枚) 使用不可－スキャナ送信の使用を禁止します。	7-7 ページ
ファクス送信制限設定	オプションのファクスキットを装着しているとき、ファクス送信の制限枚数を設定できます。 制限なし－ファクス送信の制限枚数を設定しません。 カウンタ制限－ファクス送信の制限枚数を設定します。(0～999,999 枚) 使用不可－ファクス送信の使用を禁止します。	7-7 ページ

参考：コピーとプリンタにそれぞれ個別の制限枚数を設定するように、管理方法を変更することができます。詳細は KM-NET for Accounting 操作手順書を参照してください。

コピー制限設定

コピーの使用を許可するか、禁止するか設定できます。

参考：部門管理初期設定のコピー部門管理設定で「する」を設定している場合に、この項目は表示されません。(7-13 ページ参照)



- 1 新規部門登録の手順1～5を参照して、「使用制限」画面を表示させてください。
- 2 [△] または [▽] を押して、「コピー」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「使用可」または「使用不可」を選択後、[エンター] キーを押してください。
「使用制限」画面に戻ります。

プリンタ制限設定

プリンタの使用を許可するか、禁止するか設定できます。

参考：部門管理初期設定のプリンタ部門管理設定で「する」を設定している場合に、この項目は表示されません。(7-13 ページ参照)

使用制限:	
終了	
コピー	: 使用可
⇒ プリンタ	: 使用可

プリンタ:	
⇒ * <input type="checkbox"/> 使用可	
<input type="checkbox"/> 使用不可	

- 1 新規部門登録の手順1～5を参照して、「使用制限」画面を表示させてください。
- 2 [△] または [▽] を押して、「プリンタ」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「使用可」または「使用不可」を選択後、[エンター] キーを押してください。
「使用制限」画面に戻ります。

出力制限設定

コピーとプリンタで使用する合計の制限枚数を設定できます。

参考：コピー制限設定とプリンタ制限設定の設定を両方とも「使用不可」に設定している場合は、この項目は表示されません。

使用制限:	
コピー	: 使用可
プリンタ	: 使用可
⇒ 出力制限	: 制限なし

出力制限	
⇒ * <input type="checkbox"/> 制限なし	
<input type="checkbox"/> カウンタ制限	

カウンタ制限:	
<input type="text" value="999.999"/>	制限枚数

- 1 新規部門登録の手順1～5を参照して、「使用制限」画面を表示させてください。
- 2 [△] または [▽] を押して、「出力制限」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「制限なし」または「カウンタ制限」を選択後、[エンター] キーを押してください。
「カウンタ制限」を選択した場合は、「カウンタ制限」画面が表示されます。次の手順に進んでください。
- 4 テンキーを使って、制限枚数を入力後、[エンター] キーを押してください。
「使用制限」画面に戻ります。
1枚単位で999,999枚まで設定することができます。

スキャナ送信制限設定

オプションのネットワークスキャナを装着しているとき、スキャナ送信の制限枚数を設定できます。

参考：部門管理初期設定のスキャナ部門管理設定で「する」を設定している場合に、この項目は表示されません。(7-14 ページ参照)

使用制限:	
プリンタ	: 使用可
出力制限	: 使用可
→ スキャナ送信	: 制限なし

スキャナ送信:	
→ * <input type="radio"/>	制限なし
<input type="radio"/>	カウンタ制限
<input type="radio"/>	使用不可

カウンタ制限:	
<input type="text" value="999.999"/>	制限枚数

1 新規部門登録の手順1～5を参照して、「使用制限」画面を表示させてください。

2 [△] または [▽] を押して、「スキャナ送信」を選択後、[エンター] キーを押してください。

3 [△] または [▽] を押して、「制限なし」、「カウンタ制限」または「使用不可」を選択後、[エンター] キーを押してください。

「カウンタ制限」を選択した場合は、「カウンタ制限」画面が表示されます。次の手順に進んでください。

4 テンキーを使って、制限枚数を入力後、[エンター] キーを押してください。

「使用制限」画面に戻ります。

1枚単位で999,999枚まで設定することができます。

ファクス送信制限設定

オプションのファクスキットを装着しているとき、ファクス送信の制限枚数を設定できます。

参考：部門管理初期設定のファクス部門管理設定で「する」を設定している場合に、この項目は表示されません。(7-14 ページ参照)

使用制限:	
出力制限	: 制限なし
スキャナ送信	: 制限なし
→ ファクス送信	: 制限なし

ファクス送信:	
→ * <input type="radio"/>	制限なし
<input type="radio"/>	カウンタ制限
<input type="radio"/>	使用不可

1 新規部門登録の手順1～5を参照して、「使用制限」画面を表示させてください。

2 [△] または [▽] を押して、「ファクス送信」を選択後、[エンター] キーを押してください。

3 [△] または [▽] を押して、「制限なし」、「カウンタ制限」または「使用不可」を選択後、[エンター] キーを押してください。

「カウンタ制限」を選択した場合は、「カウンタ制限」画面が表示されます。次の手順に進んでください。

カウンタ制限:

999,999 制限枚数

- テンキーを使って、制限枚数を入力後、[エンター] キーを押してください。

「使用制限」画面に戻ります。

1 枚単位で 999,999 枚まで設定することができます。

部門削除

登録された部門を削除します。

部門管理: [ON]

- ③ 部門別集計 ▶
- ④ 部門編集 ▶
- ⑤ 部門管理初期設定 ▶

- 「部門管理」画面を表示させてください。(7-2 ページの部門管理画面の表示方法参照)
- [△] または [▽] を押して、「部門編集」を選択後、[エンター] キーを押してください。

部門編集:

- 終了
- 新規登録 ▶
- 削除 ▶

- [△] または [▽] を押して、「削除」を選択後、[エンター] キーを押してください。

削除:

- 終了
- 11111111 : 123.456
- 22222222 : 000.234

- [△] または [▽] を押して、削除する部門コードを選択後、[エンター] キーを押してください。確認画面が表示されます。

- [△] または [▽] を押して、「はい」を選択後、[エンター] キーを押してください。

参考：他の部門を削除するときは手順 4 と 5 を繰り返してください。

削除:

- 終了
- 22222222 : 000.234
- 33333333 : 006.101

- [△] または [▽] を押して、「終了」を選択後、[エンター] キーを押してください。

使用制限の変更

部門ごとに設定された使用制限を変更します。

重要：部門編集で使用制限の設定を行う場合は、部門管理初期設定のコピー部門管理、プリンタ部門管理で「しない」を「する」に変更しておく必要があります。また、オプションのネットワークスキャナまたはファクスキットを装着している場合は、部門管理初期設定のスキャナ部門管理またはファクス部門管理で部門管理を行う機能を「する」に設定してください。(7-13 ページの部門管理初期設定参照)

- 「部門管理」画面を表示させてください。(7-2 ページの部門管理画面の表示方法参照)

部門管理 :		[ON]
③	部門別集計	▶
④	部門編集	▶
⑤	部門管理初期設定	▶

部門編集:		
	新規登録	▶
	削除	▶
⇒	使用制限変更	▶

使用制限変更:		
	終了	
⇒	11111111	: 123.456
	22222222	: 000.234

使用制限変更:		
⇒	終了	
	11111111	: 123.456
	22222222	: 000.234

2 [△] または [▽] を押して、「部門編集」を選択後、[エンター] キーを押してください。

3 [△] または [▽] を押して、「使用制限変更」を選択後、[エンター] キーを押してください。

4 [△] または [▽] を押して、変更する部門コードを選択後、[エンター] キーを押してください。確認画面が表示されます。

5 使用制限を変更します。

参考：使用制限の設定方法は 7-4 ページの使用制限の設定を参照してください。

6 すべての変更が完了したら、[△] または [▽] を押して、「終了」を選択後、[エンター] キーを押してください。

全部門集計

全部門のトータル出力枚数の参照、部門管理レポート出力と、カウンタのクリアができます。

部門管理 :	[ON]
⇒ ① 終了	▶
⇒ ② 全部門集計	▶
⇒ ③ 部門別集計	▶

全部門集計 :	1. 234. 567
⇒ 終了	
⇒ レポート印刷	▶
⇒ カウンタクリア	▶

全部門集計 :	1. 234. 567
⇒ 終了	
⇒ レポート印刷	▶
⇒ カウンタクリア	▶

全部門集計 :	0. 000. 000
⇒ 終了	
⇒ レポート印刷	▶
⇒ カウンタクリア	▶

- 1 「部門管理」画面を表示させてください。(7-2 ページの部門管理画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「全部門集計」を選択後、[エンター] キーを押してください。
全部門の出力枚数が表示されます。
- 3 部門管理レポートを出力する場合は、[△] または [▽] を押して、「レポート印刷」を選択後、[エンター] キーを押してください。
レポートが出力されます。
- 4 カウンタのクリアを行う場合は、[△] または [▽] を押して、「カウンタクリア」を選択後、[エンター] キーを押してください。
確認画面が表示されます。
- 5 [△] または [▽] を押して、「はい」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 6 [△] または [▽] を押して、「終了」を選択後、[エンター] キーを押してください。

部門別集計

部門別の出力枚数の集計と、カウンタのクリアができます。

部門管理 :	[ON]
① 終了	
② 全部門集計	▶
③ 部門別集計	▶

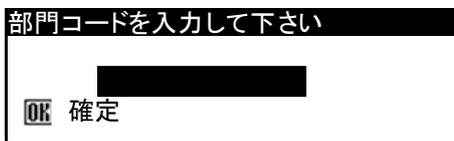
部門別集計/カウンタクリア:	
終了	
▶ 11111111	: 123.456
▼ 22222222	: 000.234

部門別集計/カウンタクリア:	
▶ 終了	
11111111	: 000.000
▼ 22222222	: 000.234

- 1 「部門管理」画面を表示させてください。(7-2 ページの部門管理画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「部門別集計」を選択後、[エンター] キーを押してください。
各部門の出力枚数が表示されます。
- 3 カウンタのクリアを行う場合は、[△] または [▽] を押して、部門コードを選択後、[エンター] キーを押してください。
確認画面が表示されます。
- 4 [△] または [▽] を押して、「はい」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 5 [△] または [▽] を押して、「終了」を選択後、[エンター] キーを押してください。

部門管理の設定

部門管理を有効または無効に設定します。



- 1 「部門管理」画面を表示させてください。(7-2 ページの部門管理画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「部門管理 ON/OFF」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「ON」または「OFF」を選択後、[エンター] キーを押してください。
確認画面が表示されます。
- 4 [リセット] キーを押してください。
「ON」を選択した場合は部門コード入力画面が表示されます。

部門管理初期設定

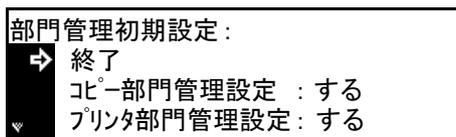
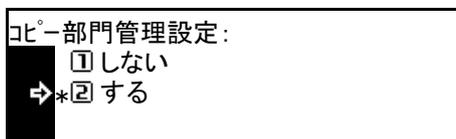
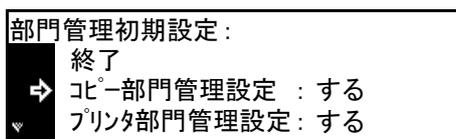
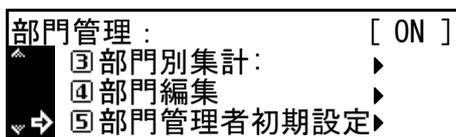
部門管理の初期設定を変更します。

部門管理初期設定では次の項目が設定できます。

- コピー部門管理設定 (7-13 ページ)
- プリンタ部門管理設定 (7-13 ページ)
- スキャナ部門管理設定 (7-14 ページ)
- ファクス部門管理設定 (7-14 ページ)
- 制限超過時設定 (7-15 ページ)

コピー部門管理設定

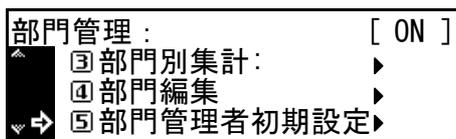
コピー機能で部門管理を有効にするか、無効にするか設定できます。



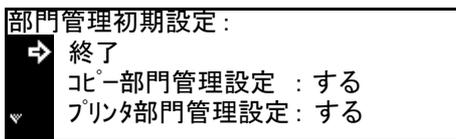
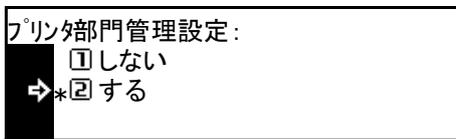
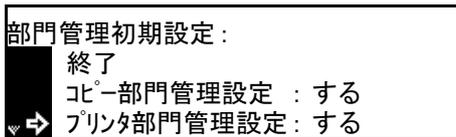
- 1 「部門管理」画面を表示させてください。(7-2 ページの部門管理画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「部門管理者初期設定」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「コピー部門管理設定」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、「する」または「しない」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 5 [△] または [▽] を押して、「終了」を選択後、[エンター] キーを押してください。

プリンタ部門管理設定

プリンタ機能で部門管理を有効にするか、無効にするか設定できます。



- 1 「部門管理」画面を表示させてください。(7-2 ページの部門管理画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「部門管理者初期設定」を選択後、[エンター] キーを押してください。

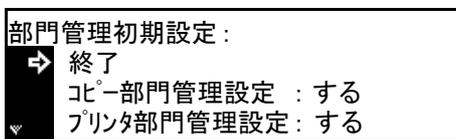
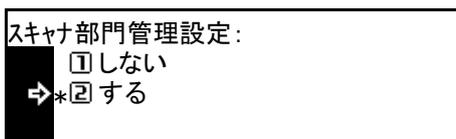
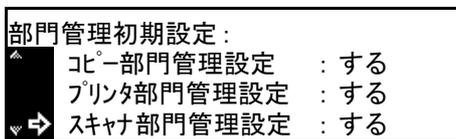
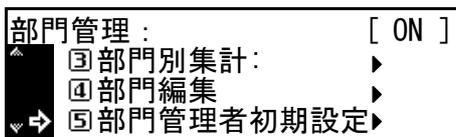


- 3 [△] または [▽] を押して、「プリンタ部門管理設定」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、「する」または「しない」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 5 [△] または [▽] を押して、「終了」を選択後、[エンター] キーを押してください。

スキャナ部門管理設定

スキャナ機能で部門管理を有効にするか、無効にするか設定できます。

参考：この設定は、オプションのネットワークスキャナを装着したときに表示されます。



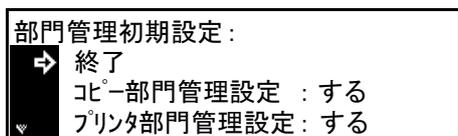
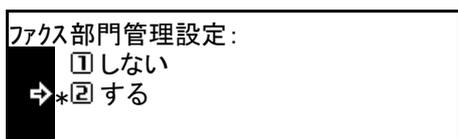
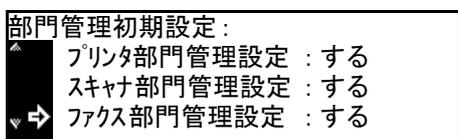
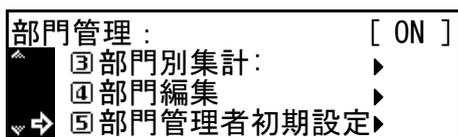
- 1 「部門管理」画面を表示させてください。(7-2 ページの部門管理画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「部門管理者初期設定」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「スキャナ部門管理設定」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、「する」または「しない」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 5 [△] または [▽] を押して、「終了」を選択後、[エンター] キーを押してください。

ファクス部門管理設定

ファクス機能で部門管理を有効にするか、無効にするか設定できます。

参考：この設定は、オプションのファクスキットを装着したときに表示されます。

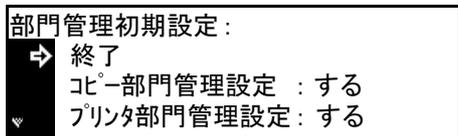
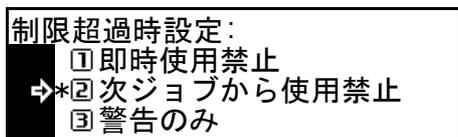
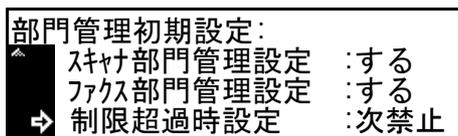
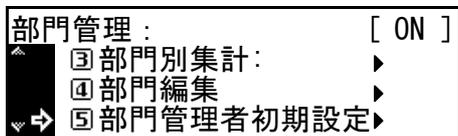
- 1 「部門管理」画面を表示させてください。(7-2 ページの部門管理画面の表示方法参照)



- 2 [△] または [▽] を押して、「部門管理者初期設定」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「ファクス部門管理設定」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、「する」または「しない」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 5 [△] または [▽] を押して、「終了」を選択後、[エンター] キーを押してください。

制限超過時設定

使用制限で設定されている制限枚数を超えたときに、即時使用禁止にして出力を停止するか、次のジョブから使用禁止にするか、警告メッセージの表示のみを行うか選択できます。



- 1 「部門管理」画面を表示させてください。(7-2 ページの部門管理画面の表示方法参照)
- 2 [△] または [▽] を押して、「部門管理者初期設定」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 3 [△] または [▽] を押して、「制限超過時設定」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 4 [△] または [▽] を押して、「即時使用禁止」「次ジョブから使用禁止」または「警告のみ」を選択後、[エンター] キーを押してください。
- 5 [△] または [▽] を押して、「終了」を選択後、[エンター] キーを押してください。

部門管理時の操作

コピー操作

部門管理を行っているときは、所属する部門コードをテンキー入力することによってのみコピー操作ができます。

重要：コピー終了後は、必ず [ログアウト] を押してください。部門コード入力画面が表示されます。



- 1 テンキーで部門コードを入力して [エンター] キーを押してください。

コピー基本画面が表示されます。

参考：入力を間違えたときは、[ストップ/クリア] を押して入力しなおしてください。
入力された部門コードが登録された部門コードと一致しない場合はエラー音が鳴ります。正しい部門コードを入力してください。

- 2 通常のコピー操作を行ってください。
- 3 コピー終了後、[ログアウト] キーを押してください。

プリント操作

部門管理を行っているときは、印刷の際にコンピュータでの操作が必要です。詳細は **KX プリンタドライバ操作手順書** を参照してください。

8 日常のお手入れ

この章では、本機の清掃と、トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスの交換方法について説明します。

- 清掃 ...8-2
- トナーコンテナと廃棄トナーボックスの交換 ...8-6

清掃

出力品質を保つため、定期的に本機を清掃します。



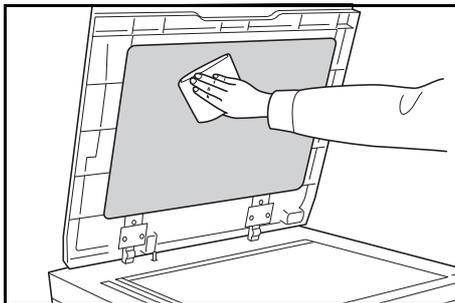
注意：本機の清掃を行うときは、安全上必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

原稿押さえ / 原稿ガラス

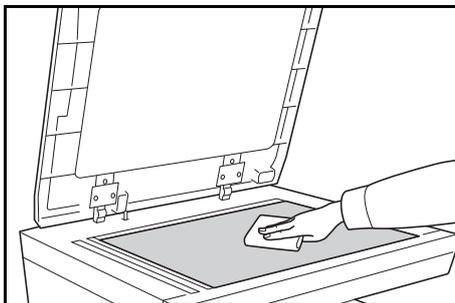
アルコールまたは薄い中性洗剤をつけた柔らかい布で、原稿押さえ裏面および原稿ガラスを拭きます。

重要：シンナー、有機溶剤などは使用しないでください。

原稿押さえ



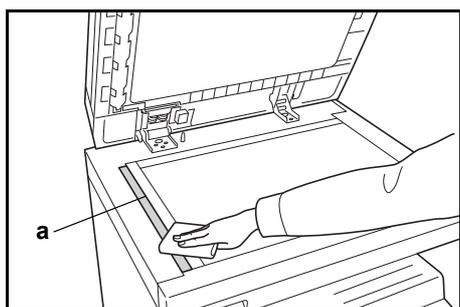
原稿ガラス



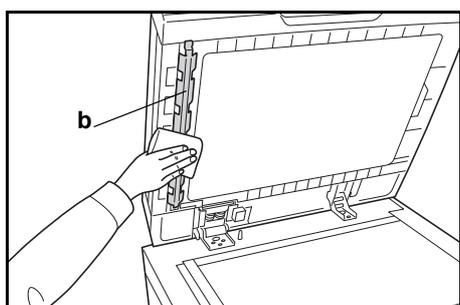
スリットガラス

オプションの原稿送り装置使用時に、出力紙に黒いすじなどの汚れが写る場合は、付属の清掃用布でスリットガラスを清掃します。

重要：スリットガラスと白いガイドは、付属の乾いた布で拭き取ってください。拭き取る際は水や洗剤を使用しないでください。糊やインクなどが付いている場合は、アルコールを含ませた布で軽く拭いてください。



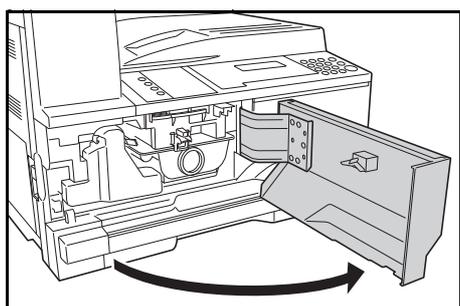
- 1 原稿送り装置を開けて、スリットガラス a を拭いてください。



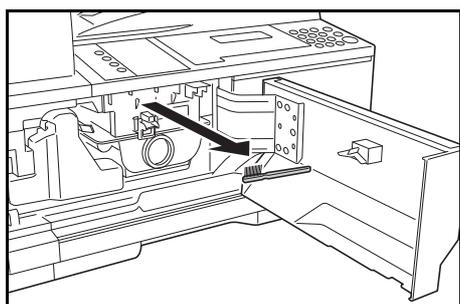
- 2 原稿送り装置の白いガイド b を拭いてください。

分離針

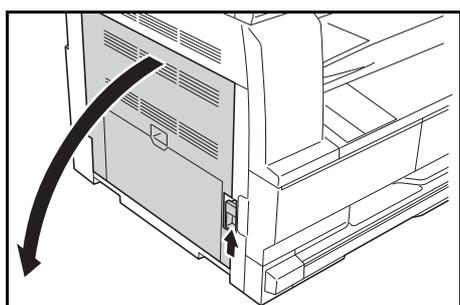
出力品質を保つため、定期的（月 1 回程度）に以下の清掃を行います。



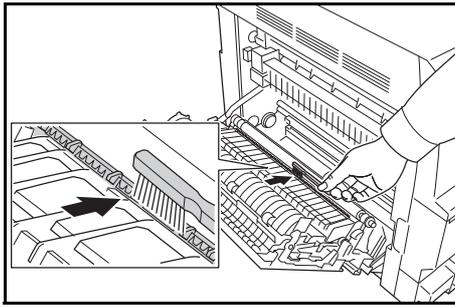
- 1 前カバーを開けてください。



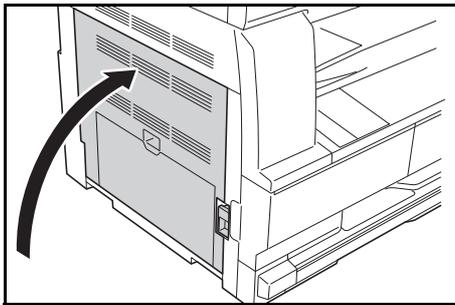
- 2 清掃ブラシ（青色）を取り外してください。



- 3 左カバー取手を引き上げ、左カバーを開けてください。

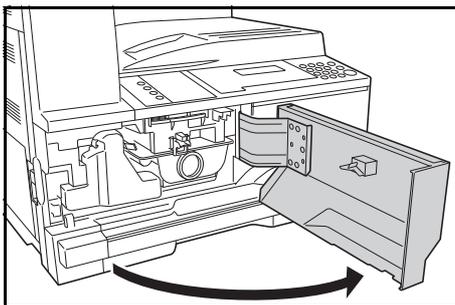


- 4 図のように、ブラシを分離針に沿って左右に数回動かして、分離針の汚れを取り除いてください。

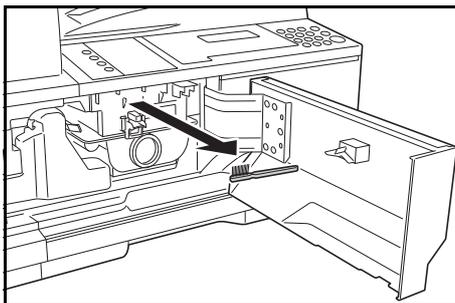


- 5 清掃ブラシを戻し、前カバーと、左カバーの指定の箇所を押して閉めてください。

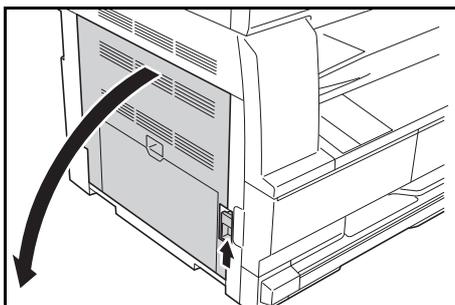
転写ローラ



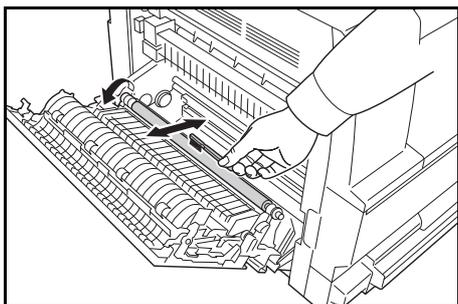
- 1 前カバーを開けてください。



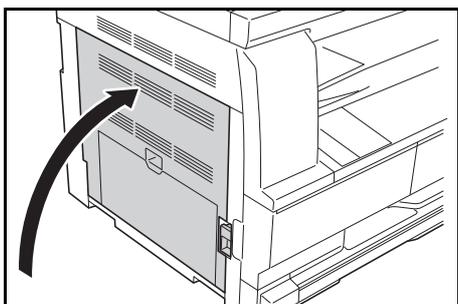
- 2 清掃ブラシ（青色）を取り外してください。



- 3 左カバー取手を引き上げ、左カバーを開けてください。



- 4 図のように、左の転写ローラ軸のギアを回して転写ローラを回転させながら、ブラシをローラに沿って左右に動かし、転写ローラの汚れを取り除いてください。



- 5 清掃ブラシを戻し、前カバーと、左カバーの指定の箇所を押して閉めてください。

トナーコンテナと廃棄トナーボックスの交換

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスの交換方法についてそれぞれ説明します。

トナーコンテナの交換時期について

操作パネルに「トナーを補給して下さい。」が表示されたときは、すぐにトナーコンテナを交換します。



注意：トナーコンテナは、火中に投げないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。

重要：トナーコンテナの交換の際には、フロッピーディスクなどを近くに置かないでください。

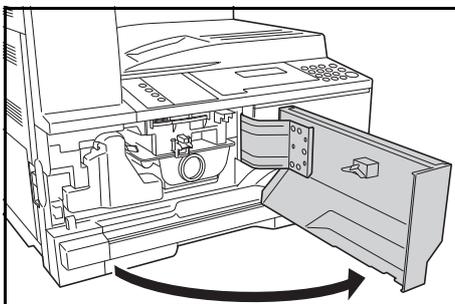
トナーコンテナの交換後は、本体内部の清掃を行ってください。詳しくは 8-2 ページの**清掃**を参照してください。

本機のトラブル防止や、末永く本機をご使用いただくため、純正トナーキットをご使用ください。純正トナーキット以外を使用した場合は、印字品質を損なうなどのトラブルの原因となります。

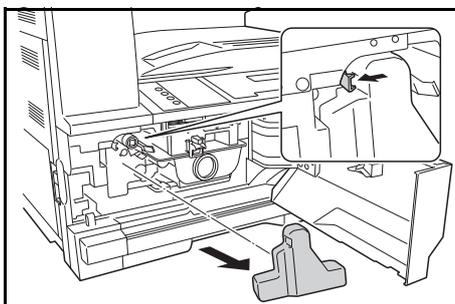
参考：本製品のトナーコンテナに装着されているメモリーチップは、お客様の利便性の向上、使用済みトナーコンテナ・リサイクルシステムの運用、および新製品の企画・開発のために必要な情報を収集・蓄積します。この収集・蓄積される情報には、特定の個人を識別することができる情報は含まれず、匿名情報のまま上記の目的に利用されます。

廃棄トナーボックスとトナーコンテナの取り外し

操作手順は次のとおりです。



1 前カバーを開けてください。

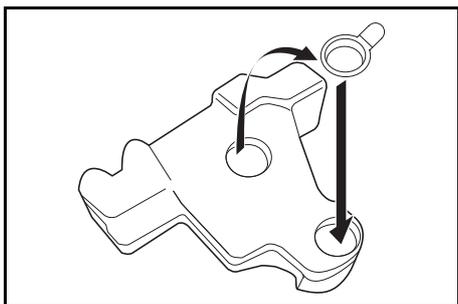


2 廃棄トナーボックスの押さえを左に押しながら廃棄トナーボックスを取り出してください。

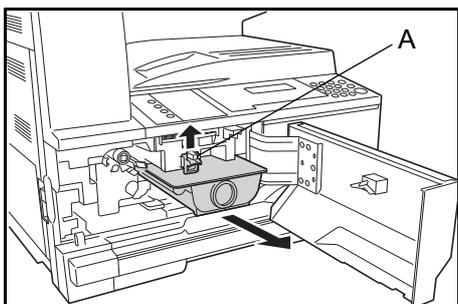


警告：本体内部の帯電部は高電圧です。感電のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

重要：取り出した古い廃棄トナーボックスは、逆さまにしないでください。



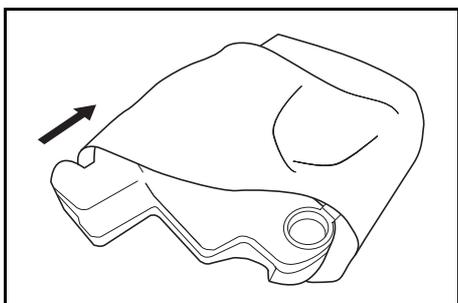
- 3 古い廃棄トナーボックスの真ん中に付いているキャップで開放口をふさいでください。



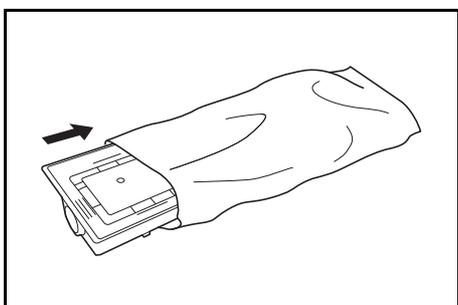
- 4 トナーコンテナ解除レバー A を引き上げたまま、トナーコンテナを引き出してください。

! 注意：トナーコンテナは、火中に投げないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。

! 注意：トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、無理に開けたり、壊したりしないでください。



- 5 古い廃棄トナーボックスを付属の廃棄用ポリ袋に入れてください。

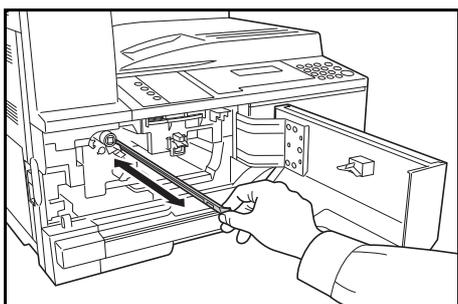


- 6 古いトナーコンテナを付属の廃棄用ポリ袋に入れてください。

続いて、チャージャワイヤと帯電部の清掃をしてください。

チャージャワイヤと帯電部の清掃

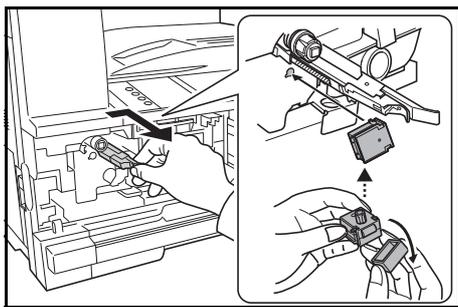
操作手順は次のとおりです。



- 1 クリーナー棒を持って、ゆっくり引き出せるところまで引き出し、もう一度押し込んでください。

この操作を2、3回繰り返してください。

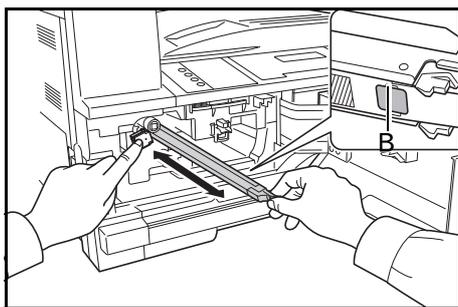
参考：クリーナー棒をむりやり引っ張ったり、引き抜いたりしないでください。



- 2 帯電部を右側に寄せながら 5cm 程度引き出してください。

付属のグリッドクリーナを袋から取り出し、キャップを外してから、切り欠きに合わせてグリッドクリーナを本体に取り付けてください。

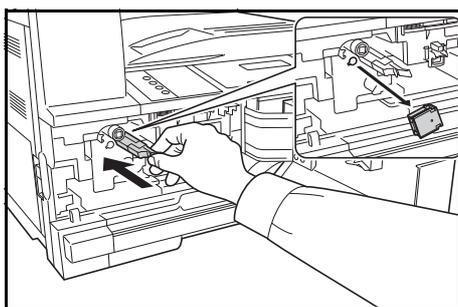
重要：グリッドクリーナを取り付ける際、本体とクリーナの間にすき間がないことを確認してください。



- 3 左手でグリッドクリーナを軽く押さえながら、帯電部を左側に寄せながら一杯に引き出し、グリッドクリーナの白いパッドに B が当たらない位置まで戻してください。

この操作を数回繰り返してください。

重要：帯電部を戻す際は、奥まで差し込まないでください。コピーに障害がでる原因になります。



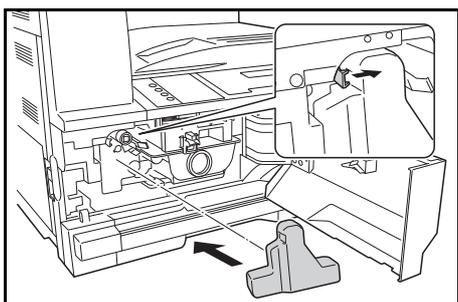
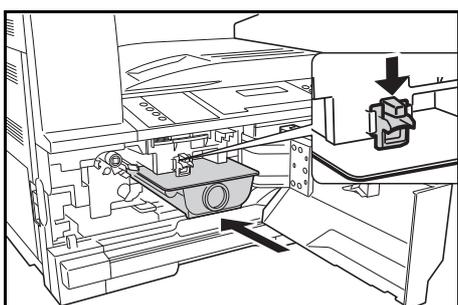
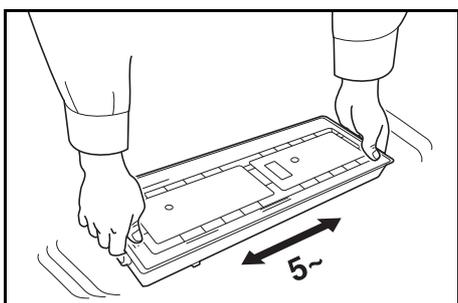
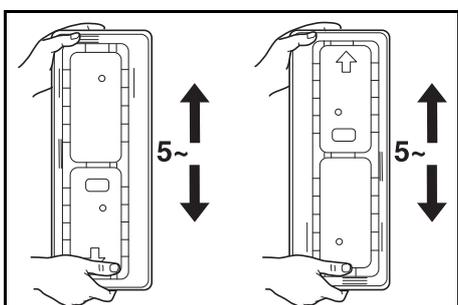
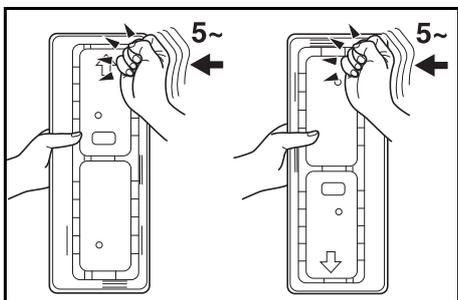
- 4 帯電部を 5 cm 程度引き出した状態でグリッドクリーナを外し、帯電部を奥まで押し込んでください。

重要：グリッドクリーナを使用して帯電部を清掃した後は、5 分以上待ってから使用してください。

続いて、新しいトナーコンテナと廃棄トナーボックスを本体に装着してください。

トナーコンテナと廃棄トナーボックスの装着

操作手順は次のとおりです。



1 新しいトナーコンテナをトナーキットから取り出してください。

2 トナーコンテナを縦に向けて、上部を5回以上たたいてください。

さらに上下を逆にして、上部を5回以上たたいてください。

3 トナーコンテナを縦方向に、5回以上振ってください。

さらに上下を逆にして、5回以上振ってください。

4 トナーコンテナを水平にして、5回以上振ってください。

5 新しいトナーコンテナを装着し、レバーが確実にロックされるまで両手で押し込んでください。

6 新しい廃棄トナーボックスを装着してください。

7 前カバーを閉めてください。

参考：使用后、不要となったトナーコンテナは、お買い上げの販売店または弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナは、再使用または再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

9 困ったときは

この章では、トラブルが発生した場合の対処方法を説明します。

- トラブルが発生した場合 ...9-2
- こんな表示が出たら ...9-5
- 紙づまりが発生したら ...9-10

トラブルが発生した場合

次の表は一般的なトラブルが発生した場合の対処方法をまとめたものです。

トラブルが発生した場合は、次のことをお調べください。それでもなおらない場合は、サービス担当者までご連絡ください。

トラブル内容	確認事項	処理方法	参照ページ
メインスイッチを ON にしても操作パネルに何も表示されない。	電源プラグがコンセントに接続されていますか。	電源プラグをコンセントに接続してください。	2-6 ページ
[スタート] キーを押してもコピーが出てこない。	操作パネルに表示が出ていませんか。	各表示に対する処理方法を確認して、適切な処理を行ってください。	9-5 ページ
コピーが写らない。	原稿が正しくセットされていますか。	原稿ガラスの上に原稿をセットするときは、原稿を下向きにし、原稿サイズ指示板に合わせてセットしてください。 オプションの原稿送り装置に原稿をセットするときは原稿を上向きにセットしてください。	4-2 ページ 2-20 ページ
コピーがうすい。	自動濃度モードですか。	全体的に濃度を変更するときは、自動濃度調整を行ってください。	4-3 ページ
	手動濃度モードですか。	[うすく] キーと [こく] キーで適正な位置にセットしてください。 全体的に濃度を変更するときは、各原稿モードで、手動濃度調整を行ってください。	4-3 ページ 4-3 ページ
	トナーコンテナ内でトナーが偏っていませんか。	トナーコンテナを 10 回程度左右に振ってください。	8-6 ページ
	エコプリントが設定されていませんか。	エコプリントの設定を「しない」にしてください。	4-18 ページ
	トナー補給のメッセージが表示されていませんか。	トナーコンテナを交換してください。	8-6 ページ
	用紙が湿っていませんか。 帯電部が汚れていませんか。	新しい用紙と交換してください。 前カバーを開いて、クリーナー棒で帯電部を清掃してください。	2-11 ページ 8-7 ページ
コピーがこい。	自動濃度モードですか。	全体的に濃度を変更するときは、自動濃度調整を行ってください。	4-3 ページ
	手動濃度モードですか。	[うすく] キーと [こく] キーで適正な位置にセットしてください。 全体的に濃度を変更するときは、各画質モードで、手動濃度調整を行ってください。	4-3 ページ 4-3 ページ
モアレ（網点が均等に配列されず斑紋が出る状態）が発生する。	原稿が印刷された写真ですか。	画質モードを写真にしてください。	4-4 ページ
コピーが鮮明でない。	原稿の種類に合った画質モードを選択していますか。	適切な画質モードを選択してください。	4-4 ページ
コピーが汚れている。	原稿ガラスや原稿押さえが汚れていませんか。	原稿ガラスや原稿押さえの清掃を行ってください。	8-2 ページ

トラブル内容	確認事項	処理方法	参照ページ
コピーがずれて写る。	原稿が正しくセットされていますか。	原稿ガラスに原稿をセットするときは原稿サイズ指示板に原稿を確実に合わせてください。	4-2 ページ
		オプションの原稿送り装置に原稿をセットするときは原稿挿入ガイドを確実に合わせてから原稿をセットしてください。	4-2 ページ
	用紙が正しくセットされていますか。	カセットの横ガイドの位置を確認してください。	2-12 ページ
紙づまりがたびたび起こる。	用紙がカセットに正しくセットされていますか。	用紙を正しくセットし直してください。用紙の種類や保管状態によっては、コピーされた用紙のカールがひどくなり、紙づまりの原因となる場合があります。用紙を一度取り出し、裏返してからセットし直してください。	2-12 ページ —
	用紙がカールしたり、折れやしわがありませんか。	新しい用紙に交換してください。	2-11 ページ
	つまった用紙や紙片が機械内部に残っていませんか。	適切な方法で取り除いてください。	9-10 ページ
	手差しトレイに実際にセットされている用紙サイズと、設定されている手差しトレイのサイズが異なっていませんか。	手差しトレイに実際にセットされている用紙サイズと、設定されている手差しトレイのサイズを合わせてください。	2-14 ページ
オプションの原稿送り装置使用時にコピーに黒いすじが写る。	スリットガラスが汚れていませんか。	スリットガラスの清掃を行ってください。	8-2 ページ
		黒筋軽減処理を設定すると黒すじが発生した場合には、黒すじをめだたなくすることができます。	6-11 ページ
コピーにしわがでる。	分離針が汚れていませんか。	分離針の清掃を行ってください。	8-3 ページ
コピーにたての白すじまたは黒すじがでる。	帯電部が汚れていませんか。	前カバーを開いて、クリーナー棒で清掃してください。	8-7 ページ
コピーに白点がでる。	転写ローラが汚れていませんか。	清掃ブラシで転写ローラを清掃してください。	8-4 ページ

困ったときは

トラブル内容	確認事項	処理方法	参照ページ
印刷できない。	電源プラグがコンセントに接続されていますか。	電源プラグをコンセントに接続してください。	2-6 ページ
	本体側に電源が入っていますか。	メインスイッチを ON () にしてください。	—
	正しいプリンタケーブルが確実に接続されていますか。	プリンタケーブルを確実に接続してください。	2-5 ページ
	本機の電源を入れた後にプリンタケーブルを接続しませんでしたか。	プリンタケーブルを接続してから本機の電源を入れてください。	2-5 ページ
	オフライン状態になっていませんか。(印刷可表示が消灯していませんか)	<ol style="list-style-type: none"> 1 [プリンタ] キーを押し、プリンタ基本画面を表示させてください。 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、[印刷可 / 解除] を選択してください。 3 [エンター] キーを押してください。印刷可表示が点灯します。 	—
正しい文字がでない。	正しいプリンタケーブルが接続されていますか。	シールドタイプのプリンタケーブルを接続してください。	2-5 ページ
正しく印刷されない。	コンピュータ側での設定は正しいですか。	プリンタドライバまたはアプリケーションソフト側の設定を確認してください。	—

こんな表示が出たら

メッセージ表示に下表のようなメッセージが出たときは、処理方法にしたがって作業してください。

表示	処理方法	参照ページ
〇〇カバーを閉じて下さい	表示されているカバーが開いています。 確実に閉めてください。	—
用紙を補給して下さい	用紙がなくなりました。 新しい用紙を補充してください。	2-11 ページ
用紙を補給して下さい ○用紙 (〇〇〇)	印刷データとカセットにセットされている用紙サイズまたは用紙種類が一致しません。用紙を入れ替えてください。 <ul style="list-style-type: none"> 給紙段を変更するときは、[用紙選択] で給紙段を選択し、[エンター] キーを押してください。 [プリンタ] を押すと、次のメッセージが表示されます。 「印刷可 / 解除」: そのままセットされている用紙で印刷します。 「キャンセル」: 印刷をキャンセルします。 [▲] または [▼] を押して、処理方法を選択し、[エンター] キーを押してください。 	—
カセットをセットして下さい	カセットがしっかりセットされていません。 一度引き出してしっかり押し込んでください。	—
適当な用紙がありません	設定されたモードで使用できるサイズの用紙がありません。 用紙を確認してください。	—
原稿と用紙の向きが違います	選択した用紙の方向が原稿の向きと違います。 原稿のセット方向を変えてください。そのまま [スタート] キーを押すと等倍でコピーします。	—
制限枚数終了の為コピーできません	部門管理モードで設定されている制限枚数に達したため、これ以上のコピーができません。 部門管理モードでコピーカウントをクリアしてください。	7-10 ページ
トナーコンテナをセットして下さい	トナーコンテナが正しくセットされていません。 トナーコンテナを正しくセットしてください。	8-6 ページ
トナーコンテナを振ってください	トナーコンテナ内のトナーが均一にかくはんされていません。 トナーコンテナをたたき、振ってから、再度装着してください。その際、トナー補給口からトナーが吹き出さないよう注意してください。	8-6 ページ
コピーできません トナーが残り少なくなりました	機内にトナーが不足しています。 交換するトナーコンテナを準備してください。	8-6 ページ
トナーを補給して下さい コピーできません	トナーがありません。 トナーコンテナを交換してトナーを補給してください。	8-6 ページ
廃棄トナーボックスを交換して下さい	廃棄トナーボックスがいっぱいです。 新しい廃棄トナーボックスに交換してください。	8-6 ページ
原稿カバーを開け、スリットガラスを清掃して下さい	スリットガラスが汚れています。 オプションの原稿送り装置使用時に、コピーに黒ずじなどの汚れが写る原因になりますので、スリットガラスを清掃してください。	8-2 ページ

表示	処理方法	参照ページ
サービス担当者に電話して下さい	前カバーを一度開閉してください。再度表示が出たときは「C」と数字を確認してください。メインスイッチをOFF (○) にしてサービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。	—
定期点検の時期です	機械を良好に保つために定期点検が必要です。	—
定期点検間近です	ただちにサービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。	—
メモリーオーバー	<p>コピーの空きメモリが無くなったか、または原稿制限枚数 999 ページに達したため、現在のコピーを処理できません。</p> <p>読み込みが終了しているページまでを一旦出力する（「コピーする」）か、読み込まれたデータを消去する（「中止する」）か選択してください。どちらかが選択されるまでは、別のコピーや読み込みはできません。</p> <p>コピーの設定条件によって、コピーを複数部設定していても1部だけを出力して、このエラーメッセージを表示する場合があります。この場合はコピーを継続することができませんので [エンター] を押して、再度コピーの操作を行ってください。</p> <p>このエラーが頻繁に発生する場合は、メモリを増設することをお勧めいたします。</p>	—
	<p>プリンタの空きメモリが無くなったため、現在の印刷を処理できません。</p> <p>[プリンタ] キーを押すと次のメッセージが表示されます。 「印刷可 / 解除」：印刷を継続します。処理されているところまでを出力し、残りを次のページに印刷します。 「キャンセル」：印刷をキャンセルします。 「リセット」：プリンタボードを再起動します。この場合はプリンタ機能だけがリセットされます。 [▲] または [▼] を押して、処理方法を選択し、[エンター] キーを押してください。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> RAM ディスク機能を使用している場合は RAM ディスクのサイズを下げてください。頻繁に発生する場合は、プリンタのメモリを増設することをお勧めいたします。プリンタのメモリ増設については、サービス担当者またはサービス実施店にご相談ください。詳細は 5-39 ページの RAM ディスクの設定を参照してください。 自動継続を「On」に設定している場合は、設定時間が経過すると自動的に印刷を継続します。 	—
紙づまりです	<p>紙づまりが発生しています。</p> <p>紙づまり位置がメッセージ表示に表示され、機械が停止します。メインスイッチは ON () のまま手順に従い取り除いてください。</p>	9-10 ページ
原稿をセットし直して下さい	オプションの原稿送り装置の原稿を取り除いて、全ての原稿を原稿テーブルに戻し、コピーを再開してください。	—
原稿送り装置で紙づまりです 原稿を取り除いて下さい	<p>オプションの原稿送り装置で原稿がつかまっています。</p> <p>メインスイッチは ON () のまま、手順に従い取り除いてください。</p>	9-16 ページ

表示	処理方法	参照ページ
本体排出の用紙を取り除き スタートキーを押して下さい	コピー時に、排紙トレイの収納可能枚数を超過しています。 <ul style="list-style-type: none"> 排紙トレイに用紙が 250 枚収納されています。 オプションのジョブセパレータが装着されているときに、排紙トレイに用紙が 150 枚収納されています。 オプションのフィニッシャが装着されているときに、排紙トレイに用紙が 100 枚収納されています。 用紙を取り除いてください。	—
本体排出の用紙を取り除き 解除を押して下さい	印刷時に、排紙トレイの収納可能枚数を超過しています。 <ul style="list-style-type: none"> 排紙トレイに用紙が 250 枚収納されています。 オプションのジョブセパレータが装着されているときに、排紙トレイに用紙が 150 枚収納されています。 オプションのフィニッシャが装着されているときに、排紙トレイに用紙が 100 枚収納されています。 用紙を取り除いてください。 [プリンタ] を押してください。[▲] または [▼] を押して、「印刷可 / 解除」を選択し、[エンター] キーを押してください。印刷を継続します。 参考 印刷をキャンセルする場合は、「キャンセル」を選択し、[エンター] キーを押してください。	—
フィニッシャの用紙を取り除き スタートキーを押して下さい	コピー時に、オプションのフィニッシャ上に用紙が 250 枚以上収納されています。 用紙を取り除いてください。	—
フィニッシャの用紙を取り除き 解除を押して下さい	印刷時に、オプションのフィニッシャ上に用紙が 250 枚以上収納されています。 用紙を取り除いてください。 [プリンタ] キーを押してください。[▲] または [▼] を押して、「印刷可 / 解除」を選択し、[エンター] キーを押してください。印刷を継続します。 参考 印刷をキャンセルする場合は、「キャンセル」を選択し、[エンター] キーを押してください。	—
用紙を取り除いて下さい ジョブセパレータ用紙オーバーです	オプションのジョブセパレータ上に用紙が 100 枚収納されています。 用紙を取り除いてください。	—
フィニッシャで紙づまりです 処理トレイを下げ 用紙を取り除いて下さい	オプションのフィニッシャの内部で紙づまりです。 用紙を取り除いてください。	9-17 ページ
ステープルの針がありません 針をセットして下さい	オプションのフィニッシャの針がありません。 針を補給してください。	—
このサイズは ステープルできません	A5R や B5R などの小サイズにはステープルができません。	—

困ったときは

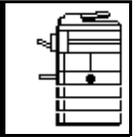
表示	処理方法	参照ページ
システムエラーです 主電源を OFF/ON して下さい	ノイズなどによる誤動作が起こった場合や、プリンタなどの機能を使用時に通信異常が発生した場合に表示されます。 以下の手順に従って処理してください。 1 メインスイッチを OFF (○) にしてください。プリンタ出力を行っている場合は、コンピュータ側で印刷をキャンセルしてください。 2 5 秒以上待ってから再び ON () にしてください。エラーが解除されます。プリンタの出力を行っていた場合は、再度出力を行ってください。	—
RAM ディスクエラー 解除を押して下さい	RAM ディスクの書き込みまたは読み込みでエラーが発生しています。 [プリンタ] キーを押してから「印刷可 / 解除」を選択し、[エンター] キーを押してください。エラーが解除されます。	—
メモ리카ードエラー 解除を押して下さい	メモ리카ードの書き込みまたは読み込みでエラーが発生しています。 [プリンタ] キーを押してから「印刷可 / 解除」を選択し、[エンター] キーを押してください。エラーが解除されます。	—
メモ리카ードエラー カードが抜かれました	プリンタ設定中にメモ리카ードが抜かれました。 メモ리카ードを挿入してください。 参考 メモ리카ードを挿入するときは、メインスイッチを OFF (○) にしてください。	—
同じメモ리카ードを差して下さい	メモ리카ードよりデータを読み込む際に、メモ리카ードを認識できませんでした。 再度メモ리카ードを挿入してください。 参考 メモ리카ードを挿入するときは、メインスイッチを OFF (○) にしてください。	—
メモ리카ードのフォーマットをして 下さい	挿入されたメモ리카ードは初期化が必要です。 メモ리카ードを初期化してください。	—
プリントオーバーラン 解除を押して下さい	メモリ不足のため、正常に印刷できませんでした。 [プリンタ] キーを押すと次のメッセージが表示されます。 「印刷可 / 解除」：印刷を継続します。 「キャンセル」：印刷をキャンセルします。 「リセット」：プリンタボードを再起動します。この場合はプリンタ機能だけがリセットされます。 [▲] または [▼] を押して、処理方法を選択し、[エンター] キーを押してください。 参考 ・ 自動継続を「On」に設定している場合は、設定時間が経過すると自動的に印刷を継続します。 ・ このエラーメッセージが表示された後、ページ保護モードが自動的に保護になります。	—
インターフェース使用中です	選択したインターフェースは現在使用中です。しばらく待って再度操作を行ってください。	—

表示	処理方法	参照ページ
チェックサムエラーです	起動時にエラーを検出しました。 メインスイッチを OFF/ON してください。同じメッセージが表示される場合は、サービス担当者またはサービス実施店までご連絡ください。	—

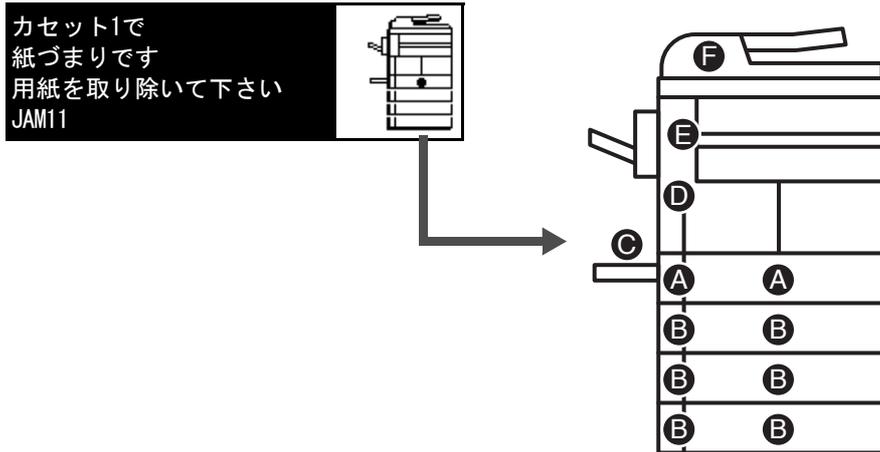
紙づまりが発生したら

紙づまりが発生した場合は、出力を停止します。この時、メッセージ表示には紙づまりを知らせるエラーメッセージとともに、紙づまり位置表示が表示されます。メインスイッチはON (|) のまま、用紙を取り除いてください。

カセット1で
紙づまりです
用紙を取り除いて下さい
JAM11



紙づまり位置表示



位置表示	紙づまりの位置	紙づまり番号	参照ページ
A	カセット1での紙づまり	JAM11、JAM21	9-11 ページ
B	カセット2～4での紙づまり	JAM12、JAM13、JAM14、 JAM15、JAM16、JAM22、 JAM23、JAM24	9-12 ページ
C	手差しトレイでの紙づまり	JAM10、JAM20	9-13 ページ
D	左カバー内部での紙づまり	JAM30、JAM40、JAM41、 JAM42、JAM43、JAM44、 JAM45、JAM60、JAM61	9-14 ページ
E	排出口での紙づまり	JAM50、JAM52、JAM53、 JAM54、JAM55、JAM56、 JAM57	9-15 ページ
	フィニッシャ (オプション) での紙づまり	JAM80、JAM81、JAM83、JAM84	9-17 ページ
	ジョブセパレータ (オプション) での紙づまり	JAM51	9-19 ページ
F	原稿送り装置 (オプション) での紙づまり	JAM70、JAM71、JAM72、 JAM73、JAM74、JAM75、 JAM78	9-16 ページ

18 枚機ではカセット2～4が、22 枚機ではカセット3、4がオプションのペーパーフィーダのカセットです。

注意事項



警告：本製品本体内部の帯電部は高電圧です。感電のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。



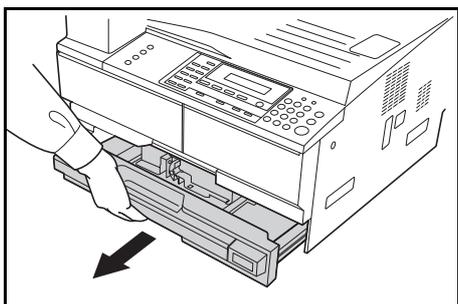
注意：本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り除くときに用紙が破れた場合、紙片を機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。
- 紙づまり処理が終了すると、ウォームアップが開始されます。エラーメッセージが消え、紙づまり前の状態にセットし直されます。

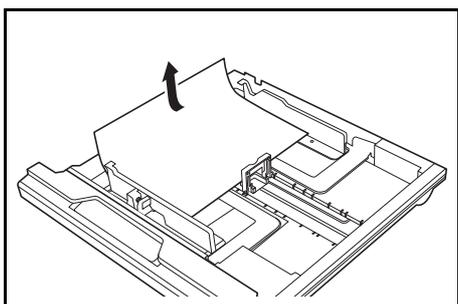
カセット 1

「カセット1で 紙づまりです 用紙を取り除いて下さい」が表示され、紙づまり位置表示が図の位置で点滅しているときは、カセットで紙づまりが発生しています。以下の手順で取り除いてください。

カセット1で
紙づまりです
用紙を取り除いて下さい
JAM11



- 1 カセットを引き出してください。



- 2 つまっている用紙があれば破らないように取り出してください。

参考：用紙が破れた場合は、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。

- 3 カセットを元どおりしっかり押し込んでください。

参考：カセットの爪から用紙が外れていないか確認してください。外れていたら再度セットしてください。

「JAM21」が表示された場合は、9-12 ページの左カバー内部での紙づまりを参照して用紙を取り除いてください。

カセット 2～4

「カセット 2 (～4) で 紙づまりです 用紙を取り除いて下さい」、「紙づまりです カセット 2 (～4) 左カバーを開けて 用紙を取り除いて下さい」が表示され、紙づまり位置表示が図の位置で点滅しているときは、オプションのペーパーフィーダで紙づまりが発生しています。以下の手順で取り除いてください。

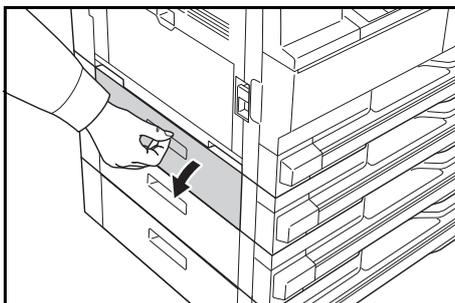
カセット2で
紙づまりです
用紙を取り除いて下さい
JAM12



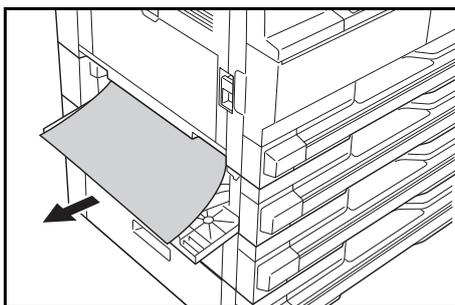
紙づまりです
カセット2 左カバーを開けて
用紙を取り除いて下さい
JAM15



参考：18 枚機ではカセット 2～4 が、22 枚機ではカセット 3、4 がオプションのペーパーフィーダのカセットです。

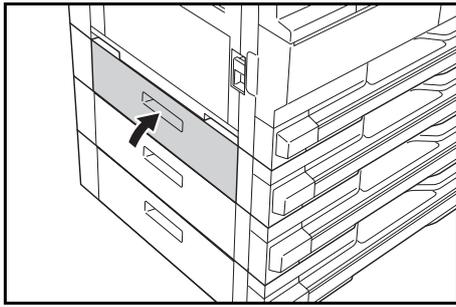


1 使用しているカセットの左カバーを開けてください。

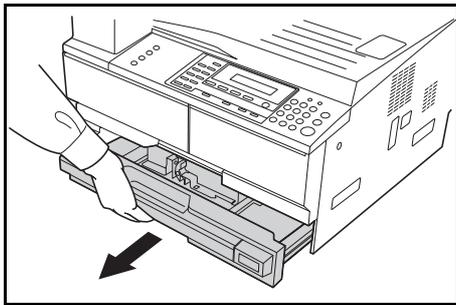


2 つまっている用紙があれば破らないように取り出してください。

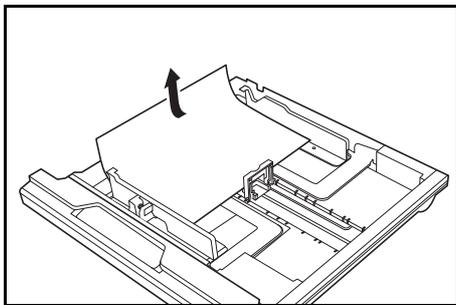
参考：用紙が破れた場合は、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。



3 カセットの左カバーを閉じてください。



4 カセットを引き出してください。



5 つまっている用紙があれば、破らないように取り出してください。

参考：用紙が破れた場合は、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。

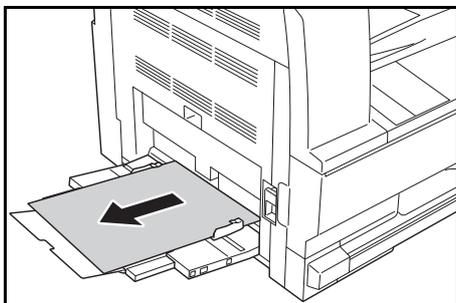
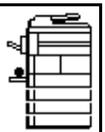
6 カセットを元どおりゆっくり押し込んでください。

手差しトレイ (JAM10)

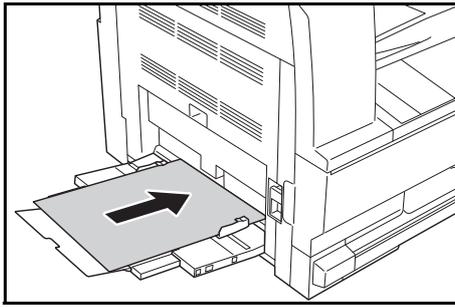
「手差しで紙づまりです 用紙を取り除いて下さい」が表示され、紙づまり位置表示が図の位置で点滅しているときは、手差しトレイで紙づまりが発生しています。以下の手順で取り除いてください。

手差しで紙づまりです
用紙を取り除いて下さい

JAM10



1 手差しトレイの用紙をすべて取り出してください。



- 2 手差しトレイに用紙をセットし直してください。エラーメッセージが消えます。

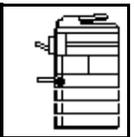
手差しトレイ (JAM10 以外)

重要: 「JAM20」が表示された場合は、左カバー内部での紙づまりを参照して用紙を取り除いてください。「JAM40」が表示された場合は、左カバー内部での紙づまりを参照して用紙を取り除いてください。つまった用紙を取り除く場合は手差しトレイ側から引き出さないようにしてください。

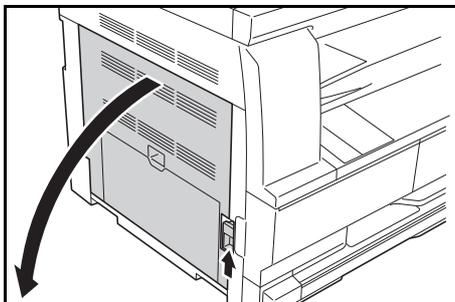
左カバー内部

「紙づまりです 本体左カバーを開けて 用紙を取り除いて下さい」が表示され、紙づまり位置表示が図の位置で点滅しているときは、左カバー内部で紙づまりが発生しています。以下の手順で取り除いてください。

紙づまりです
本体左カバーを開けて
用紙を取り除いて下さい
JAM30



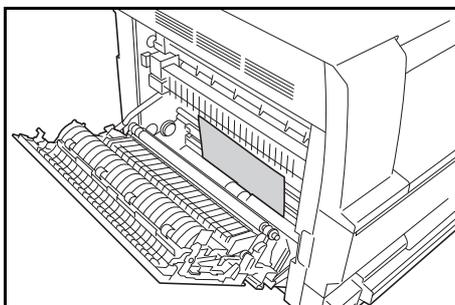
注意: 本体内部のドラム部分は、傷や汚れに敏感です。用紙を取り除く際に、手を触れたり、時計や指輪などを当てないようにご注意ください。



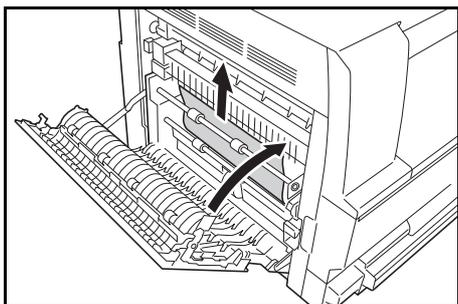
- 1 左カバー取手を引き上げ、左カバーを開けてください。



注意: 本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。



- 2 つまっている用紙を破らないように取り出してください。



- 3 オプションの両面ユニットを装着している場合は、両面ユニットを上げ、用紙を取り除いてください。

参考：用紙が破れた場合は、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。

- 4 左カバーを閉じてください。

排出口

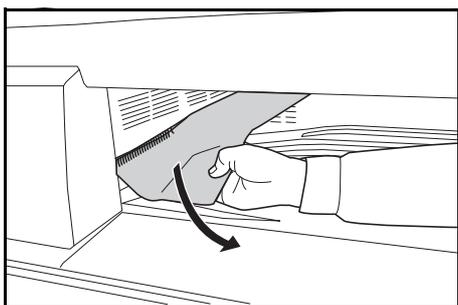
「排出口で紙づまりです 用紙を取り除いて下さい」が表示され、紙づまり位置表示が図の位置で点滅しているときは、排出口で紙づまりが発生しています。以下の手順で取り除いてください。

排出口で紙づまりです
用紙を取り除いて下さい

JAM50

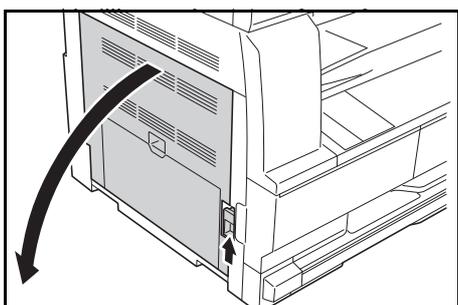


注意：本体内部のドラム部分は、傷や汚れに敏感です。用紙を取り除く際に、手を触れたり、時計や指輪などを当てないようにご注意ください。

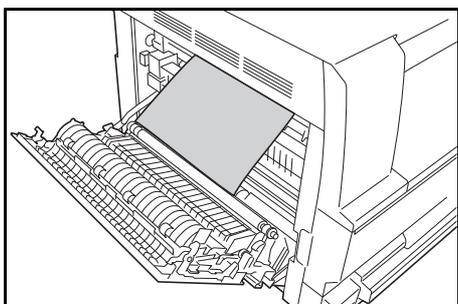


- 1 排出口からつまっている用紙が見える場合は、手前に引いて取り除いてください。

参考：用紙が破れた場合は、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。



- 2 左カバー取手を引き上げ、左カバーを開けてください。



- 3 つまっている用紙を破らないように取り出してください。

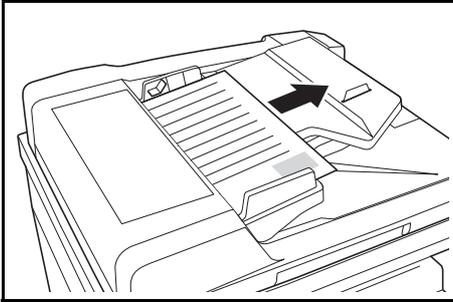
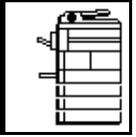
参考：用紙が破れた場合は、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。

- 4 左カバーを閉じてください。

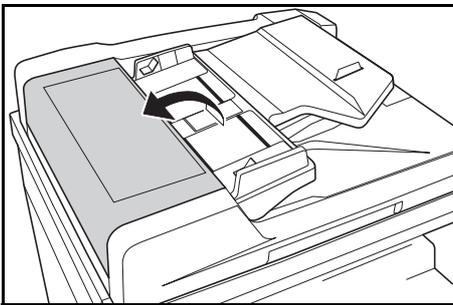
原稿送り装置（オプション）

「原稿送り装置で 紙づまりです 原稿を取り除いて下さい」が表示され、紙づまり位置表示が図の位置で点滅しているときは、オプションの原稿送り装置で紙づまりが発生しています。以下の手順で取り除いてください。

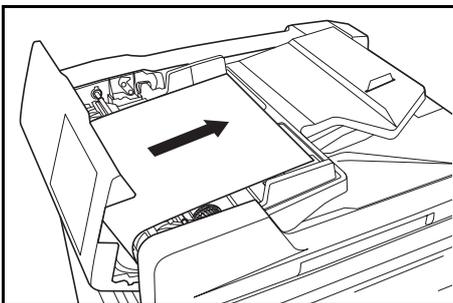
原稿送り装置で
紙づまりです
用紙を取り除いて下さい
JAM70



- 1 原稿テーブルに原稿があれば取り除いてください。

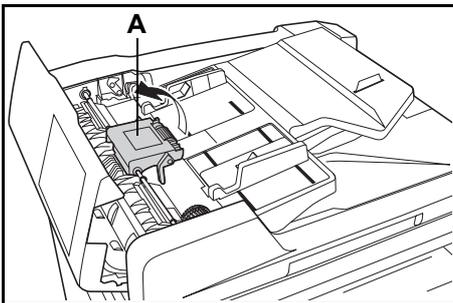


- 2 左カバーを開けてください。



- 3 つまっている原稿があれば、破らないように取り出してください。

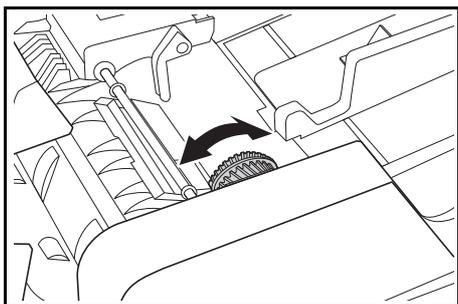
参考：原稿が破れた場合は、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。紙づまりが再発する原因になります。



- 4 給紙ユニット A を持ち上げてください。

- 5 つまっている原稿があれば、破らないように取り出してください。

参考：原稿が破れた場合は、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。



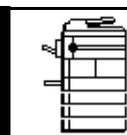
- 6 図のようにダイヤルを回して原稿を取り除いてください。

- 7 左カバーを元どおりに閉じてください。
すべての原稿を再セットしてコピーを再開してください。

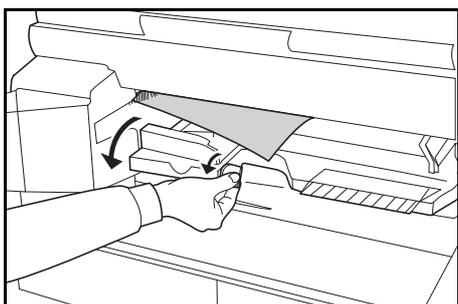
フィニッシャ (オプション)

「フィニッシャで紙づまりです 処理トレイを下げ 用紙を取り除いて下さい」が表示され、紙づまり位置表示が図の位置で点滅しているときは、オプションのフィニッシャで紙づまりが発生しています。以下の手順で取り除いてください。

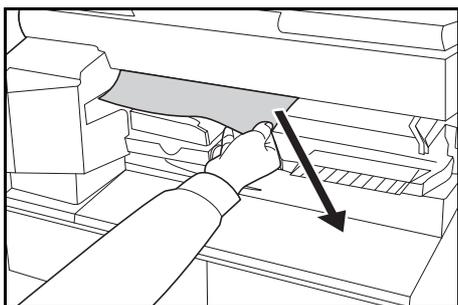
フィニッシャで紙づまりです
処理トレイを下げ
用紙を取り除いて下さい
JAM80



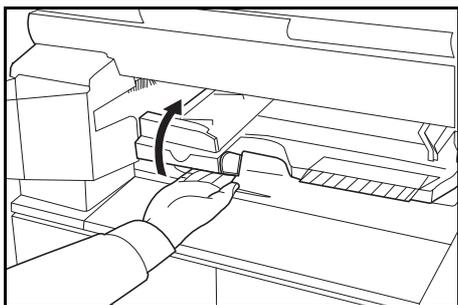
! 注意：本体内部のドラム部分は、傷や汚れに敏感です。用紙を取り除く際に、手を触れたり、時計や指輪などを当てないようにご注意ください。



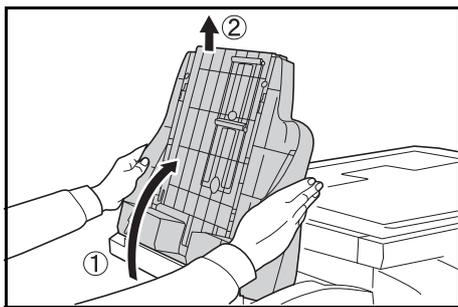
- 1 レバーをまわして、処理トレイを下げてください。



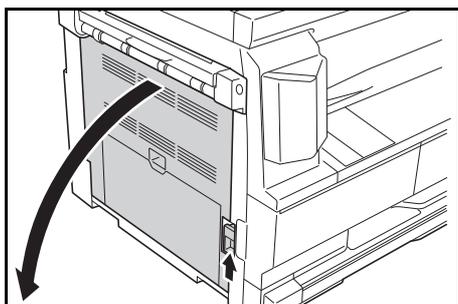
- 2 用紙があれば取り除いてください。



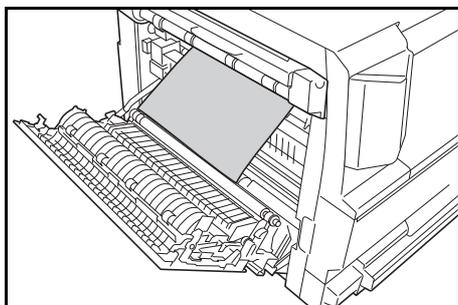
- 3 処理トレイを上げてください。



4 フィニッシュトレイを取り外してください。

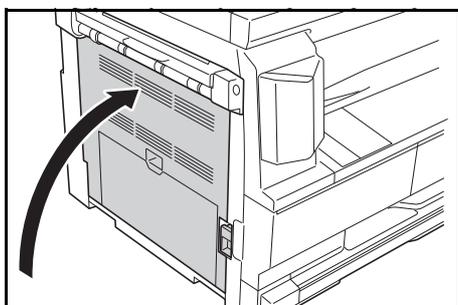


5 左カバー取手を引き上げ、左カバーを開けてください。

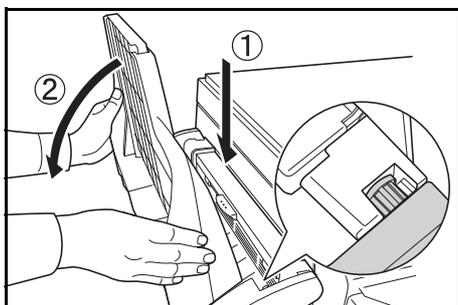


6 用紙を取り除いてください。

参考：原稿が破れた場合は、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。



7 左カバーを閉じてください。

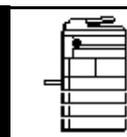


8 フィニッシュトレイを取り付けてください。

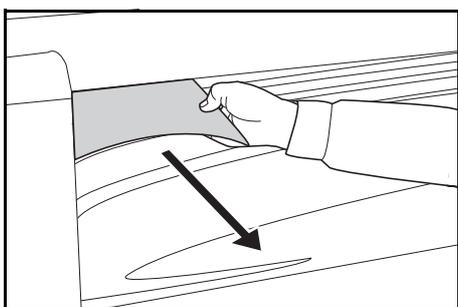
ジョブセパレータ（オプション）

「ジョブセパレータで 紙づまりです 用紙を取り除いて下さい」が表示され、紙づまり位置表示が図の位置で点滅しているときは、オプションのジョブセパレータで紙づまりが発生しています。以下の手順で取り除いてください。

ジョブセパレータで
紙づまりです
用紙を取り除いて下さい
JAM51

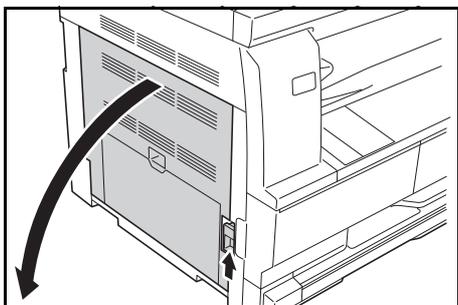


注意：本体内部のドラム部分は、傷や汚れに敏感です。用紙を取り除く際に、手を触れたり、時計や指輪などを当てないようにご注意ください。

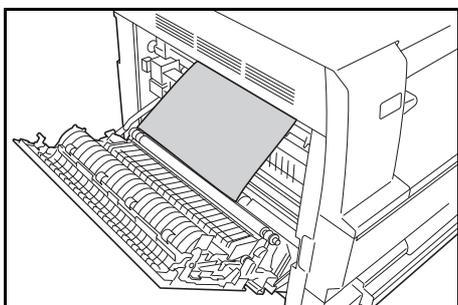


- 1 ジョブセパレータ排出口からつまっている用紙が見える場合は、手前に引いて取り除いてください。

参考：原稿が破れた場合は、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。



- 2 左カバー取手を引き上げ、左カバーを開けてください。



- 3 つまっている用紙を破らないように取り出してください。

参考：原稿が破れた場合は、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。

- 4 左カバーを閉じてください。

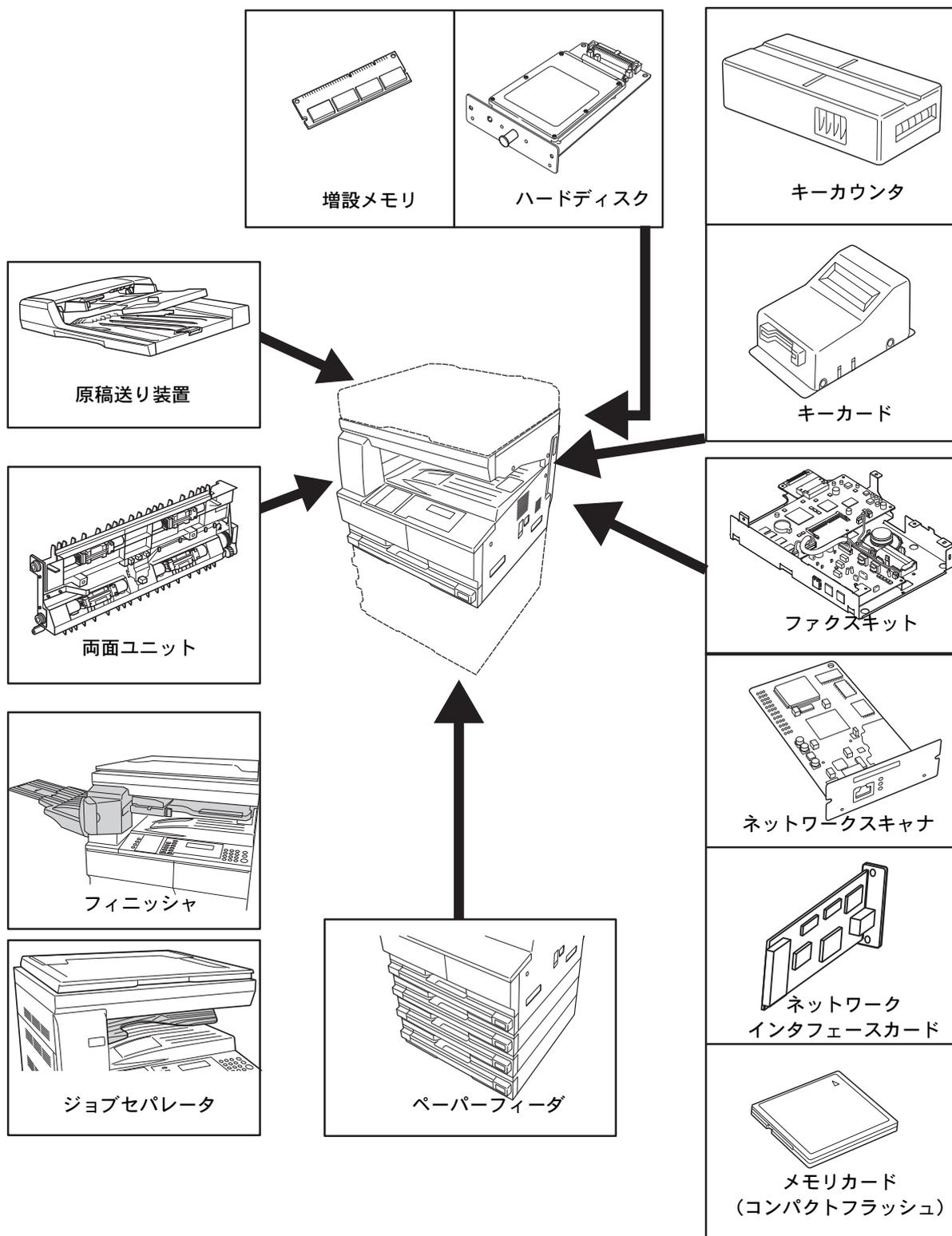
付録

- オプションについて ... 付録 -2 ページ
- 用紙について ... 付録 -9 ページ
- 仕様 ... 付録 -18 ページ
- 製品の保守サービスについて ... 付録 -23 ページ
- 契約書について ... 付録 -23 ページ
- 補修用性能部品について ... 付録 -24 ページ
- 廃棄について ... 付録 -24 ページ
- 用語集 ... 付録 -25 ページ

オプションについて

オプション構成

本機では、次のオプションが使用できます。

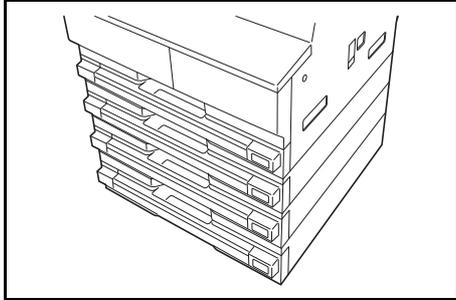


原稿送り装置

自動的に原稿を読み取る装置です。また、両面コピーや分割コピーも行うことができます。

詳細は、2-20 ページの原稿送り装置への原稿のセットを参照してください。

ペーパーフィーダ



本体のカセットに加えて、ペーパーフィーダ（300枚収納カセット）を使用できます。用紙のセットのしかたは本体標準のカセットと同じです。紙づまりが発生したときに用紙を取り除くための左カバーがあります。

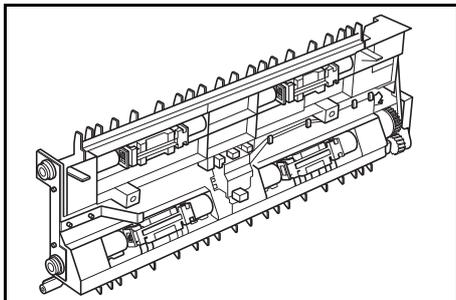
セットできる用紙サイズ：A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、Folio、11"×17"、8 1/2"×14"、11"×8 1/2"、8 1/2"×11"、5 1/2"×8 1/2"、8 1/2"×13"、8K、16K

注意：本機を持ち上げて運ぶ際は、必ずペーパーフィーダを外してください。

参考：紙づまりが発生したときに用紙を取り除くために、ペーパーフィーダの左側に左カバーがあります。18枚機は3段まで、22枚機は2段まで追加できます。

付録

両面ユニット



両面ユニットを装着すると、両面コピーをとることができます。A3～A5R、Folio、11"×17"～5 1/2"×8 1/2"、8K、16K、16KR（64～80 g/m²）の用紙で両面コピーをとることができます。

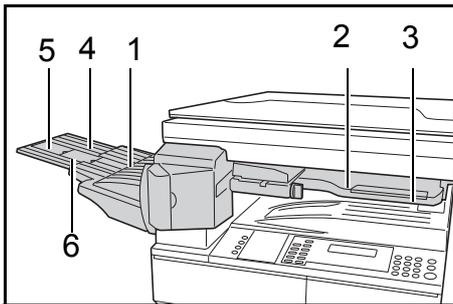
ドキュメントフィニッシャ

大量の出力紙を収納し、かつ多部数の出力紙を1部ずつシフトして仕分けすることができる装置です。仕分けした出力紙にステープルすることもできます。

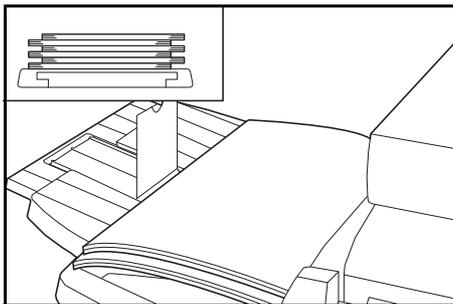
フィニッシャに収納できる枚数とステープルの仕様は次のとおりです。

収納制限枚数とサイズ	
ノンステープル時	500 枚 (A4、11" × 8 1/2"、B5) 250 枚 (A3、B4、Folio、11" × 17"、8 1/2" × 14"、8 1/2" × 13")
ステープル時 (80 g/m ² 以下)	2 ~ 4 枚ステープル：130 枚 5 枚以上ステープル：250 枚
ステープル制限枚数	30 枚 (A4、11" × 8 1/2"、B5) 20 枚 (A3、B4、Folio、11" × 17"、8 1/2" × 14"、8 1/2" × 13")

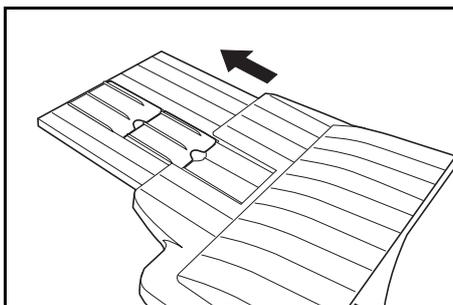
各部の名称



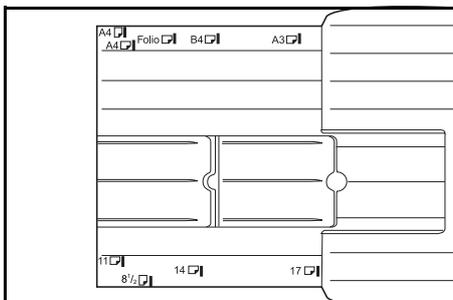
- 1 フィニッシャトレイ
- 2 処理トレイ
- 3 フィニッシャ補助トレイ
- 4 排紙補助トレイ
- 5 排紙ガイド1
- 6 排紙ガイド2



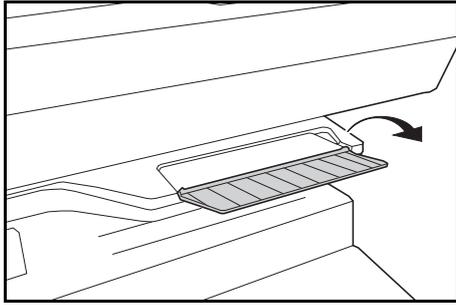
参考：ソートされたコピーは、フィニッシャトレイに排出されます。



参考：用紙サイズに合わせて排紙補助トレイを調節してください。

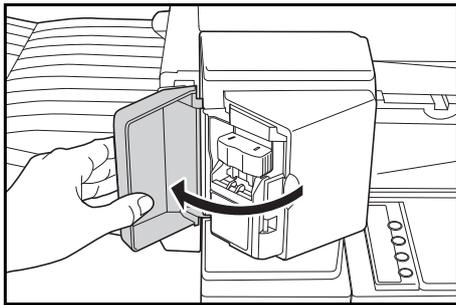


参考：用紙サイズは排紙補助トレイに刻印されています。用紙サイズにあわせて排紙ガイド 1、2 を開いてください。

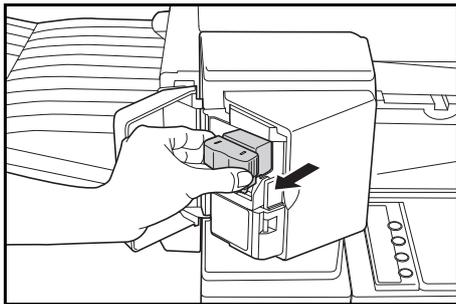


参考：A3、B4 の用紙にステープルするときは、用紙が落ちないようにフィニッシャ補助トレイを開いてください。

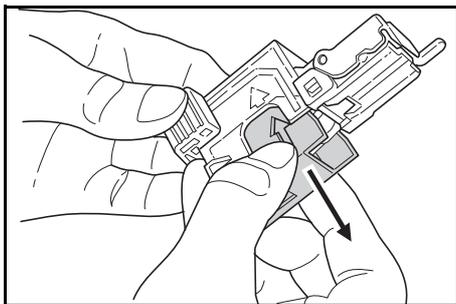
ステープル針の補給のしかた



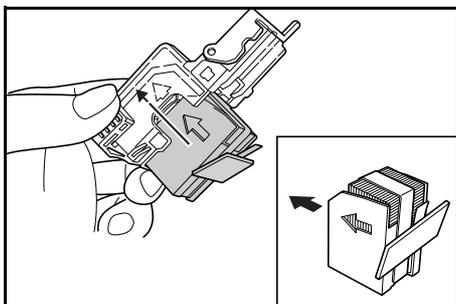
1 ステープラ前カバーを手前に開けてください。



2 ステープルホルダを引き出してください。

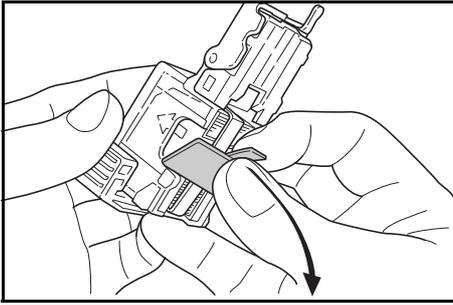


3 ステープルホルダから空の針ケースを取り出してください。

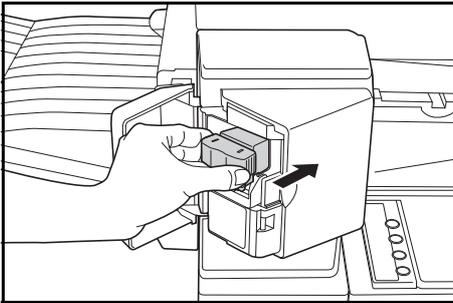


4 片手にステープルホルダ、もう片方の手に新しい針ケースを持ち、向きに注意して針ケースをステープルホルダに挿入してください。

参考：針ケースの矢印は挿入方向を示しています。



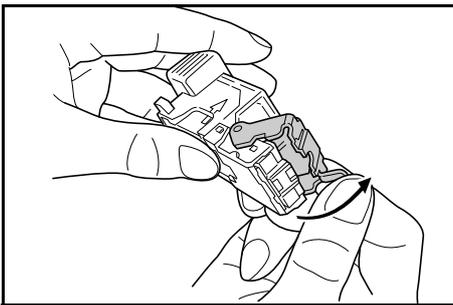
- 5** 挿入した針ケースを完全に奥まで押し込み、針ケースに巻かれている紙テープを引っばって取り除いてください。



- 6** ステープルホルダを差し込み口に元どおり挿入してください。完全に挿入されると、カチッとロックのかかる音がします。

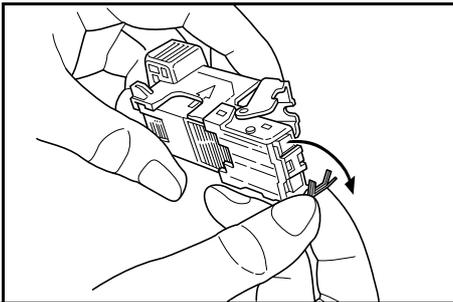
- 7** ステープラ前カバーを閉じてください。

針づまりの解除のしかた

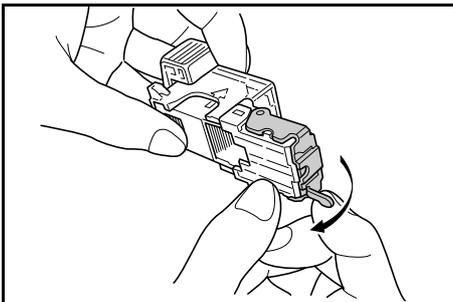


- 1** ステープル針の補給のしかたと同様にしてステープルホルダを取り出してください。

ステープルホルダのフェースプレートのつまみ A に指をかけて、プレートを上げてください。



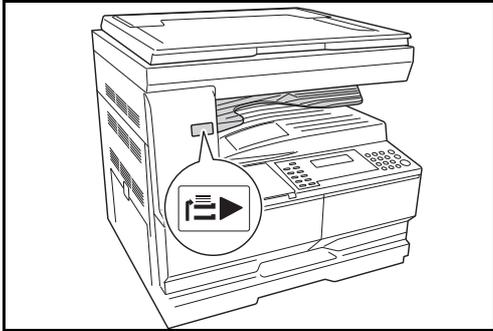
- 2** 先端（針がセットされている側）でつまっている針を取り除いてください。



- 3** ステープルホルダのフェースプレートを元どおりにおろしてください。

- 4 ステープルホルダを差し込み口に元どおり挿入してください。完全に挿入されると、カチッとロックのかかる音がします。
- 5 ステープラ前カバーを閉めてください。

ジョブセパレータ

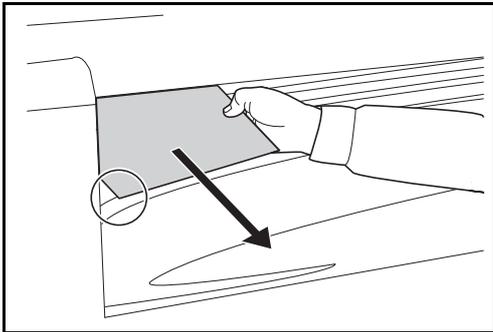


用紙の排出先を区分して、仕分けをしやすくする装置です。コピーは排紙トレイに、プリンタの出力はジョブセパレータに排出します。また、排出先を指定することができます。

本体前面に、ジョブセパレータに用紙があることを示す用紙表示があります。

注意：使用する用紙の種類によっては、用紙のカールにより排出部で紙づまりが発生する場合がありますのでご注意ください。

排出された用紙がそったり、揃わない時は、カセットの用紙を裏返してセットし直してください。



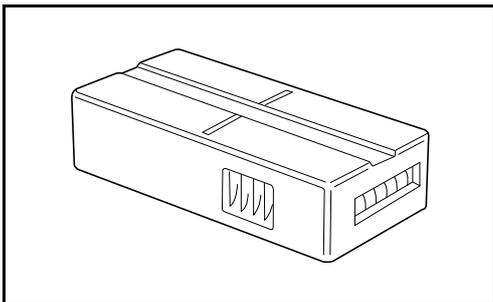
参考：・用紙をジョブセパレータに排出するためには、排紙先の選択（コピー）または初期設定で変更してください。（詳細はを参照してください。）

・ジョブセパレータから用紙を取り出すときは、斜めに引いてください。

キーカウンタ

キーカウンタは、コピーの使用量を確認するためのものです。会社で部署別のコピー使用量を集中管理する場合などに役立ちます。

キーカウンタのセット方法



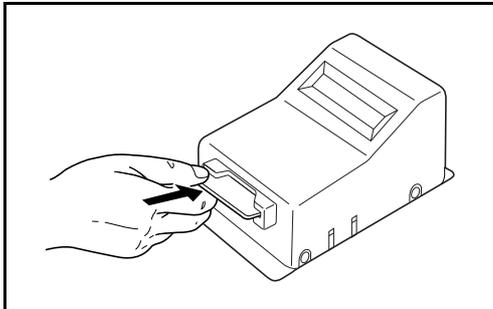
キーカウンタ差し込み口に、キーカウンタを挿入してください。

参考：キーカウンタを使用する場合は、キーカウンタを本機に挿入しない限り出力できませんのでご注意ください。キーカウンタが確実に挿入されていないと「キーカウンタをセットしてください。」が表示されません。

キーカード

キーカードを使用すると、専用の部門カードを使ってコピーの使用量を確認することができます。会社で部署別のコピー使用量を集中管理する場合などに役立ちます。

キーカードのセット方法



専用の部門カードを本体のカード挿入口に奥まで挿入してください。

参考：キーカードを使用する場合は、部門カードを本機に挿入しない限り出力できませんのでご注意ください。部門カードが挿入されていないと「**キーカードをセットしてください。**」が表示されます。

ファクスキット

ファクスキットを装着すると、本機をファクスとして使用することができます。また、オプションのネットワークスキャナと併用すると、コンピュータで送受信できるネットワークファクスとして使用することができます。詳しくはファクスキットの**使用説明書**を参照してください。

ネットワークスキャナ

ネットワークスキャナを装着すると、本機をネットワークスキャナとして使用することができます。詳しくはネットワークスキャナの**使用説明書**を参照してください。

ネットワークインタフェースカード (IB-23)

ネットワークインタフェースカードは、TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI、AppleTalk プロトコルをサポートしているので、Windows、Macintosh、UNIX、NetWare などのさまざまな環境下で、ネットワーク印刷ができます。詳しくはカードに付属している説明書を参照してください。

メモリカード (コンパクトフラッシュ)

オプションフォント、マクロ、フォームなどを書き込めるマイクロチップカードです。本機右側のメモリカードスロットに差し込みます。

ハードディスク

ハードディスクはプリンタの印刷データの保存に使います。また、すべての e-MPS 機能を使用する場合は、ハードディスクが必要です。e-MPS 機能については、**第 5 章 e-MPS 機能の設定**を参照してください。

増設メモリ

コピー用、プリンタ用にそれぞれメモリを増設できます。メモリを増設すると原稿の最大読み込み枚数が増えます。また、より複雑なデータの印刷も可能になります。

用紙について

各カセットに使用できる用紙のサイズと種類について説明します。

セットできる用紙サイズ、種類

セットできる用紙の種類、サイズ、枚数について説明します。

給紙カセットおよびペーパーフィーダ（オプション）

セットできる種類	セットできる用紙サイズ	セットできる枚数
普通紙 64 ~ 105g/m ² 再生紙 64 ~ 105g/m ²	A3、B4、A4、A4-R、B5、B5-R、A5-R、 Ledger、Legal、Oficio II、Letter、Letter-R、 Statement、Folio、8K、16K	300 枚 (64g/m ²)

手差しトレイ

セットできる種類	セットできる用紙サイズ	セットできる枚数
普通紙 45 ~ 160g/m ² 再生紙 45 ~ 160g/m ²	A4、A4-R、B5、B5-R、A5-R、B6-R、A6-R、 Letter、Letter-R、Executive-R、Statement、 16K、16K-R 上記サイズ以外（たて 98 ~ 297mm、 よこ 148 ~ 432mm）	100 枚 (80g/m ²)
普通紙 60 ~ 220g/m ² 再生紙 60 ~ 220g/m ²	A3、B4、Ledger、Legal、Oficio II、Folio、8K	25 枚 (80g/m ²)
厚紙 106 ~ 160g/m ²	A3、B4、A4、A4-R、B5、B5-R、A5-R、 Ledger、Legal、Oficio II、Letter、Letter-R、 Statement、Folio、8K、16K、16K-R	5 枚
官製はがき	官製はがき：100 × 148mm	15 枚
封筒	洋形 2 号、洋形 4 号、Monarch、 Envelope #10 (Commercial #10)、Envelope DL、 Envelope C5、Envelope #9 (Commercial #9)、 Envelope #6 (Commercial #6 3/4)、ISO B5、 Envelope C4	5 枚
OHP フィルム	A4、A4-R	25 枚

用紙の基本仕様

本機は、乾式複写機およびページプリンタ用の用紙（普通紙）に出力できるよう設計されていますが、本章の制限の範囲内で、他のさまざまな用紙に印刷することができます。

本機に適さない用紙を使用すると、紙づまりが発生したり出力された用紙にシワができていたりするため、用紙の選択は慎重に行ってください。

使用できる用紙

通常の乾式複写機またはページプリンタ用のコピー用紙（普通紙）を使用してください。用紙の品質は、出力の品質に影響を与えます。低品質の用紙を使うと、満足のできる出力結果を得ることができません。

用紙の基本仕様

本機で使用できる用紙の基本仕様です。詳細は次ページ以降で説明します。

項目	仕様
重さ	カセット : 60 ~ 105 g/m ²
	手差しトレイ : 45 ~ 160 g/m ²
厚さ	0.086 ~ 0.110 mm
寸法誤差	± 0.7 mm
四隅の角度	90° ± 0.2°
保水度	4 ~ 6%
繊維の方向	縦目 (給紙方向)
パルプ含有率	80%以上

参考：再生紙の中には、保水度やパルプ含有率などの基本的な項目が本機に使用するために必要な仕様を満たさないものがあります。再生紙を使用するときは、あらかじめ少量を購入してサンプル出力を行ってください。出力の結果が良好で、紙粉が極端に多くないものを選んでご使用ください。

規格に合わない用紙を使用して生じた問題については、当社は責任を負いかねます。

適正な用紙の選択

ここでは、用紙を選ぶ際のガイドラインについて説明します。

紙の状態

角の折れている用紙、全体が丸まっている用紙、汚れている用紙、破れている用紙は使用しないでください。繊維が毛羽立っていたり、表面が粗かったり、ちぎれやすい用紙も使用しないでください。このような用紙は、印刷品質低下の原因になります。また、用紙の給送がうまくいかないために紙づまりを起こし、製品の寿命を縮める可能性があります。用紙は、表面が滑らかで均一なものを使用してください。ただし、コーティング加工などの表面処理をしてある用紙は、ドラムや定着ユニットを傷めるため使用しないでください。

用紙の成分

アート紙のようなコーティング加工された用紙や表面処理された用紙、プラスチックやカーボンを含む用紙は使用しないでください。このような用紙は、熱により有害なガスを発生することがあり、ドラムを傷めることがあります。

普通紙は、少なくとも 80% 以上のパルプを含むものを使用してください。コットンやその他の繊維が用紙成分の 20% 以下ものを使用してください。

用紙サイズ

本機に使用できる用紙サイズは次のとおりです。

寸法誤差の許容範囲は、縦横ともに± 0.7 mm です。用紙四隅の角度は、90° ± 0.2° のものを使用してください。

手差しトレイ	カセットまたは手差しトレイ
B6-R (128 × 182 mm)	A3 (297 × 420 mm)
A6-R (105 × 148 mm)	B4 (257 × 364 mm)
はがき (100 × 148 mm)	A4 (297 × 210 mm)
往復はがき (148 × 200 mm)	A4-R (210 × 297 mm)
Executive (7 1/4 × 10 1/2")	B5 (257 × 182 mm)
Envelope DL (110 × 220 mm)	B5-R (182 × 257 mm)
Envelope C5 (162 × 229 mm)	A5-R (148 × 210 mm)
Envelope C4 (229 × 324 mm)	Folio (210 × 330 mm)
ISO B5 (176 × 250 mm)	Ledger
Envelope #10 (4 1/8 × 9 1/2")	Legal
Envelope #9 (3 7/8 × 8 7/8")	Letter
Envelope #6 (3 5/8 × 6 1/2")	Letter-R
Envelope Monarch (3 7/8 × 7 1/2")	Statement-R
洋形 2号 (114 × 162 mm)	OficioII
洋形 4号 (105 × 235 mm)	8K (273 × 394 mm)
サイズ入力 (98 × 148 ~ 297 × 432 mm)	16K (273 × 197 mm)
16K-R (197 × 273 mm)	

滑らかさ

用紙の表面は、滑らかで均一であることが重要です。ただし、コーティングされているものは使用しないでください。滑らか過ぎる用紙を使うと、同時に複数枚の用紙が給紙され、紙づまりの原因になります。

基本重量

基本重量とは、用紙を 1m² の大きさに換算した時の重量です。重すぎたり軽すぎたりする用紙は、用紙の給送の失敗や紙づまりの原因となるばかりでなく、製品の消耗の原因にもなります。用紙の重さ、つまり紙の厚さが一定でないと、同時に複数枚を給紙したり、トナーの定着不良によって出力が不鮮明になるなど、出力品質の問題を引き起こすことがあります。

適正な用紙の重さは、カセットで 60 ~ 105 g/m²、手差しトレイで 45 ~ 160 g/m² の範囲です。

厚さ

本機で使用する用紙は、極端に厚いものや薄いものは避けてください。同時に複数枚の用紙が給紙されたり、紙づまりが頻繁に起きたりする場合は、紙が薄すぎることが考えられます。反対に用紙が厚すぎる場合も、紙づまりが起きることがあります。適正な用紙の厚さは、0.086 ~ 0.110 mm の範囲です。

保水度

用紙の保水度は、乾燥度に対する湿り気のパーセントで表されます。湿り気は、紙送りや静電気の発生状況、トナーの定着性などに影響を与えます。

用紙の保水度は、室内の湿度によって変わります。湿度が高すぎて紙が湿り気を帯びると、紙の端が伸びて波打つことがあります。逆に湿度が低すぎて紙に極端に湿り気がなくなると、用紙の端が縮んでかさかさになり、コントラストの弱い印刷になります。

用紙が波打ったり乾燥したりしていると、紙送りにずれが起きることがあります。用紙の保水度は4～6%の範囲に収まるようにしてください。

保水度を正しいレベルで維持するために、次の点に留意してください。

- 風通しのよい低湿の場所に保管してください。
- 未開封のまま水平な状態で保管してください。開封後すぐ使用しない用紙は、もう一度密封してください。
- 購入時の梱包紙や箱に、封をして保管してください。箱の下には台などを置いて、床から離してください。特に、梅雨時の板張りやコンクリート張りの床からは十分離してください。
- 長時間放置した用紙は、少なくとも48時間は正しいレベルの保水度を満たした上で使用してください。
- 熱、日光、湿気にさらされる場所に放置しないでください。

繊維の方向

用紙が製造される時、用紙の長さに対して紙の繊維が垂直（縦目）になるようにカットされているものと、用紙の幅に対して繊維が垂直（横目）になるようにカットされているものがあります。横目の用紙はプリンタの給紙時に問題を起こす原因になりますので、用紙は縦目のものをお使いください。

その他の仕様

◆多孔性

紙の繊維の密度を表します。

◆硬さ

柔らかすぎる用紙は、本体内部で折れ曲がりやすく紙づまりの原因になります。

◆カール

ほとんどの用紙は、開封したまま放置すると自然にカールして丸まる性質を持っています。用紙は定着ユニットを通過する際に、若干上向きに丸くなります。このため、カールを打ち消し合うように用紙をセットすると、仕上がりがより平らになります。

◆静電気

トナーを付着させるために、出力の過程で用紙は静電気を帯びます。この静電気がすみやかに放電される用紙を選んでください。

◆用紙の白さ

印刷されたページのコントラストは、用紙の白さによって変わります。より白い用紙を使用するほうが、シャープで鮮明に印刷できます。

◆品質について

サイズの不揃い、角がきちんととれていない、粗雑な裁断面、切りそこなってつながっている用紙、角や端のつぶれなどが原因で、本機が正しく機能しないことがあります。ご自分で裁断された用紙を使用する場合は、特にご注意ください。

◆梱包について

きちんと梱包され、さらに箱に詰められている用紙をお選びください。梱包紙は、内面が防湿用にコーティングされているものが最良です。

◆特殊処理

次のような処理をほどこした用紙は、基本仕様を満たしていても使用しないことをお勧めします。使用する場合は、あらかじめ少量を購入して、サンプル印刷を行ってください。

- つやのある用紙
- 透かしの入った用紙
- 表面に凹凸のある用紙
- ミシン目の入った用紙

特殊な用紙

普通紙以外の特殊な用紙に印刷する場合について説明します。

本機には、次のような特殊な用紙を使用することができます。

- OHP フィルム
- プレプリント
- ボンド紙
- 再生紙
- 薄紙 (60 g/m² 以上 64 g/m² 以下)
- レターヘッド
- カラー紙
- パンチ済み紙
- 封筒
- はがき
- 厚紙 (90 g/m² 以上 160 g/m² 以下)
- ラベル紙
- 上質紙

以上の用紙を使用するときは、コピー用またはページプリンタ用として指定されているものをお使いください。また、OHP フィルム、封筒、はがき、厚紙、ラベル紙は手差しトレイから給紙してください。

特殊な用紙の選択

特殊な用紙は、次ページ以降で示す条件を満たすものであれば本機で使用することができます。ただしこれらの用紙は、構造および品質に大きなばらつきがあるために、普通紙よりも印刷中に問題が発生する可能性が高くなります。特殊用紙は、サンプルを本機で印刷してみて、満足のいく仕上がりであることを確認してからご購入ください。主な特殊紙について、印刷時の注意を次項より説明します。湿気などが特殊紙に与える影響が原因で、印刷中に本機またはユーザに被害が生じても、当社は一切の責任を負いかねます。

特殊用紙を使用する際は、カセットまたは手差しトレイに使用する用紙種類を選択してください。

◆ OHP フィルム

OHP フィルムは、印刷中の定着熱に耐えられることが条件です。本機で使用できる OHP フィルムの仕様は次のとおりです。

項目	仕様
耐熱性	最低 190 °C までの熱に耐えること
厚さ	0.100 ~ 0.110 mm
材質	ポリエステル
サイズ誤差許容範囲	± 0.7 mm
四隅の角度	90° ± 0.2°

トラブルを避けるため、OHP フィルムは手差しトレイから給紙してください。その際、必ず縦方向に（用紙の長手方向を本機に向けて）補給してください。

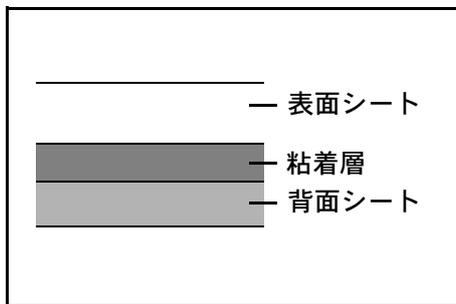
OHP フィルムが排紙部分で頻繁につまる場合は、排紙される際に OHP フィルムの先を少しだけ慎重に手で引いてみてください。

◆ラベル紙

ラベル紙は、必ず手差しトレイから給紙してください。

ラベル紙を選択する際は、糊が本機のどこにも触れないことや、ラベルが台紙から容易にはがれないことなどに注意してください。ドラムやローラ類に糊が付着したり、はがれたラベルが本機内部に残ると故障の原因になります。

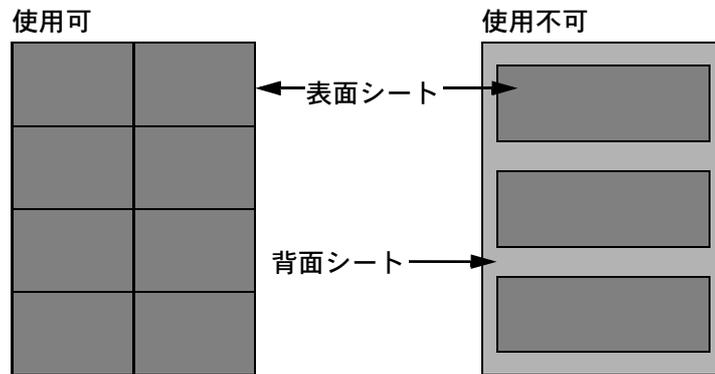
ラベル紙での印刷の場合は、その印刷品質やトラブル発生の可能性などについては、お客様ご自身の責任で行ってください。



ラベル紙は、図のような3層からなる構造をしています。粘着層は本機内部で加わる力による影響を受けやすい素材でできています。背面シートはラベルが使用されるまで表面シートを保持しています。このように構造が複雑なため、ラベル紙はトラブルが発生しがちです。

ラベル紙の表面は、表面シートで隙間なく完全に覆われていなくてはなりません。ラベルの間に隙間のあるものはラベルがはがれやすく、大きな故障の原因となります。

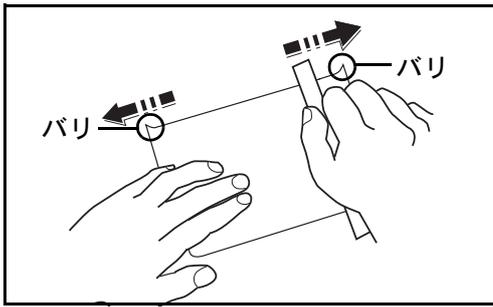
ラベル紙には、用紙の端を完全に覆うため、表面シートに広いマージンを設けているものがあります。このような用紙をお使いの場合、出力が終了するまで、このマージン部分を背面シートからはがさないでください。



以下の仕様に合ったラベル紙を選んでください。

項目	仕様
表面シートの重さ	44 ~ 74 g/m ²
基本重量（用紙全体の重さ）	104 ~ 151 g/m ²
表面シートの厚さ	0.086 ~ 0.107 mm
用紙全体の厚さ	0.115 ~ 0.145 mm
保水度	4 ~ 6 %（混合）

◆はがき



はがきは、さばいて端を揃えてから、手差しトレイに補給してください。はがきに反りがある場合は、まっすぐに直してから補給してください。反りがあるまま印刷すると、紙づまりの原因になります。

往復はがきは、折られていないものを使用してください（郵便局などで入手できます）。また、裏面にバリ（紙を裁断した際にできる返り）がある場合は、はがきを平らなところに置き、定規のようなもので軽く1～2回こするようにして、バリを取り除いてください。

◆封筒

封筒は必ず手差しトレイに補給してください。

封筒は構造上、表面全体に均一な印刷ができない場合があります。特に薄手の封筒の場合は、本機を通り抜ける間にシワになることがあります。封筒を購入する前に、その封筒で満足のいく印刷が得られるか、サンプル印刷で確認してください。

封筒は、開封したまま長時間放置するとシワが発生することがあります。使用する直前に開封してください。

さらに、以下の点に留意してください。

糊が露出している封筒は、どのような封筒でも使用できません。紙をはがすと糊が現れるワンタッチ式もご使用になれません。糊をカバーしている紙が本機内部ではがれ落ちると、大きな故障の原因になります。

特殊加工されている封筒も使用できません。紐を巻きつける鳩目の打つてあるものや窓付きのもの、窓にフィルム加工がされているものなどは使用できません。

紙づまりが起きる場合は、一度に補給する封筒の枚数を減らしてみてください。

封筒を2枚以上出力する際は、紙づまりを避けるため上トレイに10枚以上貯まらないよう注意してください。

◆厚紙

厚紙は、さばいて端を揃えてから手差しトレイに補給してください。裏面にバリ（紙を裁断した際にできる返り）がある場合は、用紙を平らなところに置き、はがきと同様に定規のようなもので軽く1～2回こするようにして、バリを取り除いてください。バリのまま印刷すると、紙づまりの原因になります。

参考：バリを取り除いても給紙されない場合は、用紙の先端を数ミリ上にそらせてから手差しトレイに補給してください。

◆カラー紙

カラー紙は、付録-9 ページの表の仕様を満たしている必要があります。さらに、用紙に含まれている色素は、出力中の熱（最高 200℃）に耐えられる必要があります。

◆プレプリント

プレプリント用紙は、付録-9 ページの表の仕様を満たしている必要があります。着色に使われているインクは、印刷中の熱に耐えられるもので、シリコンオイルの影響を受けないものであることが必要です。カレンダーなどに使われる、表面加工を施してある用紙は使用しないでください。

◆再生紙

再生紙は、用紙の白さ以外の項目が付録-9 ページの表を満たしている必要があります。

参考：再生紙を購入する前に、仕上がりが満足いくことをサンプル印刷で確認してください。

仕様

重要：仕様は性能改善のため予告なく変更することがあります。

参考：ファクス機能の仕様について詳しくは、ファクスキットの**使用説明書**を参照してください。ネットワークスキャン機能の仕様については、ネットワークスキャンの**使用説明書**を参照してください。

本体

項目		仕様
名称		18枚機 TASKalfa 181 22枚機 TASKalfa 221
型式		デスクトップ型
印刷方式		乾式静電転写方式（レーザ方式）、シングルドラム方式
原稿の種類		シート、ブック、立体物（最大原稿サイズ：A3/Ledger）
原稿台方式		固定
用紙の重さ	カセット	64～105g/m ²
	手差しトレイ	45～160g/m ²
用紙種類	カセット	普通紙、プレプリント、ボンド紙、再生紙、 レターヘッド、カラー紙、パンチ済み紙、上質紙、 カスタム（両面印刷時：片面印刷時と同じ）
	手差しトレイ	普通紙、OHPフィルム、プレプリント、ラベル用紙、 ボンド紙、再生紙、薄紙、レターヘッド、カラー紙、 パンチ済み紙、封筒、はがき、厚紙、上質紙、カスタム
用紙サイズ	カセット	A3、B4、A4、A4-R、B5、B5-R、A5-R、Ledger、 Legal、Oficio II、Letter-R、Letter、Statement-R、Folio、 8K、16K
	手差しトレイ	A3、B4、A4、A4-R、B5、B5 (ISO)、B5-R、A5-R、 B6-R、A6-R、往復はがき、はがき、Envelope DL、 Envelope C5、Envelope C4、 Envelope #10 (Commercial #10)、 Envelope #9 (Commercial #9)、 Envelope #6 (Commercial #6 3/4)、Envelope Monarch、 洋型2号、洋型4号、Ledger、Legal、Oficio II、 Letter-R、Letter、Statement-R、Executive、Folio、8K、 16K、16K-R、 Custom (98 x 148mm～297 x 432mm)
複写倍率		任意倍率：25～400%（1%単位） 固定倍率：200%、141%、122%、115%、86%、 81%、70%

項目		仕様
印刷速度	18 枚機	A4/Letter 18 枚 / 分 A4R/LetterR 13 枚 / 分 A3/Ledger 8 枚 / 分 B4/Legal 8 枚 / 分 B5 16 枚 / 分
	22 枚機	A4/Letter 22 枚 / 分 A4R/LetterR 13 枚 / 分 A3/Ledger 10 枚 / 分 B4/Legal 11 枚 / 分 B5 20 枚 / 分
ファーストプリントタイム (本体カセットで A4)		5.7 秒以下
ウォームアップ タイム (22℃、60%)	電源 ON から	17.2 秒以下
	低電力モードから	10 秒以下
	スリープから	17.2 秒以下
用紙容量	カセット 1	300 枚 (80g/m ² 、全サイズ)、150 枚 (90g/m ² 以上)
	手差しトレイ	100 枚 (80g/m ² 、A4/Letter 以下)、25 枚 (80g/m ² 、A4/Letter より大きいサイズ)
排紙トレイ容量	上トレイ	250 枚 (80g/m ²)
	ジョブセパレータ 設置時	150 枚 (80g/m ²)
	フィニッシャ装 着時	100 枚 (80g/m ²)
連続複写		1 ~ 999 枚
記録方式		半導体レーザ方式
メモリ (コピー 用)	標準	64MB
	最大	192MB
インタフェース	標準	Hi-Speed USB : 1 ネットワークインタフェース : 1 (10BASE-T/100BASE-TX)
	オプション	KUIO/LV : 1
解像度		600 × 600dpi
月間平均印刷ページ数 (標準 A4 普通紙)		3,500 枚 / 月
月間最大印刷ページ数 (標準 A4 普通紙)		20,000 枚 / 月
使用環境	温度	10 ~ 32.5℃
	湿度	15 ~ 80%
	海拔	2,500m 以下
	照度	1,500lux 以下
本体寸法 (幅× 奥行き×高さ)	18 枚機	568 × 594 × 502mm (本体のみ)
	22 枚機	568 × 594 × 607mm (本体のみ)
質量	18 枚機	33kg
	22 枚機	40kg

項目	仕様
機械占有寸法（幅×奥行き）	838 × 594 mm（手差しトレイ使用時）
電源	AC100V、50/60Hz、15A
定格総消費電力	1,200W
オプション	原稿送り装置、ペーパーフィーダ、ドキュメントフィニッシャ、ジョブセパレータ、キーカウンタ、キーカード、ファクスキット、ネットワークスキャナ、ハードディスク、増設メモリ

プリンタ機能

項目	仕様
印刷速度	本体印刷速度と同じ
ファーストプリントタイム（A4）	5.7 秒以下
解像度	600 dpi
対応 OS	Windows 2000/XP、Microsoft Windows Server 2003、Windows Vista、Apple Macintosh OS X
インタフェース	標準 Hi-Speed USB：1 ネットワークインタフェース：1 （10BASE-T/100BASE-TX）
メモリ	標準 128MB 最大 1152MB
ページ記述言語	PRESCRIBE

原稿送り装置（オプション）

項目	仕様
原稿の送り方式	自動給紙方式
原稿の種類	シート原稿
原稿サイズ	最大：A3 最小：A5-R
原稿の厚さ	45 ～ 160 g/m ²
原稿セット枚数	50 枚以下（50 ～ 80 g/m ² ） 原稿混載（オートセレクション）時：30 枚以下（50 ～ 80 g/m ² ）
機械寸法 （幅×奥行き×高さ）	552 × 483 × 120 mm
質量	約 6kg

ペーパーフィーダ（オプション）

項目	仕様
給紙方式	フリクションリタード方式（収納枚数 300 枚（80 g/m ² ））
用紙サイズ	A3、B4、A4、A4-R、B5-R、A5-R、Folio、Ledger、Legal、Oficio II、Letter、Letter-R、Statement-R、8K、16K
使用用紙	紙厚：64～105 g/m ² 用紙種類：普通紙、再生紙
本体寸法 （幅×奥行き×高さ）	568 × 546 × 135mm
質量	約 6 kg

両面ユニット（オプション）

項目	仕様
用紙サイズ	A3、B4、A4、A4-R、B5-R、A5-R、Folio、Ledger、Legal、Oficio II、Letter、Letter-R、Statement-R、8K、16K、16K-R
使用用紙	紙厚：60～80g/m ² 用紙種類：普通紙、再生紙
本体寸法 （幅×奥行き×高さ）	363 × 54 × 181mm
質量	約 0.5kg

ドキュメントフィニッシャ（オプション）

項目	仕様
トレイ数	1 トレイ
用紙サイズ （ノンステープル時）	A3、B4、Ledger、Legal、Oficio II、Folio、8K、A4、A4-R、B5、B5-R、Letter、Letter-R、16K
使用用紙の厚さ	ステープル時：80 g/m ²
ステープル制限枚数	A3、B4、Ledger、Legal、Oficio II：25 枚、 A4、A4-R、B5、Letter、Letter-R：50 枚 [用紙の厚さ 80 g/m ² 以下]
本体寸法 （幅×奥行き×高さ）	325 × 450 × 165 mm
質量	約 8kg

ジョブセパレータ（オプション）

項目	仕様
トレイ数	1トレイ
収納制限枚数	100枚（80 g/m ² ）
用紙サイズ	A3、B4、A4、A4-R、B5、B5-R、A5-R、Folio、Ledger、Legal、Letter、Letter-R、Oficio II、Statement-R
使用用紙	紙厚：64～105g/m ² 用紙種類：普通紙、再生紙、薄紙
機械寸法 （幅×奥行き×高さ）	545×450×70 mm
質量	約 1.5kg

環境仕様

低電力モード移行時間（出荷時設定）	1分
スリープモード移行時間（出荷時設定）	1分
低電力モードからの復帰時間	10秒以下
スリープモードからの復帰時間	17.2秒以下
両面機能	オプション
給紙搬送性	古紙 100%配合紙使用可能

参考：推奨紙などは販売担当者またはサービス担当者にご相談ください。

製品の保守サービスについて

このたびは、本製品をご購入いただきありがとうございます。保守サービスには、次の2つの方式があります。

チャージ方式

トナーや用紙などの消耗品を除く、本機の点検・調整・修理および感光体の提供・交換を行い、その対価としてコピー料金を申し受ける方式です。

スポット方式

保守サービスの提供およびドラムと消耗品の供給を、お客様が要請されるたびに料金を申し受ける方式です。

詳しくは、販売担当者またはお買い上げ販売店にお問い合わせください。

契約書について

保守サービスとしてコピーチャージ契約を結ばれたお客様には、ご購入の際、お買い上げ販売店または弊社ブランチが「コピーチャージ契約書」に必要事項を記入してお渡しします。

「コピーチャージ契約書」には、お買い上げになった製品の保守サービスの内容などが記載されていますので、よくお読みになった後、大切に保管してください。「コピーチャージ契約書」が発行されていない場合は、お買い上げ販売店または弊社ブランチにご連絡ください。ただちに発行手続きをします。

参考：アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げ販売店または最寄りの弊社ブランチにお問い合わせください。

補修用性能部品について

補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品のことをいいます。

弊社の保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製造中止後、7年間です。

廃棄について

使用済み製品の廃棄

使用済み製品を廃棄される場合は、お買い上げの販売店または弊社のサービス担当者にご連絡ください。回収された使用済み製品は、それぞれの構成部品ごとに分解され、金属部品は金属回収ルートに乗せて回収されます。再利用可能な部品は清掃・再利用し、再利用の不可能なあらゆる部品は環境に配慮して適切に処理されます。

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスの廃棄

使用后、不要になったトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、お買い上げの販売店または弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、再使用または再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

用語集

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

TCP/IP ネットワーク上で、IP アドレスやサブネットマスク、ゲートウェイアドレスを自動的に解決するプロトコルです。DHCP を利用すると、クライアント数の多いネットワーク環境で、プリンタを含めて個々のクライアントに IP アドレスを個別に割り当てる必要がなくなるため、ネットワーク管理の負担を軽減できます。

dpi (dots per inch)

解像度を表す単位です。1 インチ (25.4 mm) 当たりのドット数を表します。

IP アドレス

ネットワークに接続されたコンピュータや周辺機器 1 台ずつに割り振られる識別番号です。「192.168.110.171」などのように、0 から 255 までの数字を 4 つ並べて表現します。

IPP

IPP (Internet Printing Protocol、インターネット プリンティング プロトコル) は、インターネット網に代表される TCP/IP ネットワークを利用して、遠隔地にあるプリンタと PC の間で印刷データなどのやりとりを行うための規格です。

Web ページの閲覧に使われる HTTP を拡張した規格であり、ルータによって隔てられた遠隔地のプリンタに対しても印刷操作を行うことが可能になります。また、HTTP の認証機構や、SSL によるサーバ認証、クライアント認証、および暗号化にも対応しています。

KPDL (Kyocera Page Description Language)

Adobe PostScript Level 3 互換の京セラのページ記述言語です。

NetBEUI (NetBIOS Extended User Interface) 設定

1985 年に IBM 社が開発したネットワークプロトコルです。NetBIOS をベースに拡張したもので、小規模なネットワークでは TCP/IP などの他のプロトコルよりも高い性能を発揮できます。ただし、複数の経路の中から最適な経路を選択するルーティング機能は持っていないため、大規模なネットワーク構築には向いていません。IBM 社の OS/2 や Microsoft 社の Windows シリーズの標準プロトコルになっており、NetBEUI を利用したファイル共有サービスやプリントサービスなどが提供されています。

NetWare

Novell 社のネットワーク OS (ネットワーク管理ソフトウェア) です。NetWare はさまざまな OS 上で動作することができます。

PostScript

Adobe Systems 社が開発したページ記述言語です。柔軟なフォント機能および高性能のグラフィックスを提供し、高品質な印刷ができます。現在 Level 1 と呼ばれている最初のバージョンは 1985 年に登場しました。1990 年にはカラー印刷や日本語などの 2 バイト言語に対応した Level 2 が、1996 年にはインターネットへの対応や実装水準の段階化、PDF 形式への対応などを追加した Level 3 が発表されています。

PPM (prints per minute)

A4 用紙を 1 分間に印刷できる枚数を示します。

SMTP (Simple Mail Transfer Protocol)

インターネットやイントラネットで電子メールを送信するためのプロトコルです。サーバ間でメールをやり取りしたり、クライアントがサーバにメールを送信する際に用いられます。

TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol)

コンピュータ同士やその他のデバイスとの間で、データ通信の規約を定めたネットワークプロトコルのひとつです。

TWAIN (Technology Without Any Interested Name)

スキャナやデジタルカメラなどの画像入力機器とコンピュータを接続するための技術仕様のひとつです。機器が TWAIN に対応していれば、TWAIN に対応したあらゆるアプリケーションソフトで画像の入力ができます。TWAIN は、Adobe Photoshop をはじめとするグラフィックソフトや OCR ソフトで多く採用されています。

USB (Universal Serial Bus) 2.0

Hi-Speed USB 2.0 に準拠した USB インタフェースです。最大通信速度は 480 Mbps で、高速なデータ転送ができます。本機はこの USB 2.0 インタフェースを装備しています。

エコプリント

トナーを節約するための印刷方法です。通常での印刷よりも薄くなります。

エミュレーション

他のプリンタのページ言語を解釈し、実行する機能です。PCL6、KPDLL、KPDLL (自動)、および KC-GL のエミュレーションを備えています。

オートスリープ

本体の操作やデータの送 / 受信が一定の時間行われないと、自動でスリープに移行する機能です。スリープ時は、電力消費が最小限に抑えられます。

サブネットマスク

サブネットマスクは、IP アドレスのネットワーク・アドレス部を増やす方法です。

サブネット・マスクは、ネットワーク・アドレス部をすべて 1 として表現し、ホスト・アドレス部をすべて 0 として表現します。プレフィックス長は、ネットワーク・アドレス部の長さをビット数で表します。プレフィックス (Prefix) とは、「接頭辞」つまり、「前に付けるもの」という意味があり、IP アドレスの「先頭部分」を指します。

IP アドレスを表記するときに、ネットワーク・アドレス部の長さまで表現したい場合は、“133.201.2.0/24” のように “/” (スラッシュ) の後にプレフィックス長 (この場合は「24」) を書くことになっています。したがって、「133.201.2.0/24」は、プレフィックス長 (つまりネットワーク部) が 24 ビットの「133.201.2.0」という IP アドレスということになります。

サブネット・マスクによって新しく増えたネットワーク・アドレス部 (本来のホスト・アドレス部の一部分) をサブネット・アドレスと呼びます。

サブネットマスクを入力するときは、DHCP の設定をオフにしてください。

自動改ページ待ち時間

本機へのデータ送信中に、待ち時間が発生することがあります。このとき本機は、次のデータが届くまで一定時間待機します。自動改ページ待ち時間とは、この待機時間のことです。待機時間が、登録された待ち時間に達すると、本機は自動で排紙します。ただし、最終ページに印刷データがない場合は排紙しません。

自動用紙選択機能

印刷時に、原稿サイズと同じサイズの用紙を自動的に選択する機能です。

ステータスページ

搭載メモリ容量、印刷や送信の総枚数、給紙元の選択など本機に関するさまざまな情報を確認するために印刷するページです。

手差しトレイ

本体右側にある給紙トレイです。封筒、ハガキ、OHP フィルム、ラベル用紙などを使用するときは、カセットでなく手差しトレイに補給してください。

デフォルトゲートウェイ

所属するネットワークの外にあるコンピュータにアクセスする際に使用する、コンピュータやルータなどの出入り口の代表となるアドレスです。アクセス先の IP アドレスについて特定のゲートウェイを指定していない場合は、デフォルトゲートウェイに指定されているホストにデータが送信されます。

プリンタドライバ

アプリケーションで作成したデータを印刷するために使用するソフトウェアです。プリンタドライバは、付属の CD-ROM に収録されています。本機に接続したコンピュータにインストールしてください。

索引

A

A4/Letter 共通使用 5-43
 ANK フォント 5-18
 サイズ 5-19

C

CD-ROM 2-2
 Courier/Letter Gothic フォント 5-20
 文字ピッチ 5-20
 CR (復帰) 動作 5-27

D

Default Gateway 2-10, 5-13
 DHCP 5-12, 付録-25
 dpi 付録-25

E

e-MPS 機能 5-4
 e-MPS 詳細設定 5-7
 EtherTalk 5-11

I

IP Address 5-12
 IPP 付録-25
 IP アドレス 付録-25
 IP アドレスの設定 2-9

K

KC-GL
 ペンの太さ 5-15
 KIR モード 5-29
 KPDL 付録-25
 KPDL エラー 5-16
 KPDL (自動) の代替エミュレーション 5-17

L

LF (改行) 動作 5-27

M

Monotype Imaging ライセンス契約 xvii

N

NetBEUI 付録-25
 NetWare 5-10, 付録-25

P

PostScript 付録-25
 PPM 付録-25
 Product Library 2-2

R

RAM ディスク 5-39
 RAM ディスクサイズ 5-40

S

SMTP 付録-26
 Subnet Mask 2-10, 5-13

T

TCP/IP 5-11, 付録-26
 TWAIN 付録-26

U

USB 付録-26
 USB インタフェース 2-4
 USB インタフェースコネクタ 1-8
 USB ケーブル
 接続 2-6

あ

アース ix

い

一時コードジョブ 5-8
 印刷環境 5-25
 印刷速度 付録-19, 付録-20
 印刷濃度 5-30
 印刷の向き 5-26
 印刷範囲の補正 5-48
 印刷品質 5-29
 インタフェース 5-10

え

液晶コントラスト 6-22
 エコプリント 付録-26
 コピー 4-18
 5-29, 6-4
 エネルギースタープログラム xviii
 絵表示 vi
 エミュレーション 付録-26, 5-15
 エラーメッセージ 9-5

お

オートカセットチェンジ 6-13
 オートカセットチェンジ機能 1-3
 オートクリア 6-23
 オートクリア機能 1-3
 オートクリア時間 6-23
 オートスリープ 3-5, 6-22, 付録-26
 オプション
 キーカード 付録-8
 キーカウンタ 付録-7
 ジョブセパレータ 付録-7
 増設メモリ 付録-8
 ネットワークインタフェースカード 付録-8
 ネットワークスキャナ 付録-8
 ハードディスク 付録-8

ファクスキット 付録-8
ペーパーフィーダ 付録-3
メモ리카ード 付録-8
両面ユニット 付録-3
オプション構成 付録-2
原稿送り装置 付録-3
ドキュメントフィニッシャ 付録-3

か

解像度 5-30, 付録-19, 付録-20
改ページ待ち時間 5-44
カウンタレポート 6-28
各部の名称 1-1
画質の選択
 コピー 4-4
カセット 1-6
 用紙の補給 2-12
カバレッジレポート 6-30
紙づまり
 カセット1 9-11
 カセット2～4 9-12
 原稿送り装置 9-16
 ジョブセパレータ 9-19
 手差しトレイ 9-13
 手差しトレイ (JAM10 以外) 9-14
 排出口 9-15
 左カバー内部 9-14
 フィニッシャ 9-17
紙づまり位置表示 9-10
紙づまりが発生したら 9-10
漢字フォント 5-21
 サイズ 5-22
 文字ピッチ 5-22
管理者暗証番号 6-22

き

キー音 6-20
機械を設置する際のご注意 viii
機器管理者暗証番号 6-24
給紙元 5-41
給紙元の選択
 コピー 4-14

く

クイックコピー 5-4
 最大登録可能数 5-7
クイックコピー／試し刷り後保留 5-5
クリーナー棒 1-7
黒筋軽減処理 6-11

け

契約書 付録-23
ケーブルの準備 2-4
原稿
 サイズ xxii
 サイズ選択 4-12
原稿送り装置 付録-3

各部の名称 2-21
原稿押さえ 1-6
原稿ガラス 1-7
原稿サイズ混載
 組み合わせ 4-15
 コピー 4-15
原稿セット向き
 コピー 4-16
 6-17
原稿の画質 6-3
原稿のセット 2-20
 原稿送り装置 2-20
 原稿ガラス 2-20
言語設定 6-31

こ

コードジョブリスト 5-7
コードセット 5-23
固定倍率 4-6
コピー
 基本操作 4-2
コピー機能 4-1
コピー基本画面 1-4
コピー禁止事項 xiii
コピー初期設定 6-2
コピーステータスレポート 6-30
コピー制限 7-5
コピー排出先 6-19
コピー部数制限 6-11
コピー部門管理 7-13
コピー枚数 5-25
困ったときは 9-1

さ

サービステータスページ 5-49
再生紙 xviii
サブネットマスク 付録-26

し

シート枠消し 4-23
地色調整 6-4
システムメニュー 6-1
自動 OCR 濃度調整 6-7
自動回転コピー 6-9
自動改ページ待ち時間 付録-26
自動画像回転
 コピー 4-29
自動継続印刷 5-46
自動濃度調整 6-6
自動倍率 4-5
自動用紙選択機能 付録-27
自動用紙用紙種類 6-5
自動両面機能について xviii
写真原稿濃度調整 6-8
縮小 / 拡大
 コピー 4-5
縮小印刷 5-26

受信データダンプ 5-45

出力制限 7-6

準備 2-1

仕様

環境仕様 付録-22

原稿送り装置 付録-20

ジョブセパレータ 付録-22

ドキュメントフィニッシャ 付録-21

ペーパーフィーダ 付録-21

本体 付録-18

両面ユニット 付録-21

プリンタ機能 付録-20

使用制限 7-4, 7-8

商標について xvi

初期設定 6-1, 6-2

初期モード 1-3

仕分け

コピー 4-9

仕分けコピー 6-9

新規部門登録 7-4

す

スキャナ送信制限 7-7

スキャナ部門管理 7-14

スキャン禁止事項 xiii

ステータスページ

印刷 5-3

ステータスページ 付録-27

ステープル

コピー 4-10

ステープル時のエラー検知 5-48

スライダ 1-6

スリープ 3-5

スリープモード移行時間 6-18

せ

静音モード 6-24

制限超過時設定 7-15

清掃

原稿押さえ／原稿ガラス 8-2

スリットガラス 8-2

転写ローラ 8-4

分離針 8-3

接続

USB ケーブル 2-6

電源コード 2-6

ネットワークケーブル 2-5

接続方法 2-3

全部門集計 7-10

そ

操作パネル

キー 1-2

1-6

ソートコピー 6-9

ソート

コピー 4-8

その他 5-44

その他の定形サイズ 6-26

た

縦サイズ変更つまみ 1-6

試し刷後、保留 5-4

ち

注意表示 vi

注意ラベルについて vii

て

定形サイズ 6-26

低電力モード 3-4

低電力モード移行時間 6-18

手差し確認表示 6-14

手差し設定 6-26

手差しトレイ 1-6, 付録-27

設定 2-17

封筒 2-16

手差し補助トレイ 1-6

手差しモード 5-41

デフォルトゲートウェイ 付録-27

電源 ix

電源コード

接続 2-6

電源投入時モード 6-20

電源を入れる 3-2

電源を切る 3-3

と

トータルカウンタ 6-28

特定用紙種類 6-16

とじしろ

コピー 4-22

とじしろ幅初期値 6-10

トナー交換

チャージャワイヤと帯電部の清掃 8-7

トナーコンテナ

交換 8-6

交換時期 8-6

装着 8-9

取り外し 8-6

1-7

トナーコンテナ解除レバー 1-7

トラブルが発生した場合 9-2

取り扱い上のご注意 x

ね

ネットワークインタフェース 2-4

ネットワークインタフェースコネクタ 1-8

ネットワークケーブル 2-4

接続 2-5

ネットワークステータスページ 5-13

ネットワークの設定 2-9

の

濃度調整
コピー 4-3
濃度モード 6-3

は

バーチャルメールボックス 5-6
合計保存容量設定 5-9
バーチャルメールボックスリスト印刷 5-7
ハードディスク 5-38
廃棄トナーボックス 1-7
交換 8-6
装着 8-9
取り外し 8-6
排紙先 5-43
排紙トレイ 1-6
倍率入力 4-5
廃棄 付録-24
搬送取手 1-8

ひ

左カバー 1-7
左カバー取手 1-6
日付/時刻 6-21
日付と時刻の設定 2-7

ふ

ファーストプリントタイム 付録-19, 付録-20
ファクス送信制限 7-7
ファクス排出先 6-19
ファクス部門管理 7-14
フォント 5-18
フォントリスト 5-23
付属品 2-2
付属マニュアルの紹介 3
ブック枠消し 4-23
部門管理 7-2
部門管理時の操作 7-16
部門管理初期設定 7-13
部門管理の設定 7-12
部門削除 7-8
部門別集計 7-11
部門編集 7-4
プライベートプリント/ジョブ保留 5-5
プライベートプリント/ジョブ保留削除 5-6
プリンタ機能 5-1
プリンタ基本画面 1-4
プリンタ制限 7-6
プリンタドライバ 付録-27
プリンタ部門管理 7-13
プログラム機能 4-32
登録 4-32
呼び出し 4-32
分割
コピー 4-26

へ

ページ集約 4-19
2in1 4-19
4in1 4-20
境界線 4-20
ページ保護モード 5-27

ほ

法律上のご注意 xv
補修用性能部品 付録-24
保守サービス 付録-23
保存コードジョブ 5-8
本書の読みかた xxi
本製品の省エネ制御機能について xviii

ま

前カバー 1-7
マシン初期設定 6-12
マシンステータスレポート 6-30

め

メインスイッチ 1-8
メッセージ表示 1-4
メモリカード
コンパクトフラッシュ 付録-8
5-32
メモリカードスロット 1-8

も

文字+写真原稿濃度調整 6-7
文字原稿濃度調整 6-8

ゆ

優先カセット 6-6
優先倍率 6-6

よ

用語集 付録-25
用紙 5-41
カセットへの補給 2-12
サイズと種類 2-17
仕様 付録-9
注意 2-11
適正な用紙 付録-10
手差しトレイへの補給 2-14, 2-16
特殊な用紙 付録-14
用紙サイズ(カセット) 6-13
用紙サイズ(手差し) 6-26
用紙種属性(重さ) 6-15
用紙種属性(両面) 6-15
用紙種類(カセット) 6-14
用紙種類(手差し) 6-27
用紙選択 6-5
用紙について 付録-9
用紙の補給 2-11
横サイズ変更つまみ 1-6, 2-12

ら

ラベル紙 付録-15

り

リセット 5-45

リソース保護モード 5-45

両面

コピー 4-24

両面印刷時のエラー検知 5-47

両面印刷モード 5-42

れ

レポート 6-30

連続読み込み

コピー 4-28

わ

ワイド A4 5-28

枠消し

コピー 4-23

枠消し幅初期値 6-10

割り込み

コピー 4-30

**QUALITY
CERTIFICATE**

この製品はすべての品
質管理および最終検査
に合格しました。

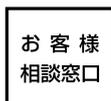
KYOCERA お客様相談窓口のご案内

京セラミタ製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。市内通話料金でご利用いただけます。

京セラ ミタ株式会社 京セラ ミタジャパン株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-9-15

<http://www.kyoceramita.co.jp>



ナビダイヤル

0570-046562

受付時間

● 9:00~17:00

(但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く)

市内通話料金でご利用いただけます。